Canon

Color Fax

# MultiPASS™ B-25

# 使用説明書



ご使用前に必ずこの使用説明書をよくお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

# もくじ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

キヤノンはキヤノン株式会社の登録商標です。MultiPASS、BJ、Bubble Jetはキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®およびWindows®は、マイクロソフト社の登録商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い上げいただいた販売店へお申しつけください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

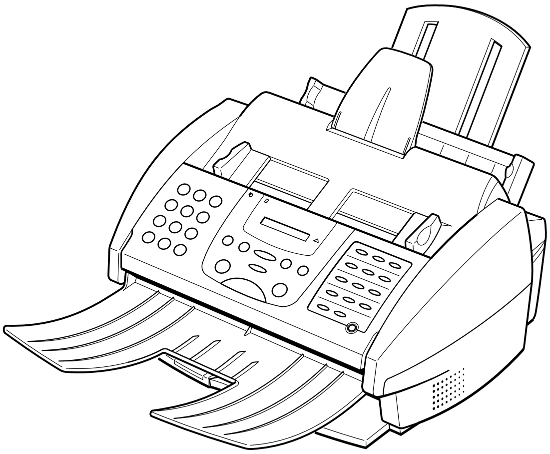
# はじめに

このたびは、MultiPASS（マルチパス） B-25（以下、B-25と略します）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

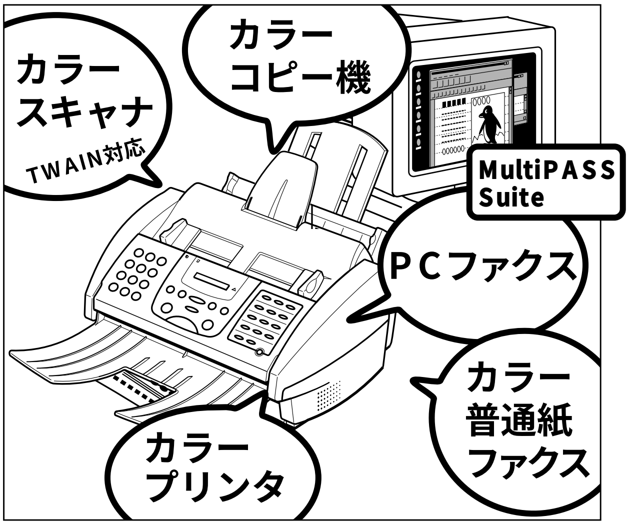
B-25は、G3規格の普通紙ファクシミリをはじめ、プリンタ、コピー、スキャナ、カラーファクス、PCファクスなど、オフィスでよく使われるさまざまな事務機と、コンピュータの周辺機器の機能を備えています。また、ファクスとしては、一般の電話回線だけでなく、Fネット（G3サービス）やArcstar InternetFAXのFAX接続型サービスにも対応しています。

この使用説明書には、B-25の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくための情報が書かれています。また、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項も載せてあります。B-25をご使用になる前に必ずお読みください。お読みいただいた後も大切に保管してください。

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社



# MultiPASS B-25の特長




B-25は、単体ではカラー普通紙ファクス、カラーコピー機として使うことができます。

コンピュータと接続すると、カラープリンタ、カラースキャナとしても使えます。ファクスの送受信もコンピュータからできるようになります。

## 写真画質のカラープリンタ

キヤノンのバブルジェット（BJ）方式で、最高720dpi（水平方向）×360dpi（垂直方向）の高解像度で、高品質で色鮮やかな印刷ができます。

毎分5ページという高速で、普通紙、光沢紙、封筒、OHPフィルム、バックプリントフィルム、布などいろいろなものに印刷できます。A4、B5、A5、レター、リーガルサイズの普通紙なら100枚（75g/m²の普通紙のとき）、OHPフィルムなら50枚、バックプリントフィルムや封筒なら10枚までセットできます。

エコノミーモードでは、通常の50%の量のインクで経済的に印刷できます。

## カラー普通紙ファクス

キヤノンの超鮮明画像処理技術GENESISで、絵や写真も鮮明に送受信できます。

相手側にカラーファクス機能があれば、カラーファクスの送受信ができます。

A4サイズの標準的な白黒原稿1ページを約6秒*で送信でき、送信中もつぎの送信の予約ができるので、時間のムダがありません。

送信先をワンタッチダイヤル（12件）や短縮ダイヤル（100件）に登録しておけば、かんたんにダイヤルでき、グループダイヤルや同報送信で複数の送信先（最大113か所）に送信できます。

記録用紙やインクがなくなっても、受信したファクスはメモリに保存されるので安心です。

大きなサイズのファクスは、端が切れないように記録用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

ECM（エラー修正機能）で、送受信のエラーを少なくすることもできます。

*キヤノンFAX標準チャートNo.1を標準モードで送信するとき
解像度：ファクス標準
送信速度：14400 bps
ECM-MMR

メモリには、約42ページ分（キヤノンFAX標準チャートNo. 1を標準モードで送るとき）の送受信ファクスを保存できます。

ECMでの送受信は、送信側、受信側の両方にECM機能があるときだけ使えます。

## フォトインクで高画質のカラーコピー

360×360dpiという高解像度のフルカラーコピー機として使えます。白黒原稿(ハーフトーンを含む)なら、最大毎分3枚という高速で、一度に99部まで。70%、80%、90%に縮小コピーもできます。カラーの写真モードでは、150%、200%に拡大もできます。

「フツウシ(コウソク)」に設定すると、180×180dpiでより高速にコピーすることもできます。

## 600dpi相当の高品位カラースキャナ

Scan Gear 4.0 TWAINなど、TWAIN規格に準拠したグラフィックソフトやOCRソフトを使って、フルカラーや256階調グレースケールで画像をコンピュータに読みこめます。解像度は30～600dpiの間で1dpi単位で調整できます。複数ページの連続読みこみに対応したアプリケーションでは、自動給紙装置(ADF)を使って、連続スキャンもできます。

付属のMultiPASS Suiteでは、300dpiの高解像度で読みこみ、600dpi相当までエンハンス処理することができます。

## PCファクス

コンピュータで送受信するファクスをPCファクスといいます。

B-25は、コンピュータでの白黒ファクスの送受信、カラーファクスの受信ができます。(コンピュータからカラーファクスを送信することはできません)

B-25をコンピュータと接続すれば、付属のDesktop ManagerやWindowsアプリケーションからファクスを送信したり、受信したファクスを印刷せずに、そのままコンピュータに保存できます。

送信先を登録しておけばかんたんにファクス送信でき、一度に複数の相手に送信したり、日時を指定して送信することもできます。送信するファクスには、自分で作ったカバーページをつけられます。

受信したファクスは、画面で内容を確認したり、印刷したり、加工して再送信できます。

スウィート
## MultiPASS Suiteとは

付属のMultiPASS Suiteは、コンピュータから操作して、B-25をプリンタ、ファクス、スキャナ、電話として使うためのMultiPASS用のアプリケーションの総称です。

- 印刷機能があるアプリケーションからファクス送信できます。
- 画面にファクスを表示し、保存、編集、印刷、クリップボードへのコピーなどの操作ができます。
- 電話番号やファクス番号を電話帳に登録できます。
- 一度に複数の送信先へファクスを同報送信できます。
- ファクスにオリジナルのカバーページ(表紙)をつけられます。
- MultiPASS SuiteやTWAIN規格に準拠したアプリケーションで画像を読みこめます。

MultiPASS Suiteのくわしい使い方については、『MultiPASS Suite使用説明書』をご覧ください。

# 本書の読み方

性能を十分にご利用いただくためにも、本書や付属している他の説明書は、必ずお読みください。

- 「MultiPASS B-25の特長」(→viページ)や「アフターサービスについて」(→xivページ)、「安全のためのご注意」(→xivページ)は必ずお読みください。
- ファクスやコピーなどの使い方は、本書の各章をお読みください。
- B-25を思うように操作できないときは、「9章 困ったときは」(→9-1ページ)をお読みください。
- くわしい仕様は、「付録」の「仕様」(→10-23ページ)をご覧ください。

操作方法がわからなくなったり、何か問題が発生したときのために、本書はすぐ手の届くところに用意しておいてください。

本書をお読みになっても、わからないことがあるときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)にご相談ください。

## B-25を使い始める前に

### ●コンピュータと接続するとき

B-25をコンピュータと接続して、Windowsのアプリケーションや MultiPASS Suiteから印刷、スキャナ、ファクスの送受信などを行うときは、最初に『マルチパスB-25の羅針盤』にしたがってセットアップを行ってください。

### ●コンピュータと接続しないとき

B-25をコンピュータと接続しないで使うときは、『マルチパスB-25の羅針盤』でコンピュータを接続する操作の前まで行った後、本書の1章の操作を行ってください。

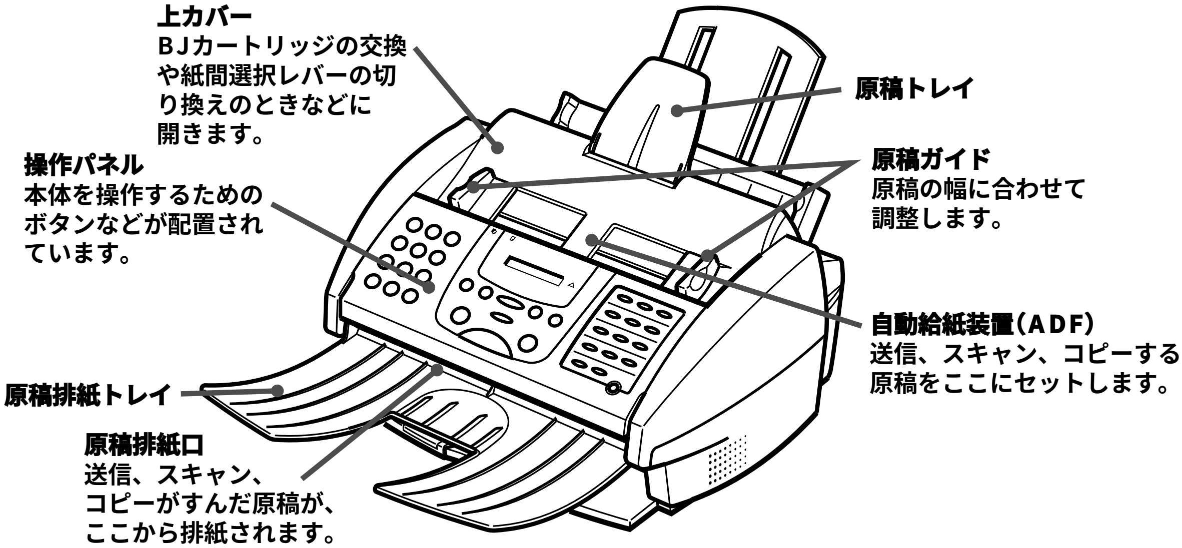
**マーク、表記について**　本書の中のマークや表記には、つぎのような意味があります。

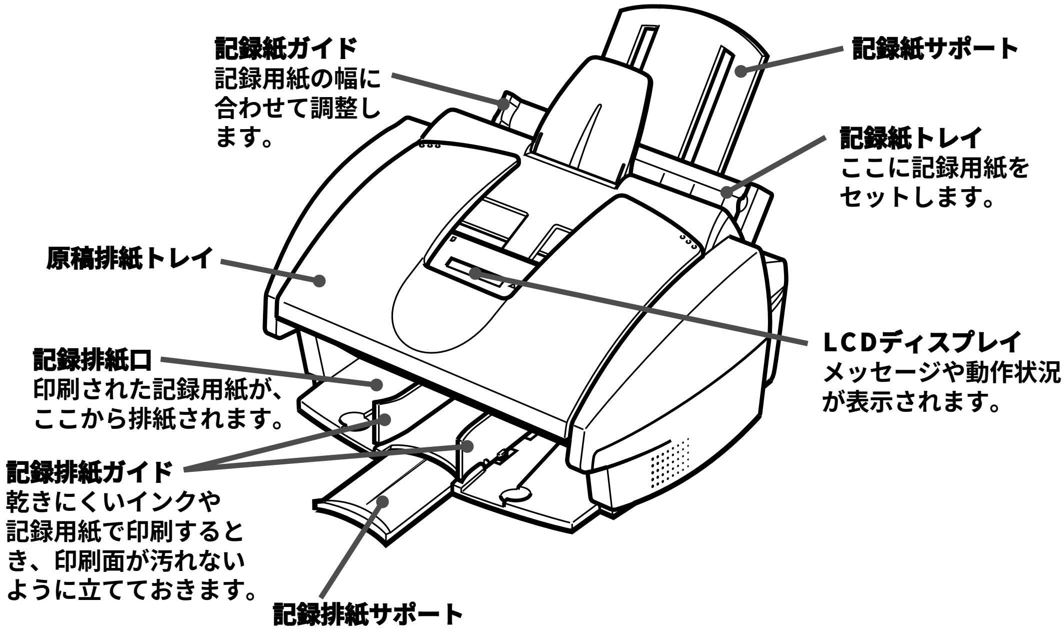
| | |
|---|---|
| ⚠**警告** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠**注意** | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
| →3-6ページ | 矢印は参照先を示しています。 |
| 「ソウシン　オワリマシタ」 | 操作パネルのLCDディスプレイに表示される ソウシン オワリマシタ のようなメッセージは「 」で囲んでいます。 |
| | LCDディスプレイにいくつかのメッセージがくり返し表示されることを示します。 |
| B-25 | 本機(MultiPASS B-25)の略称です。 |

# 各部の名称と働き

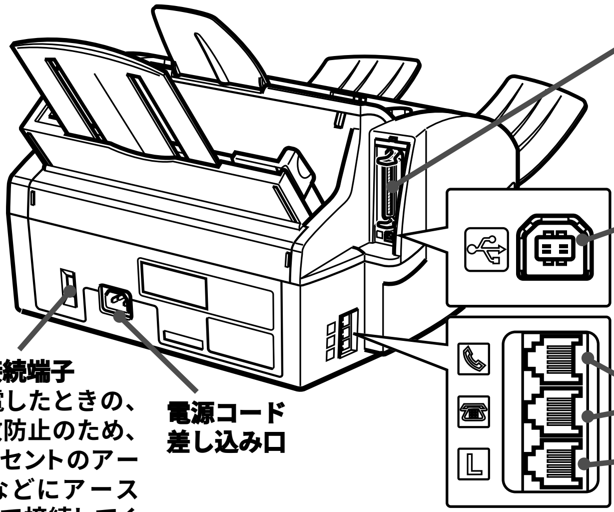
本体各部と取り付けた付属品の名称、機能は、つぎのとおりです。

## 前面



## 背面



**パラレルケーブル接続部**
コンピュータと双方向パラレルインタフェースケーブルで接続するときは、ここに接続します。

**USBケーブル接続部**
コンピュータとUSBケーブルで接続するときは、ここに接続します。

**子電話接続端子**

**電話回線接続端子**

**アース接続端子**
万一漏電したときの、感電事故防止のため、電源コンセントのアース端子などにアース線を使って接続してください。

**電源コード差し込み口**

### ⚠警告

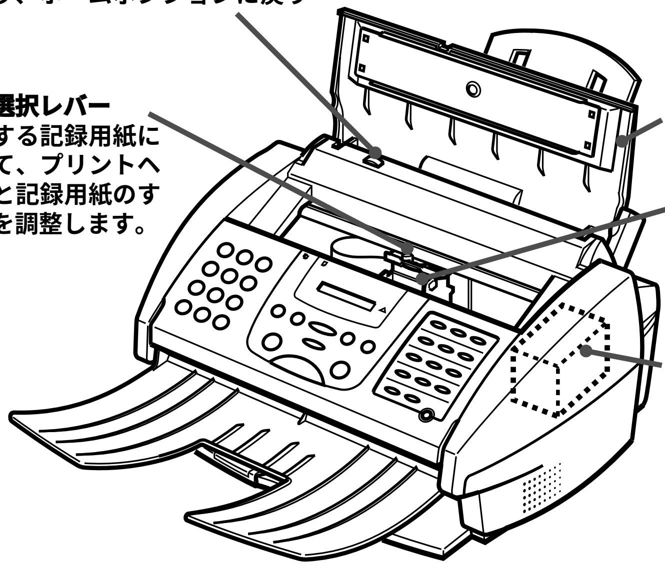
つぎのようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管
- 電話専用アース端子
- 避雷針
- 水道管や蛇口

## 内部

**(カートリッジボタン記号) ボタン(カートリッジボタン)**
BJカートリッジを取り付けたり、交換するときに押します。このボタンを押すと、カートリッジホルダが中央の交換できる位置に移動したり、ホームポジションに戻ります。

**紙間選択レバー**
使用する記録用紙に応じて、プリントヘッドと記録用紙のすきまを調整します。

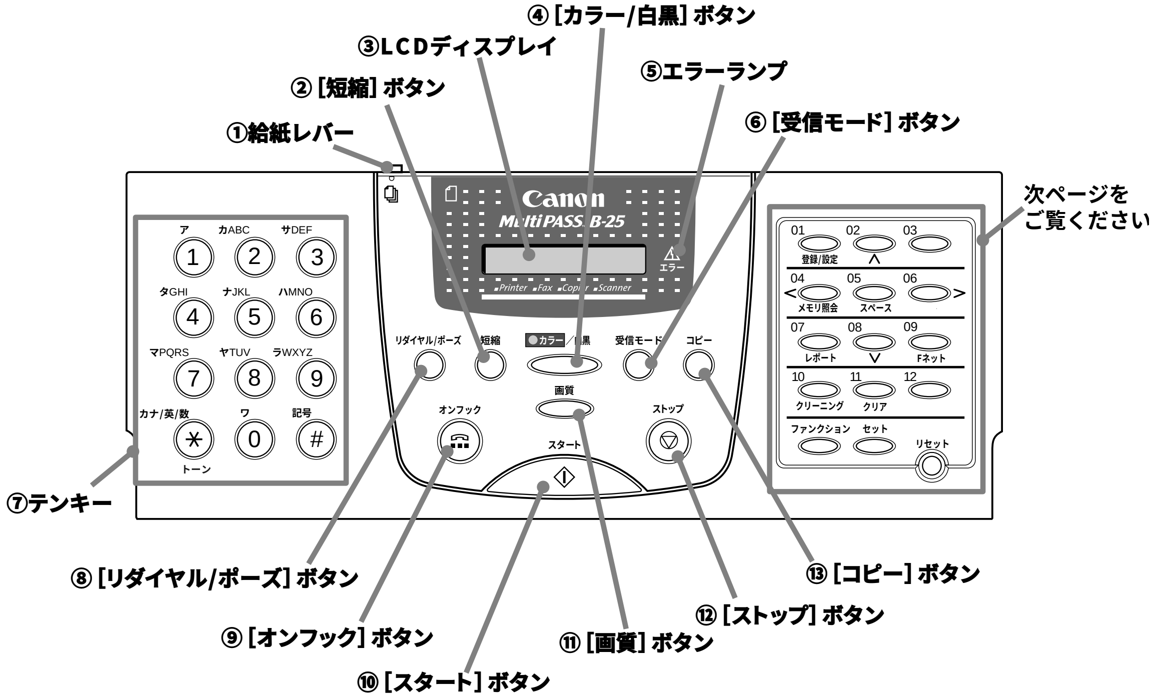


**上カバー**

**カートリッジホルダ**

**カートリッジホルダのホームポジション**
印刷やBJカートリッジの交換などを行っていないとき、カートリッジホルダはこの位置に停止しています。

## 操作パネル




**①給紙レバー**

2枚以上の原稿をセットするときは給紙レバーを（左）に、1枚ずつセットするときは（右）にします。

**②［短縮］ボタン**

短縮ダイヤルを使うときは、このボタンを押してから登録した2桁の番号を押します。

**③LCDディスプレイ**

メッセージや動作状況が表示されます。設定を行うときは、メニューや選択項目が表示されます。

**④［カラー/白黒］ボタン**

このボタンを押して、ランプがついた状態にすると、コピーやファクス送信がカラーで行われます。もう一度ボタンを押してランプが消えると白黒になります。

**⑤エラーランプ**

エラーが発生したり、記録用紙やインクがなくなったときなどに点滅します。

**⑥［受信モード］ボタン**

押すたびに、受信モードが切り替わります。

**⑦テンキー**

ダイヤルするファクス番号や電話番号を入力します。相手の名前の登録など、文字や記号を入力するときにも使います。

**⑧［リダイヤル/ポーズ］ボタン**

最後にテンキーでダイヤルした番号にもう一度かける（リダイヤルする）ときに押します。また、ファクス番号の間にポーズを入れるときにも押します。

**⑨［オンフック］ボタン**

電話をかけるときに押します。

**⑩［スタート］ボタン**

送信、受信、スキャン、コピーなどの操作を開始するときに押します。

**⑪［画質］ボタン**

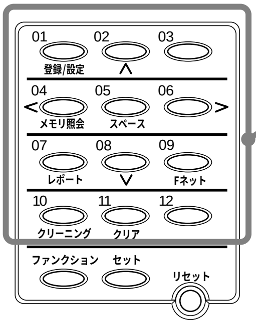
コピーやファクス送信の画質を選びます。

**⑫［ストップ］ボタン**

送信や受信などの操作を中止して、スタンバイの状態にします。

**⑬［コピー］ボタン**

コピーをとるときに押します。




**ワンタッチダイヤルボタン/機能ボタン**
通常はワンタッチダイヤルボタンですが、ファンクションボタンを押してランプがついた状態にすると、［登録/設定］ボタン、［∧］ボタンなど、青い文字で書かれた機能ボタンとして使えるようになります。
もう一度ファンクションボタンを押してランプが消えると、ワンタッチダイヤルとして使えるようになります。

**［登録/設定］ボタン**
LCDディスプレイにメニューを表示して、スピードダイヤル、ユーザ情報、送受信などの設定を行います。

**［∧］ボタン**
データ登録設定のときに他の選択項目を表示できます。

---

**［<］ボタン**
登録のときに、カーソルを左に動かすことができます。

**［メモリ照会］ボタン**
メモリに保存されているファクスを印刷、削除したり、リストを印刷します。

**［スペース］ボタン**
送信先を登録するときなどに、文字や数字の間にスペースを入れます。

**［>］ボタン**
登録のときに、カーソルを右に動かすことができます。

---

**［レポート］ボタン**
登録した情報や、通信結果に関する情報のレポートを印刷します。

**［∨］ボタン**
データ登録設定のときに、他の選択項目を表示できます。

**［Fネット］ボタン**
ファクス番号を登録するときに、Fネットの第2ダイヤルトーンを自動的に検知するための記号を入力します。

---

**［クリーニング］ボタン**
BJカートリッジのノズルチェックやクリーニングを行います。

**［クリア］ボタン**
登録のときに、入力した内容を消去します。

---

**［ファンクション］ボタン**
［ファンクション］ボタンを押して、ランプがついた状態にすると、［登録/設定］ボタン、［∧］ボタンなど、青い文字で書かれた機能を使えるようになります。

**［セット］ボタン**
メニューを選ぶときや、データを登録するときに押します。

**［リセット］ボタン**
印刷中にコンピュータ側がエラーになったとき、コンピュータ側のエラーを修復したら、印刷を再開する前に、このボタンを押してB-25をリセットします。また、紙づまりなどのエラーの原因を取り除いた後に押します。

# アフターサービスについて

B-25は最新の技術を使って、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。

何か問題が発生したときは、まず「9章 困ったときは」(→9-1ページ)を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)までお問い合わせください。

# 安全のためのご注意

B-25をお使いになる前に、つぎの安全上のご注意を必ずお読みください。また、何か困ったことが起きたときにも参考にしてください。

## ⚠警告 心臓ペースメーカーをご利用の方へ

**B-25からは微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方で異常を感じた場合は、B-25から離れ、その後、医師にご相談ください。**

## ⚠注意 設置する場所について

**水平で振動のない安定した場所に設置してください。**

**周りに物を密着させないでください。**

本体の内部では発熱しています。放熱が十分でないと、内部の温度が上昇し、故障や火災の原因になります。また、ベッド、ソファー、敷物の上など、柔らかいものの上や、エアコン、暖房器具など、熱を発するものの近くでは使わないでください。戸棚や本棚、ラックなど、十分に換気できない場所には収めないでください。

**水滴のかかるような場所には設置しないでください。**

水道の蛇口、加湿器、湯沸器の近くなど、水滴のかかるような場所には設置しないでください。万一、B-25に水をかけてしまった場合は、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

**直射日光の当たる場所には設置しないでください。**

直射日光の当たる場所に設置すると、故障の原因になります。やむをえない場合は厚いカーテンやブラインドなどで遮光してください。

**温度が急激に変化する場所には設置しないでください。**

室内の温度範囲は10～32.5度の間が適当です。

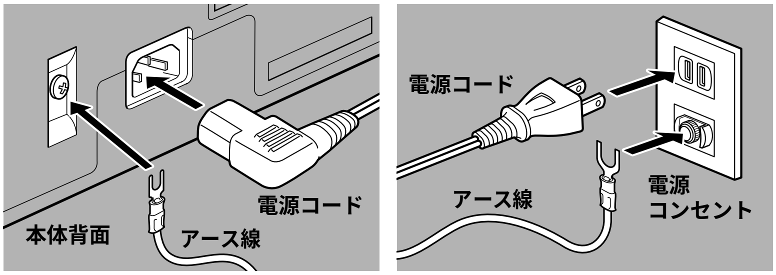
## ⚠注意 電源について

**本体ラベルに指定されている電源を使ってください。**

電源は、本体ラベルに指定されているものを使ってください。ご使用の電源の種類がよくわからない場合は、最寄りの電力会社にお問い合わせください。使用できる電源の種類についてご不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

**アース線は必ずアースに接続してください。**

アース線で、B-25本体背面のアース接続端子を電源コンセントなどのアースに接続してください。アース線は付属していません。別途、ご購入ください。




**⚠警告** **万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線はつぎのところに取り付けられます。**

○
- 電源コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）が行われている接地端子

**つぎのようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。**

×
- ガス管
- 電話専用アース端子
- 避雷針
- 水道管や蛇口

**電源コンセントの供給限界を超えないように注意してください。**

電源に接続しているすべての機器の合計の電力使用量が、電源コンセントの供給限界を超えないように注意してください。

**電源コードを踏んだり､重いものをのせないでください。**

電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。歩くときに電源コードが足に引っかからない場所に設置してください。また、コードがねじれたり、結び目ができていないか確認してください。

**電源を切ってすぐに電源を入れないでください。**

一度電源を切ったら、また電源を入れるまで少なくとも5秒間お待ちください。

**印刷中は絶対に電源コードを抜かないでください。**

紙づまりの原因になります。

**雷が鳴ったら､すぐに電源コードを電源コンセントから抜いてください。**

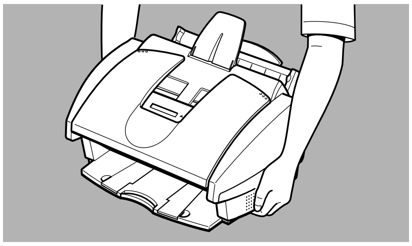
## ⚠注意 移動、運搬、清掃について

**移動したり清掃したりするときは、必ず電源コードを抜いてください。**
**運搬するときは、BJカートリッジを取りはずさないでください。**

カートリッジホルダがホームポジションにあることを確認してから電源コードを抜いてください。

**B-25を持ち上げるときは、本体側面を持ってください。**

絶対に前面の記録排紙口や背面の記録紙トレイを持って持ち上げないでください。



## ⚠注意 その他の取り扱いについて

**B-25は絶対に分解しないでください。**

本体内部には高圧電流部分が露出している箇所があり、触れると感電するおそれがあります。

**本体に表示されている注意事項は必ずお守りください。**
**内部にものを差しこんだり、落としたりしないでください。**

ドライバなど、細長いものを本体内部に差しこまないでください。本体内部には高圧電流部分が露出している箇所があり、これに触れると火災になったり、感電するおそれがあります。
また、B-25の内部に細かい異物(ピン、紙、クリップ、ホチキスの針)などを落とさないように注意してください。万一、異物がはいってしまったときは、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

## ⚠注意 つぎのような場合は、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いてください。

**つぎのような場合は、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡してください。**

- **電源コードやプラグが傷ついたり、すり切れたりしている。**
- **本体の上または内部に液体をこぼした。**
- **煙が出たり、異様な音や臭いがしている。**
- **B-25を落としてしまった。または、本体や付属品が壊れた。**
- **正しい手順で操作しても、うまく動かない。「9章 困ったときは」(→9-1ページ)の手順にしたがって操作しても問題が解決しない。**

B-25を操作するときは、必ず本書の手順にしたがってください。不用意に装置を壊してしまうと、大がかりな修理が必要になる場合があります。

# 1章
# B-25をコンピュータと接続しないときの設定のしかた

B-25をコンピュータと接続しないで使うときは、B-25の操作パネルで、ファクスの送受信のために、現在の日付、時刻と電話回線の種類を設定してください。

コンピュータを接続して、Desktop Managerで設定を行うと、B-25の操作パネルで行った設定はすべて無効になってしまいます。B-25をコンピュータと接続して使うときは、コンピュータからDesktop Managerを使って設定してください。

コンピュータからの設定のしかた
→『マルチパスB-25の羅針盤』、『MultiPASS Suite使用説明書』

# 発信元情報を登録する

　ファクスの送受信を行うために、いくつかの設定が必要です。現在の日付、時刻と電話回線の種類は、必ず正しく設定してください。

**現在の日付、時刻**

現在の日付、時刻を設定してください。送信されたファクスの上部に印刷されます。

**発信元情報**

送信したファクスのいちばん上(ヘッダ)に印刷される日付、時刻やページ番号などの情報を発信元情報といいます。

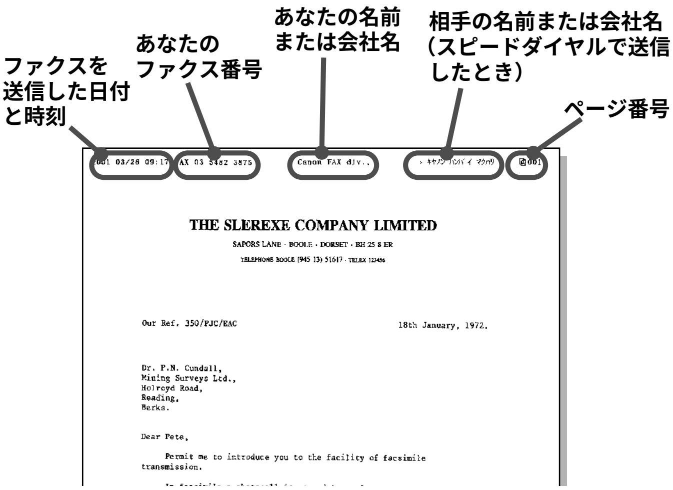
あなたの名前(または会社名)とファクス番号を登録して、印刷することもできます。スピードダイヤルを使ってファクスを送信したときは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている相手の名前(または会社名)も印刷されます。

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

　設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

**送信されたファクスに印刷される発信元情報**




　発信元情報は、送信するファクスの画像領域の外側(上)につけるか、画像領域内につけるかを設定できます。

→「「基本設定」メニュー」10-4ページ

**1** ファンクション ボタンを押します。

ファンクション ボタンが光ります。

**2** 01 登録/設定 ボタンを押します。

```
データ トウロク
```

**3** セット ボタンを押します。

```
キホン セッテイ
```

**4** セット ボタンを押します。

```
ヒヅケ/ジコク セット
```

5 セット ボタンを押します。

設定されている日付、時刻が表示され、入力できるようになります。

`2001 03/20 13:00`（例）

6 **現在の日付、時刻をテンキーで入力します。**

日付は、年（西暦下2桁）、月、日の順に入力します。

時刻は、午後2時38分を「14:38」のように、24時制で入力します。

`2001 03/24 14:38`（例）

7 セット **ボタンを押します。**

日付、時刻が登録されます。

`トウロク シマシタ`
`ユーザ TEL トウロク`

8 セット **ボタンを押し、テンキーであなたのファクス番号を入力します。**

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

番号を読みやすくするために、05 スペース ボタンを押してスペース（空白）を入れることもできます。

`TEL=03 3758 2111`（例）

**発信元情報にあなたのファクス番号をのせないときは、入力しなくてもかまいません。**

9 セット **ボタンを押します。**

ファクス番号が登録されます。

`トウロク シマシタ`
`ユーザ リャクショウ トウロク`

10 **もう一度 セット ボタンを押し、テンキーであなたの名前または会社名を入力します。文字の入力のしかたは、つぎのページをご覧ください。**

24文字まで入力できます。

`CANON :A`（例）

**発信元情報にあなたの名前や会社名をのせないときは、入力しなくてもかまいません。**

**●文字の入力**

**→「文字を入力する」1-4ページ**

11 セット **ボタンを押します。**

名前または会社名が登録されます。

12 ストップ **ボタンを押します。**

`03/24 FAX/TEL`（例・スタンバイ状態）

# 文字を入力する

発信元情報にあなたの名前や会社名を入力するときは、テンキーや、[06]>ボタン、<[04 メモリ照会]ボタンを使います。

テンキーのボタンでは、カナモード、英字モード、数字モードで、つぎの文字を入力することができます。

文字の入力中に60秒以上何も操作をしないと、スタンバイ状態に戻ります。

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>カナモードのとき</th><th>英字モードのとき</th><th>数字モードのとき</th></tr>
<tr><td>①</td><td>アイウエオ</td><td></td><td>1</td></tr>
<tr><td>②</td><td>カキクケコ</td><td>A B C a b c</td><td>2</td></tr>
<tr><td>③</td><td>サシスセソ</td><td>D E F d e f</td><td>3</td></tr>
<tr><td>④</td><td>タチツテト</td><td>G H I g h i</td><td>4</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>ナニヌネノ</td><td>J K L j k l</td><td>5</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>ハヒフヘホ</td><td>M N O m n o</td><td>6</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>マミムメモ</td><td>P Q R S p q r s</td><td>7</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>ヤユヨ</td><td>T U V t u v</td><td>8</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>ラリルレロ</td><td>W X Y Z w x y z</td><td>9</td></tr>
<tr><td>⓪</td><td>ワヲンァィゥェォャュョッ</td><td></td><td>0</td></tr>
<tr><td>#</td><td>゛ ゜ 。「 」 、 ・ ー</td><td colspan="2">ー . ＊ # ! " , ; : ^ ` _ = / | ' ?<br>$ @ % & + ( ) [ ] { } < ></td></tr>
<tr><td>＊</td><td colspan="3">＊ボタンを押すと、カナモード、英字モード、数字モードが切り替わります。<br>→カナモード ──→ 英字モード ──→ 数字モード ─┘</td></tr>
</table>

## ●モードを切り替える

文字入力の状態で [＊ カナ/英/数 トーン] ボタンを押すと、モードが切り替わり、LCDディスプレイの右端に表示されます。

カナモードのときは、「：ア」と表示されます。

```
_                :ｱ
```

英字モードのときは、「：A」と表示されます。

```
_                :A
```

数字モードのときは、「：1」と表示されます。

```
_                :1
```

## ●文字の入力のしかた（例：「キ」と入力するとき）

*1* **入力する文字のモードになるまで カナ/英/数(＊)トーン ボタンを押します。**

カナモード（右側に「：ア」と表示された状態）になるまで カナ/英/数(＊)トーン ボタンを押します。

```
_                :ア
```

*2* **入力する文字が表示されるまで、その文字が割り当てられているテンキーのボタンを押します。**

たとえば、カ行の文字を入力したいときは、「カABC」と書かれている カABC(2)ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、そのボタンに割り当てられている文字が順番に表示されます。カナモードで「キ」と入力するときは、 カABC(2)ボタンを2回押します。

```
キ                :ア
```

*3* **06 >ボタンを押して、カーソルをつぎに移動します。**

```
キ_               :ア
```

つぎに入力する文字が違うボタンに割り当てられているときは、06 >ボタンを押さなくても、そのボタンを押すと、前の文字が入力され、カーソルがつぎに移動します。

## ●入力した文字を1字だけ消去、修正する

**すでに入力されている文字はつぎのようにして消去、修正します。**

*1* **06 >ボタン、04 < メモリ照会ボタンを押して、消去、修正したい文字までカーソルを移動します。**

*2* **テンキーで正しい文字を入力します。**

05 スペースボタンを押すと、カーソル位置の文字が消去され、空白になります。

## ●入力した文字をすべて消去する

*1* **11 クリアボタンを押します。**

# ユーザデータリストを印刷して発信元情報を確認する

**登録した発信元情報を確認し、現在の設定をチェックするためには、ユーザデータリストを印刷します。**

*1* **ファンクション ボタンを押します。**

*2* **07 レポート ボタンを押します。**

ツウシン カンリ レポ゜ート

*3* ユーザ゛デ゛ータリスト **と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。**

*4* **セット ボタンを押します。**

ユーザデータリストが印刷されます。



**ユーザデータリスト**

# 電話回線の種類を設定する

**B-25を接続した電話回線の種類を設定してください。**

**工場出荷時は、ダイヤル回線(20pps)に設定されているので、ダイヤル回線に接続したときは、この設定は必要ありません。**

**電話回線の種類がわからないときは、NTTの回線調べ(116)に問い合わせてください。NTTの領収書、口座振替のお知らせでもわかります。(右記参照)**

*1* **ファンクションボタンを押します。**

*2* **01 登録/設定ボタンを押します。**

```
デ゛ータ トウロク
```

*3* **セットボタンを押します。**

```
キホン セッテイ
```

*4* **セットボタンを押します。**

```
ヒヅ゛ケ/ジ゛コク セット
```

*5* **`カイセン シュルイ センタク` と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。**

*6* **セットボタンを押します。**

設定されている電話回線の種類が表示されます。

*7* **使用する電話回線の種類が表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。**

```
ダ゛イヤル カイセン
プ゜ッシュ カイセン
```

*8* **セットボタンを押します。**

**ダイヤル回線のときはダイヤルスピードが表示されるので、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押してダイヤルスピードを選び、セットボタンを押します。**

```
20PPS
10PPS
```

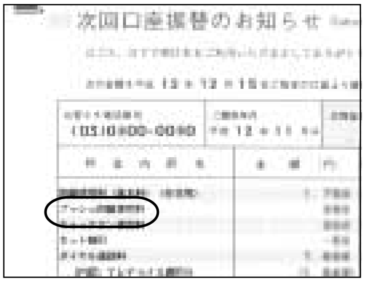
回線の種類が設定されます。

```
レポ゜ート セッテイ
```

**●NTTの領収書で回線の種類を見分ける方法**

**領収書、口座振替のお知らせに「プッシュ回線使用料」が記載されているときは「プッシュ回線」、記載されていないときは「ダイヤル回線(20pps)」を選んでください。**

**内線に接続したときなど、まれに「ダイヤル回線(10pps)」にしなければならないことがあります。相手が話し中でないのにエラー送信レポートに「話し中でした」と印刷されるときや、LCDディスプレイに「ハナシチュウ デシタ」と表示されるときは、この設定にしてみてください。**




**NTTの口座振替のお知らせの例**

*9* ストップボタンを押します。

03/24　　FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

# 2章
# ファクスを送信する



**この章では、B-25を使ってファクスを送信する方法について説明します。**

**送信する原稿は、自動給紙装置(ADF)にセットします。B-25で使用できる原稿については、「5章 原稿のセットとコピー、スキャン」(→5-1ページ)を参照してください。**

# ファクスを送る

B-25は、相手を呼び出しながら原稿を読みこんでメモリに保存し、電話がつながると、残りの原稿を読みこみながら送信します。メモリに保存しながら送信するので、この方法を「メモリ送信」といいます。

## 1 カラーか白黒を選びます。



●カラー／白黒 ボタンを押すと、カラー、白黒が切り替わります。
ランプがついているときは、カラーで送られます。ランプが消えているときは、白黒で送られます。

## 2 原稿をセットし、原稿ガイドをよせます。




LCDディスプレイの表示(例)

```
メモリ シヨウ リョウ    0%
ゲンコウ ガ アリマス
```

## 3 ダイヤルします。(ダイヤルのしかた→右ページ)



```
TEL=  0337582111
```
(例)

**●メモリに保存できる枚数**

B-25のメモリには、約42ページの原稿を保存できますが、写真や絵が多い原稿や、文字が細かい原稿は、保存できるページ数が少なくなります。

B-25では、同時に複数の処理ができるので、原稿を読みこんでメモリに保存しているときでも、ファクスを受信したり、印刷することができます。

**●メモリ使用量**

メモリ使用量が100パーセントに近いときは、メモリ送信はできません。メモリ内のファクスを印刷、削除してメモリを空けるか、手動送信してください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ
手動送信→「接続した電話機を使ってファクスを送る」2-6ページ

**●送信先のファクス機器にカラーファクスの機能がないとき**

カラーでは送信できませんが、そのような場合、自動的に白黒に変換して送信するように設定することもできます。

カラーダイレクト送信→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

**●解像度、読み取り濃度の調整**

→「解像度を変える」2-7ページ、「読み取り濃度を変える」2-8ページ

**●2枚以上の原稿をセットするとき**

給紙レバーを(左)にしてください。

**●2枚以上セットできない原稿**

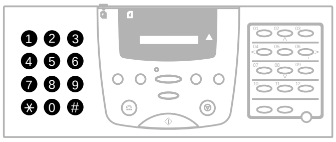
厚い紙の原稿、はがき･名刺などの小さな原稿、写真、光沢処理された紙の原稿、キャリアシートなど。これらの原稿は給紙レバーを(右)にして1枚ずつセットしてください。

→「使用できる原稿」5-2ページ

## ダイヤルのしかた　　（くわしくはつぎのページ）

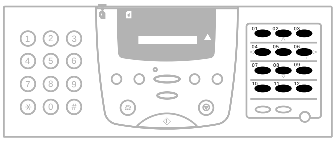
**ファクス番号は、つぎのどれかの方法でダイヤルします。**

### ●テンキーでダイヤルする



送信先のファクス番号をテンキーで順に押します。

### ●ワンタッチダイヤル



送信先が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。グループ（複数の送信先）が登録されているときは、そのすべての送信先に送信されます。

送信先の登録→「ワンタッチダイヤルを登録する」3-2ページ、「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

### ●短縮ダイヤル




短縮ボタンを押して、テンキーで送信先の短縮ダイヤル番号（2桁）を押します。グループ（複数の送信先）が登録されているときは、そのすべての送信先に送信されます。

送信先の登録→「短縮ダイヤルを登録する」3-6ページ、「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

### ●コンピュータでダイヤルする

Desktop Managerを使って、コンピュータからファクス番号をダイヤルすることもできます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

## 4 スタートボタンを押します。



原稿の読みこみと、ファクス番号の呼び出しが始まります。

送信中の表示（例）

```
ソウシン
ウケツケ バンゴウ 0012
ヨミコミ チュウ    P.001
          0337582111
ヨビダシ チュウ
ソウシン オワリマシタ
```

←送信が終わると、表示されます。



原稿はここから出てきます。

**●自動的な原稿読みこみ**

スピードダイヤル（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）でダイヤルしたときは、スタートボタンを押さなくてもダイヤルして5〜10秒で自動的に原稿の読みこみとファクス番号の呼び出しが始まります。

「送信機能設定」メニューで「ダイヤル タイム アウト」の設定（→10-5ページ）を「シナイ」にすると、自動的には読みこまれないのでスタートボタンを押してください。60秒以内にスタートボタンを押さないと、送信はキャンセルされ、スタンバイ状態に戻ります。

この設定は、Desktop Managerの［ファクス送信の詳細設定］の［自動スタート］でも変更できます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

**●受付番号**

送受信するファクスごとに自動的にふられる番号です。送信は0001から、受信は5001からふられます。通信管理レポートでどのファクスかを区別するのに役立ちます。

**●送信結果レポート**

送信結果レポートを印刷するように設定していれば、送信結果レポートかエラー送信レポートが印刷されます。

**●相手が話し中のとき**

「ジドウ リダイヤル」と受付番号が交互に表示されます。

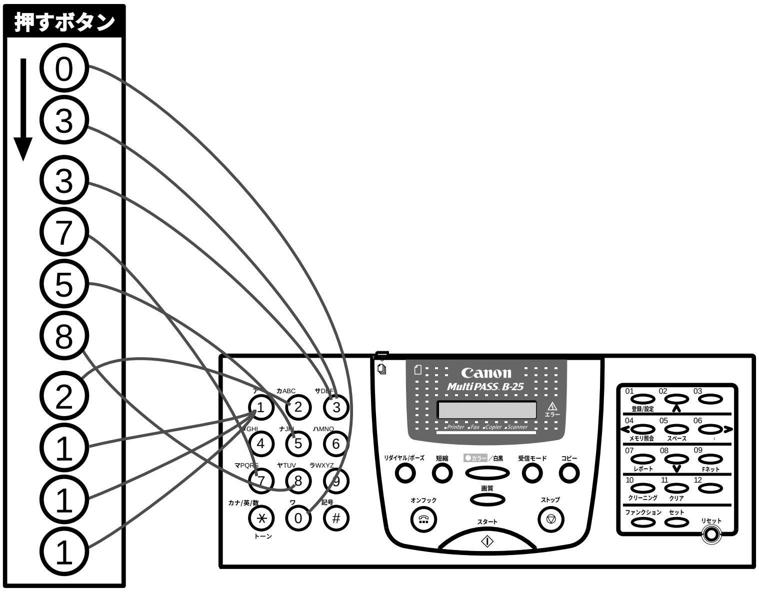
# ダイヤルのしかた

ファクス送信先などのダイヤルには、つぎのような方法があります。

## テンキーでダイヤルする方法

電話番号を、テンキーで順に押します。

たとえば、「03-3758-2111」をダイヤルするには、つぎのようにひとつずつボタンを押します。




**●B-25を内線に接続しているとき**

内線(構内回線)から外線番号に送るときは、最初に外線呼び出し番号(一般には「0」)を押し、リダイヤル/ポーズボタンを押し、電話番号を入力してください。

TEL=0p0337582111 (例)

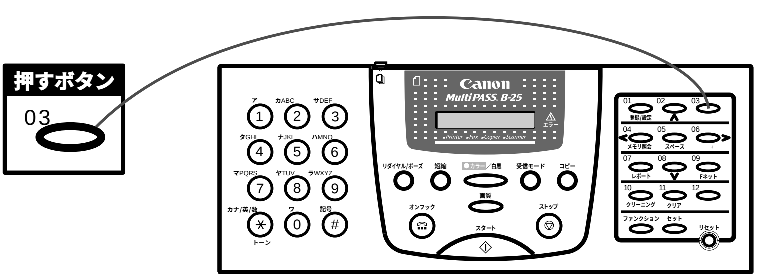
**●誤ったボタンを押したとき**

ストップボタンを押してからやりなおします。

## ワンタッチダイヤルでダイヤルする方法

電話番号が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。

たとえば、相手の電話番号がワンタッチダイヤルの「03」に登録されているときは、03ボタンを押します。




ワンタッチダイヤルボタンに、グループダイヤルとして複数の電話番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、複数の送信先に順に送信されます。

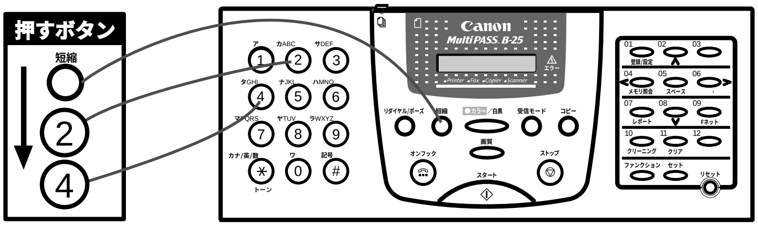
**●「デンワバンゴウ ミトウロク」と表示されたとき**

登録されていないワンタッチダイヤルのボタンを押したときに表示されます。他のボタンを押すか、そのボタンに送信先を登録してください。

## 短縮ダイヤルでダイヤルする方法

短縮ボタンを押して、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を押します。

たとえば、相手の電話番号が、短縮ダイヤルの「＊24」に登録されているときは、短縮、②、④の順にボタンを押します。

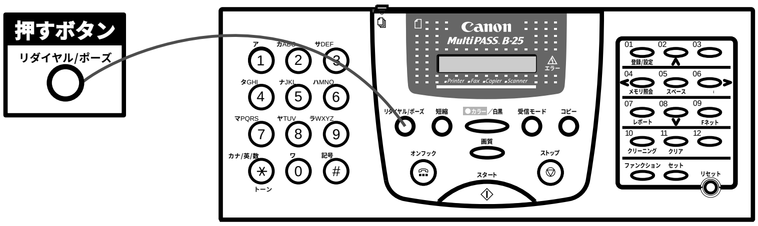



短縮ダイヤルに、グループダイヤルとして複数の電話番号を登録しておくと、短縮ダイヤルを押すだけで、複数の送信先に順に送信されます。

## リダイヤル

テンキーでダイヤルした相手にもう一度ダイヤルするときは、リダイヤル/ポーズボタンを押します。

ファクスを再送信するときは、原稿をセットしてリダイヤル/ポーズボタンを押し、スタートボタンを押します。最後にテンキーでダイヤルした番号に送信されます。中止するときは、ストップボタンを押します。




**●「デンワバンゴウ ミトウロク」と表示されたとき**

登録されていない短縮ダイヤルの番号を押したときに表示されます。他のボタンを押すか、その番号に送信先を登録してください。

**●自動的な原稿読みこみ**

スピードダイヤル（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル）でダイヤルしたときは、スタートボタンを押さなくてもダイヤルして5～10秒で自動的に原稿の読みこみとファクス番号の呼び出しが始まります。

「送信機能設定」メニューで「ダイヤル タイム アウト」の設定（→10-5ページ）を「シナイ」にすると、自動的には読みこまれないのでスタートボタンを押してください。60秒以内にスタートボタンを押さないと、送信はキャンセルされ、スタンバイ状態に戻ります。

この設定は、Desktop Managerの［ファクス送信の詳細設定］の［自動スタート］でも変更できます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

リダイヤル/ポーズボタンは、自動リダイヤルの設定に関係なく、使うことができます。

## コンピュータでダイヤルする

Desktop Managerを使って、コンピュータから電話番号をダイヤルすることもできます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

# 接続した電話機を使ってファクスを送る

**B-25に子電話を接続しているときは、受話器を取って相手と話してからファクスを送ることができます。これを「手動送信」といい、相手が1本の電話回線を電話とファクスの両方に使っているときなどに便利です。**

**B-25の[オンフック]ボタンを使って、子電話を使わずに手動送信することもできます。この場合は、相手と話すことはできません。**

*1* **カラーか白黒を選びます。**

原稿排紙トレイを開き、[カラー/白黒]ボタンを押すと、カラーと白黒が切り替わります。

ランプがついているときは、カラーで送られます。ランプが消えているときは、白黒で送られます。

**●解像度、読み取り濃度の調整**
**→「解像度を変える」2-7ページ、「読み取り濃度を変える」2-8ページ**

*2* **原稿をセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。**

**LCDディスプレイの表示（例）**

```
メモリ シヨウ リョウ    0%
ゲンコウ ガ  アリマス
```

*3* **子電話の受話器を取るか、[オンフック]ボタンを押して、B-25のテンキーやワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで電話をかけます。**

B-25本体でダイヤルすると、LCDディスプレイに電話番号が表示されます。

```
TEL=  0337582111
```
（例）

**→「ダイヤルのしかた」2-4ページ**

**●番号を間違ったとき**
**[オンフック]ボタンを押すか、受話器を戻して、3の操作からやりなおしてください。**

**●受話器を取らないで、[オンフック]ボタンを押したとき**
**相手の声は聞こえますが、あなたの声は相手には聞こえません。話をするときは受話器を取ってください。**

*4* **相手が応答したら、受話器で会話をします。**

相手の声ではなく、ピーという音が聞こえたときは、6の操作に進みます。

*5* **ファクスを送信するときは、相手に、ファクス機器のスタートボタンを押すなど、受信の操作をしてもらうように伝えます。**

*6* **ピーという音が聞こえたら、B-25の[スタート]ボタンを押して、受話器を戻します。**

LCDディスプレイには、「ソウシン」という文字と受付番号が表示されます。

```
ウケツケ バンゴウ 0012
```
（例）

**●[スタート]ボタンを押す前に受話器を戻したとき**
**電話が切れ、ファクスは送れません。**

# 解像度を変える

B-25は、キヤノンのGENESIS(超鮮明画像処理技術)によって、原稿にきわめて近い画質でファクスを送信できます。また、原稿にもっとも適した状態でファクスを送信するために、解像度を使い分けることができます。解像度は、つぎのように設定します。

*1* カラーの解像度を設定したいときは ●カラー/白黒 ランプがついた状態に、白黒の解像度を設定したいときは消えた状態にします。
●カラー/白黒 ボタンを押すたびに切り替わります。

*2* 画質 ボタンを押します。
設定されている解像度がLCDディスプレイに表示されます。

ﾌｧｸｽ ﾋｮｳｼﾞｭﾝ (例)

*3* 設定したい解像度が表示されるまで、画質 ボタンを押します。

**カラーのとき**

ﾌｧｸｽ ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ﾌｧｸｽ ﾌｧｲﾝ

**白黒のとき**

ﾌｧｸｽ ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
ﾌｧｸｽ ﾌｧｲﾝ
ﾌｧｸｽ ｼｬｼﾝ

最後に表示した解像度に設定されます。約10秒間何も操作しないと、LCDディスプレイの表示がスタンバイ状態に戻ります。

**●カラーの2つのモード**

**ファクス ヒョウジュン**
イラストやプレゼンテーション資料のような階調の少ないカラー原稿に適したモードです。B-25どうしならカラーBJカートリッジで印刷するのに適しています。「ファクス ファイン」より、短い時間で送信できます。解像度は200×200dpi。

**ファクス ファイン**
写真や風景画など、階調の多い自然なカラー原稿に適したモードです。B-25どうしならカラーBJカートリッジフォトで印刷するのに適しています。ただし、カラーBJカートリッジフォトで受信したファクスを印刷するには、フォトインク記録が「スル」に設定されている必要があります。
→「「プリント設定」メニュー」(10-7ページ)
解像度は200×200dpi。

**●白黒の3つのモード**

**ファクス ヒョウジュン**
8pels/mm×3.85lines/mmで、通常の文字原稿に適しています。

**ファクス ファイン**
8pels/mm×7.7lines/mmで、細かい文字原稿に適しています。

**ファクス シャシン**
8pels/mm×7.7lines/mmでハーフトーンに対応しているので、写真原稿などに適しています。写真などの濃淡が、モノクロではなく64階調のグレースケールで読みこまれます。送信時間は長くなりますが、写真などをよりきれいに送信できます。

**●原稿を読みこんでいる途中で解像度を変更したとき**

つぎの原稿からその解像度で読みこまれます。

# 読み取り濃度を変える

送信するファクスの濃度を、「濃く」、「普通」、「薄く」の3段階に設定できます。

原稿の色が薄くてかすんだり、はっきりしないときなどは「濃く」を選んでください。原稿の色が濃すぎるときや、原稿の用紙に色がついているときは「薄く」を選んでください。

工場出荷時は、「普通」に設定されています。

*1* （ファンクション）ボタンを押します。

*2* （01 登録/設定）ボタンを押します。

```
デ゛ータ トウロク
```

*3* （セット）ボタンを押します。

```
キホン セッテイ
```

*4* （セット）ボタンを押します。

```
ヒヅ゛ケ/ジ゛コク セット
```

*5* `ヨミトリ ノウド゛ セット` と表示されるまで、（08 ∨）ボタンか（02 ∧）ボタンを押します。

*6* （セット）ボタンを押します。

設定されている読み取り濃度が表示されます。

```
フツウ
```
（例）

*7* 設定したい読み取り濃度が表示されるまで、（08 ∨）ボタンか（02 ∧）ボタンを押します。

```
フツウ
コク
ウスク
```

*8* （セット）ボタンを押します。

読み取り濃度が設定されます。

*9* （ストップ）ボタンを押します。

```
03/24     FAX/TEL
```
（例・スタンバイ状態）

**●B-25をコンピュータとつないで使うとき**

設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

8の操作で（セット）ボタンを押す前に（ストップ）ボタンを押すと、読み取り濃度の設定は中止され、スタンバイ状態に戻ります。

# 送信を中止する

**ファクスの送信を中止するときは、つぎのように操作します。**

*1* **(ストップ)ボタンを押します。**

手動送信していたときは、すぐに送信が中止されます。

メモリ送信していたときは、つぎのメッセージが表示されます。

```
ﾂｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
ﾊｲ=(*)   ｲｲｴ=(#)
```

*2* **(カナ/英/数 ＊ トーン)ボタンを押します。**

ピーポーピーポーと音が鳴り、つぎのメッセージが交互に表示されます。

```
ｽﾄｯﾌﾟｷｰｶﾞ ｵｻﾚﾏｼﾀ
ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 0002
```
(例)

送信を続けるときは、(記号 #)ボタンを押します。

**●送信を中止して、原稿がB-25の中に残ったとき**

**操作パネルを開いて取り除いてください。**

**→「紙づまり」9-3ページ**

**送信を中止すると、設定によっては、エラー送信レポートが印刷されます。**

**→「送信結果のレポートを印刷する」2-14ページ**

## ●自動リダイヤルの中止

**自動リダイヤルを中止するときは、つぎのように操作します。**

*1* **リダイヤルが開始されるまで待ち、** `ﾀﾞｲﾔﾙ ﾁｭｳ` **と表示されたら、(ストップ)ボタンを押します。**

```
ﾂｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
ﾊｲ=(*)   ｲｲｴ=(#)
```

*2* **(カナ/英/数 ＊ トーン)ボタンを押します。**

ピーポーピーポーと音が鳴り、つぎのメッセージが交互に表示されます。

```
ｽﾄｯﾌﾟｷｰｶﾞ ｵｻﾚﾏｼﾀ
ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 0002
```
(例)

送信を続けるときは、(記号 #)ボタンを押します。

**●自動リダイヤル待機中に、送信を中止するには**

**リダイヤル待機中に(ストップ)ボタンを押しても、リダイヤルは中止できません。このときは、リダイヤル待機中のファクスを、メモリから削除します。**

**→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ**

# 自動的にリダイヤルする

　メモリ送信では、話し中などで相手につながらなかったとき、そのファクス番号に自動的にもう一度送信(自動リダイヤル)されます。リダイヤルする回数やリダイヤルするまでの待ち時間も設定できます。

**●「ハナシチュウ デシタ」と表示されるとき**
　指定された回数、リダイヤルしても送信できなかったときに表示されます。しばらく待ってから送信しなおしてください。

**●自動リダイヤルを中止するには**
→「自動リダイヤルの中止」2-9ページ

**自動リダイヤル待機中の表示(例)**

ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ
ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 0002

**リダイヤル開始後の表示(例)**

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾁｭｳ
0985284570
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾁｭｳ

**送信中の表示(例)**

ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 0002
ﾐﾔｻﾞｷ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ
0985284570
ECMｿｳｼﾝP.001/001

　ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使ってメモリ送信したときは、登録されている名前も表示されます。

## ●自動リダイヤルの設定をする

**1** ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ

**2** セット ボタンを押します。

ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ

**3** ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

**4** セット ボタンを押します。

ECMｿｳｼﾝ

**5** ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

**6** セット ボタンを押します。

ｽﾙ (現在の設定が表示されます)

自動リダイヤルにするときは、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押して「スル」にします。

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**
　設定の変更はDesktop Managerで行ってください。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

**●自動リダイヤルしないようにするとき**
　「シナイ」にして、セット ボタン、ストップ ボタンを押します。

7 セット ボタンを押します。

リダ゛イヤル カイスウ

8 セット ボタンを押します。

2カイ（現在の設定が表示されます）

9 テンキーでリダイヤルする回数を入力します。

5カイ（例）

●リダイヤル回数
1〜15回の間で指定します。工場出荷時は2回に設定されています。

10 セット ボタンを押します。

リダイヤル回数が設定されます。

リダ゛イヤル カンカク

11 セット ボタンを押します。

2フン（現在の設定が表示されます）

12 テンキーでリダイヤルする時間の間隔を入力します。

5フン（例）

●リダイヤル間隔
2〜99分の間で指定します。工場出荷時は2分に設定されています。

13 セット ボタンを押します。

リダイヤル間隔が設定されます。

ダ゛イヤル タイム アウト

14 ストップ ボタンを押します。

03/24 FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

# 複数の送信先に一度に送る（同報送信）

同じファクスを複数の送信先に一度に送れます。これを同報送信といいます。

ワンタッチダイヤル（12件まで）、短縮ダイヤル（100件まで）、テンキーでのダイヤル（1件のみ）を組み合わせて、113件までの送信先に送れます。

*1* **原稿をセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。**

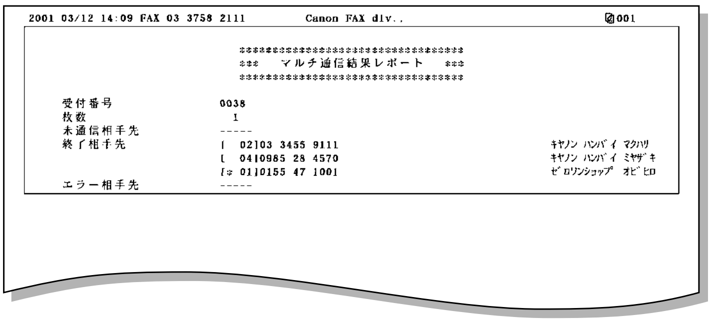
*2* **送信先のダイヤルをくり返します。**

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルでダイヤルできます。

テンキーでも1件だけダイヤルできます。テンキーでダイヤルしたら、その後で セット ボタンを押してください。

*3* **すべての送信先のダイヤルをしたら、 スタート ボタンを押します。（押さなくても、5～10秒間たつと自動的に原稿が読みこまれます）**

設定によっては、マルチ通信結果レポートが印刷されます。




**カラー送信のときは、受付番号の横に「：カラー送信」と表示されます。**

**●グループダイヤルの登録**

同じ複数の送信先にたびたびファクスを送信するときは、グループダイヤルが便利です。

→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ、
グループダイヤルの使い方→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

**●ダイヤルの順序と送信の順序**

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーダイヤルは、どのような順序でダイヤルしてもかまいません。送信は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーダイヤルの順に行われます。

→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

**●自動的な原稿読みこみ**

ワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルでダイヤルしてから5～10秒間、つぎのダイヤルをしないと、自動的に原稿が読みこまれ、ファクスの送信が開始されます。

ダイヤルタイムアウト→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ

**●ダイヤルした番号を確認するには**

ファンクション ボタンを押してから、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押すと、番号が次々と表示されます。

**●「メモリガ イッパイデス」と表示されたら**

原稿の読みこみ中にメモリがいっぱいになると、表示されます。B-25の中に読みこみ途中の原稿が残ったときは、操作パネルを開けて取り除き、送信できなかった原稿はいくつかに分けて送信しなおしてください。

**●マルチ通信結果レポートが印刷されるのは**

送信結果レポートをファクス送信のたびに印刷する設定のときは、同報送信するとマルチ通信結果レポートが印刷されます。エラーのときだけ印刷する設定のときは、1件でもエラーが発生すると印刷されます。

→「送信結果のレポートを印刷する」2-14ページ、「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

# 時刻を指定して送る（タイマー送信）

ファクスは、時刻を指定して送信することもできます。これをタイマー送信といいます。この機能を使うと、たとえば長距離電話の安い深夜に送信したりすることができます。

タイマー送信は、コンピュータからMultiPASS Suiteを使って行います。B-25がコンピュータに接続され、両方の電源がはいっているときだけ使うことができます。

くわしくは『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

タイマー送信が設定されているときも、通常と同じように、他のファクスを送受信したり、印刷、コピーすることができます。

# 送信結果のレポートを印刷する

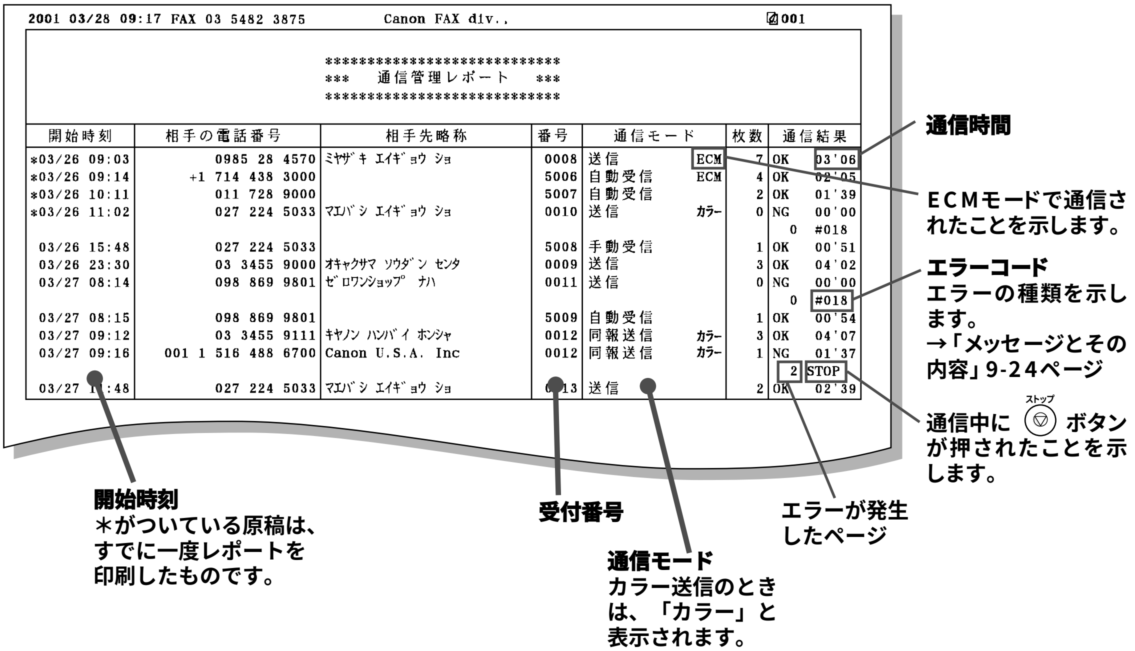
送信の結果は、通信管理レポートや送信結果レポートを印刷して、確認することができます。

## 通信管理レポート

通信管理レポートには、最新の２０件の送受信の結果が印刷されます。

工場出荷時は、ファクスの送受信が20件行われるごとに自動的に印刷されるように設定されています。

**●通信管理レポートの設定**
→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ




2001 03/28 09:17 FAX 03 5482 3875　Canon FAX div.,　001

*** 通信管理レポート ***

| 開始時刻 | 相手の電話番号 | 相手先略称 | 番号 | 通信モード | | 枚数 | 通信結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| *03/26 09:03 | 0985 28 4570 | ﾐﾔｻﾞｷ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ | 0008 | 送信 | ECM | 7 | OK 03'06 |
| *03/26 09:14 | +1 714 438 3000 | | 5006 | 自動受信 | ECM | 4 | OK 02'05 |
| *03/26 10:11 | 011 728 9000 | | 5007 | 自動受信 | | 2 | OK 01'39 |
| *03/26 11:02 | 027 224 5033 | ﾏｴﾊﾞｼ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ | 0010 | 送信 | ｶﾗｰ | 0 | NG 00'00 |
| | | | | | | | 0 #018 |
| 03/26 15:48 | 027 224 5033 | | 5008 | 手動受信 | | 1 | OK 00'51 |
| 03/26 23:30 | 03 3455 9000 | ｵｷｬｸｻﾏ ｿｳﾀﾞﾝ ｾﾝﾀ | 0009 | 送信 | | 3 | OK 04'02 |
| 03/27 08:14 | 098 869 9801 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾅﾊ | 0011 | 送信 | | 0 | NG 00'00 |
| | | | | | | | 0 #018 |
| 03/27 08:15 | 098 869 9801 | | 5009 | 自動受信 | | 1 | OK 00'54 |
| 03/27 09:12 | 03 3455 9111 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾎﾝｼｬ | 0012 | 同報送信 | ｶﾗｰ | 3 | OK 04'07 |
| 03/27 09:16 | 001 1 516 488 6700 | Canon U.S.A. Inc | 0012 | 同報送信 | ｶﾗｰ | 1 | NG 01'37 |
| | | | | | | | 2 STOP |
| 03/27 1[illegible]:48 | 027 224 5033 | ﾏｴﾊﾞｼ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ | 0[illegible]13 | 送信 | | 2 | OK 02'39 |

通信管理レポートは、つぎのように操作すると、いつでも印刷できます。

*1* ファンクション ボタンを押します。

*2* 07 レポート ボタンを押します。

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

*3* セット ボタンを押します。

通信管理レポートが印刷されます。

## 送信結果レポート

送信結果レポートは、工場出荷時は、エラーが発生したときにだけ印刷されるように設定されていますが、送信するごとに印刷したり、まったく印刷しないように設定することもできます。

**●送信結果レポートの設定**

→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

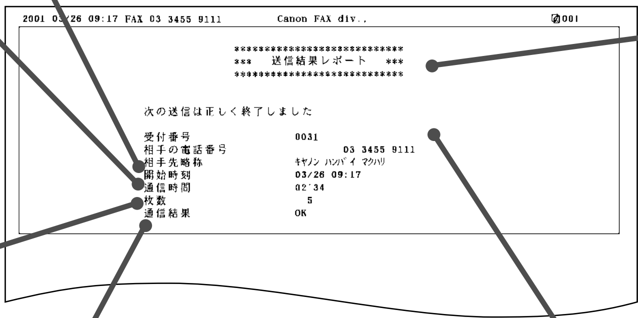
**●同報送信のとき**

マルチ通信結果レポートが印刷されます。

→「複数の送信先に一度に送る（同報送信）」2-12ページ

**開始時刻**
最後に送信した時刻です。

**通信時間**
最後の送信にかかった時間です。リダイヤルが行われたときの、送信時間の合計ではありません。通信管理レポートと送信結果レポートを照合すると、その原稿の送信が何回試みられ、それぞれの送信で何ページ送られ、どれだけ時間がかかったかがわかります。




送信結果レポート

エラーが発生したときは「エラー送信レポート」と表示されます。

**枚数**
問題なく送信できたページ数です。

**通信結果**
1回、または設定されている自動リダイヤルの回数内で、全ページ送信できたときは「OK」、原稿の一部、またはすべてのページが送信できなかったときは「NG」と表示されます。

**受付番号**
カラー送信のときは、受付番号の横に「:カラー送信」と表示されます。

白黒原稿をメモリ送信で送るときは、送信結果レポートに、原稿の最初のページの一部を印刷することができます。

**●最初のページをつけるかどうかの設定**

送信画像→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

カラーファクスのときは、設定にかかわらず、最初のページをつけることはできません。




送信しようとした最初のページが印刷されます。

最初のページをつけた送信結果レポート

# 外線や海外へのダイヤル

**B-25が会社などの内線に接続されていて外線にダイヤルするときや、海外にダイヤルするときは、ファクス番号の間や最後に待ち時間(ポーズ)を入れる必要があります。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録するときは、ポーズも含めて登録しておきます。海外へのダイヤルでは、ポーズを入れる位置や長さは国によって異なります。あらかじめ確認しておいてください。**

## ポーズを入れる

**ファクス番号の間や最後にポーズを入力するときは、つぎのように操作してください。**

1 **ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録で、送信先のファクス番号を入力するように表示されたら、テンキーで送信先のファクス番号を入力します。**

2 **ポーズを入れたいところで、リダイヤル/ポーズ ボタンを押します。**

番号の間に入れたポーズは、小文字の「p」で表示されます。

番号の最後にポーズを入れるときは、リダイヤル/ポーズ ボタンを押してから、セット ボタンを押します。

番号の最後のポーズは、大文字の「P」で表示されます。

**●ポーズの長さ**

**番号の間に入れるポーズ「p」(小文字)ひとつ分の長さは2秒です。**

**待ち時間を長くしたいときは、複数のポーズを入れるか、ポーズ(p)ひとつ分の長さを変更します。**

**ポーズ時間セット→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ**

**ポーズの長さは、コンピュータのDesktop Managerで、[設定]メニューの[ファクス設定]を開いて、[ファクス送信]タブの[詳細設定]をクリックし、[ポーズ時間]で変更することもできます。**

**番号の最後のポーズ「P」(大文字)ひとつ分の長さは10秒で、変更はできません。**

# ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う

**使っている回線がダイヤル(パルス)回線でも、いったん回線を接続すると、プッシュ(トーン)信号に切り替えることができます。プッシュホンサービスなどを使えるようになります。**

*1* **[オンフック]ボタンを押すか、子電話の受話器を取り、テンキーで相手の電話番号をダイヤルします。**

*2* **[カナ/英/数 ＊ トーン]ボタンを押して、プッシュ(トーン)信号に切り替えます。**

LCDディスプレイに「T」と表示され、プッシュ信号が使えるようになります。

*3* **相手の指示にしたがって、テンキーのボタンを押し、プッシュホンサービスを利用します。**

ファクスを受信するときは、[スタート]ボタンを押します。

*4* **終わったら、[オンフック]ボタンを押すか受話器を戻して、通話を切ります。**

**●ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録**

**電話番号の後に[カナ/英/数 ＊ トーン]ボタンを入力しておくと、回線がつながった後にプッシュ信号を使えるようになります。**

**例：**



**[リダイヤル/ポーズ]ボタン**

```
TEL=123456pppT*3
```

**この例では、電話番号(123456)にダイヤルした後、相手の応答を待つために6秒間(2秒×3)のポーズ(ppp)を入れてから、プッシュ信号(T)に切り替えています。ここまでをワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておきます。その後は、相手の指示にしたがって、テンキーのボタンを押し(＊3)、サービスを利用します。**

**[カナ/英/数 ＊ トーン]ボタンは、プッシュ信号に切り替えるときは「T」、その後の操作では「＊」とLCDディスプレイに表示されます。**

# Fネット、Arcstar InternetFAXに接続する

## Fネットを利用する

Fネット(ファクシミリ通信網)は、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。

| Fネットでできること | 内容 |
|---|---|
| 一斉同報通信 | 1回の操作で、同じ原稿を最大1000か所まで同時に送ることができます。夜間割引もあります。 |
| 短縮ダイヤル | 最大1000件の短縮ダイヤルを利用できます。 |
| 再コール | 相手が通信中のとき、2分間隔で5回まで自動的に再ダイヤルします。再ダイヤルの回数は変更できます。 |
| 不達通知 | 再コールをしても相手が話し中などで送信できなかったとき、そのことを送信側に通知します。 |
| 親展通信 | 暗証番号を使って登録されている親展文書を受信できます。(受信側は無鳴動受信の契約が必要です) |
| 閉域接続 | サークル仲間など、特定の相手との通信ネットワークを作ることができます。 |
| ファクスボックス | ファクス使用中のときでも、Fネットを通して送られてくるファクスであれば、一時預かります。 |

Fネットをご利用になるには、NTTコミュニケーションズとの加入契約が必要です。「G3サービス 16Hz」でご契約ください。

スピードダイヤルに登録するときは、「161」または「162」の後に、09 Fネット ボタンを押して「.」を入力すると、Fネットの第2ダイヤルトーン(プッププッという音)を検知するまで、つぎのダイヤルを行わないようにすることができます。

**●Fネットについて**

くわしくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

B-25は、1300Hzのサービスには対応していません。

## Arcstar InternetFAXを利用する

Arcstar InternetFAXは、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。

| Arcstar InternetFAX FAX接続型サービスでできること | 内容 |
|---|---|
| 複数の相手への送信（電話番号指定同報） | 指定した電話番号やUID（専用線接続型、インターネット接続型サービス利用者のユーザID）に、最大10件まで、ファクスまたはEメールを同報送信できます。 |
| グループへの送信（宛先リスト同報） | 送信先をあらかじめグループとして登録しておくと、そのグループに一度に送信できます（一度に最大1000件まで）。 |
| 時刻を指定しての送信（時刻指定配送） | 時刻を指定して、ファクスやEメールを送信できます。 |
| 送り直し（再送信） | 送信できなかった場合は、かんたんな操作で再送信できます。 |
| フリーダイヤル（着信課金機能） | Arcstar InternetFAX版フリーダイヤルです。通信料が着信側に課金されます。 |
| 漢字の宛先をつける（漢字宛名付与） | 通信文の1ページめ、メール本文の先頭に、送信先の名前などを漢字で入れます。 |
| 添付ファイルでの送信（OCR 機能） | 所定のマークシートに記入してファクス送信すると、メールの添付ファイルに変換され、送信されます。画像もつけて送信できます。 |

Arcstar InternetFAXをご利用になるには、NTTコミュニケーションズとの加入契約が必要です。「FAX接続型サービス」でご契約ください。

スピードダイヤルに登録するときは、「003501」の後に 09 Fネット ボタンを押して、「.」を入力してください。

●**Arcstar InternetFAXについて**
くわしくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

# 3章
# スピードダイヤルの登録



　ファクス番号（電話番号）をダイヤルする方法には、テンキーを使ってダイヤルする方法のほかに、あらかじめファクス番号を登録しておいてダイヤルするスピードダイヤルがあります。

　スピードダイヤルには、つぎの3つがあります。

**ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルにファクス番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけでダイヤルできます。12件まで登録できます。

**短縮ダイヤル**

短縮ダイヤルにファクス番号を登録しておくと、（短縮）ボタンを押して登録した2桁の数字のキーを押すだけでダイヤルできます。100件まで登録できます。

**グループダイヤル**

ひとつのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、他の複数のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルをまとめて登録することもできます。これをグループダイヤルといいます。グループダイヤルを使うと、登録したすべての送信先に一度にファクスを送信できます。

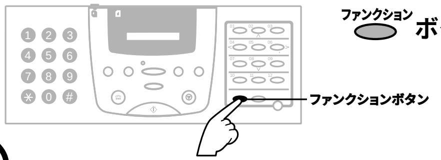
**●コンピュータと接続して使うとき**

　スピードダイヤルは、Desktop Managerで登録してください。B-25の操作パネルで登録しても、上書きされ、消去される可能性があります。操作パネルで登録したスピードダイヤルはDesktop Managerには表示されません。また、Desktop Managerでは、漢字などの全角文字を使えますが、B-25のLCDディスプレイでは全角文字を表示できないので「……」と表示されます。LCDディスプレイにもきちんと表示したいときは、送信先の名前は半角のカタカナや英数字で登録してください。

# ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルには、12件まで登録できます。よくダイヤルする送信先を登録してください。

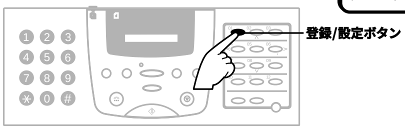
**1** ファンクション ボタンを押します。




ファンクション ボタンが光ります。

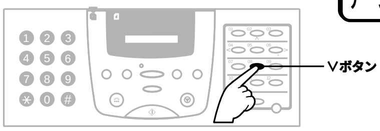
**2** 01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク




**3** 08 ∨ ボタンを1回押します。

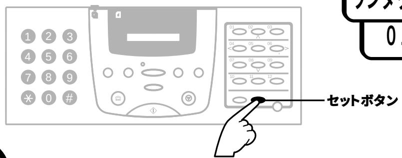
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク




**4** セット ボタンを2回押します。

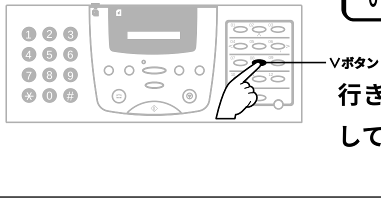
ワンタッチ ダ゛イヤル

01=




**5** 登録したいワンタッチダイヤルの番号が表示されるまで、08 ∨ ボタンを押します。

04= （例）




行きすぎたら、02 ∧ ボタンを押して戻ります。

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

Desktop Managerを使ってコンピュータから登録してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

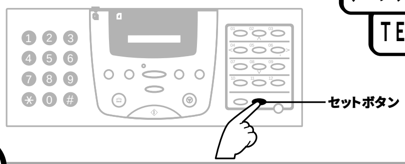
ワンタッチダイヤルの使い方→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

01から12までのどれかに登録します。

すでにファクス番号が登録されているときは、その番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。

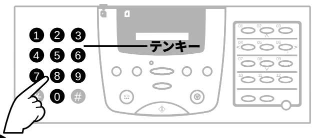
## 6 セットボタンを2回押します。

デ ンワバ ンゴ ウ
TEL=_



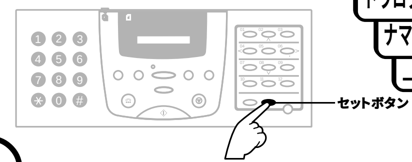

## 7 テンキーで送信先のファクス番号を入力します。

TEL=3 3758 2111_ (例)



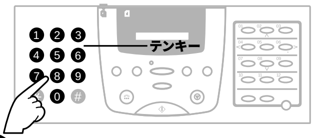

## 8 セットボタンを2回押します。

トウロク シマシタ
ナマエ
_ :ア



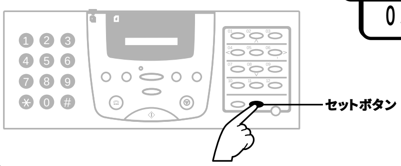

## 9 テンキーで送信先の名前を入力します。

キヤノン トウキョウ :ア (例)




## 10 セットボタンを押します。

トウロク シマシタ
05= (例)

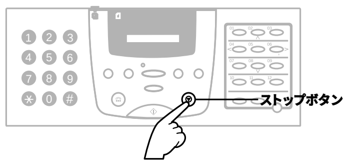



ワンタッチダイヤルの登録を続けるときは、5～10の操作をくり返します。

## 11 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

03/24 FAX/TEL (例)

スタンバイ状態に戻ります。




**●送信先のファクス番号**

スペースを含めて120桁まで入力できます。

**番号の間にスペースを入れるとき**

05 スペース ボタンを押します。（スペースは番号を読みやすくするためのもので、ダイヤルするときは無視されます）

**ファクス番号を消去するとき**

04 < メモリ照会 ボタンを押します。カーソルの左の1文字が消去されます。すべて消去するときは 11 クリア ボタンを押します。

**番号の間に待ち時間がいるとき**

必要な数だけ リダイヤル/ポーズ ボタンを押して、ポーズを入れます。ポーズひとつにつき、2秒の待ち時間になります。

**●送信先の名前**

スペースを含めて16文字まで入力できます。

→「文字を入力する」1-4ページ

**●続けてワンタッチダイヤルを変更、削除するとき**

「ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する」（→3-4ページ）、「ワンタッチダイヤルを削除する」（→3-5ページ）の4以降の操作をします。

ワンタッチダイヤルの一覧の印刷→「スピードダイヤルの一覧を印刷する」3-11ページ

# ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する

**ワンタッチダイヤルに登録したファクス番号や名前を変更するときは、つぎのように操作します。**

*1* **ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。**

デ゛ータ トウロク

*2* **08 ∨ ボタンを1回押します。**

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

*3* **セット ボタンを2回押します。**

ワンタッチ ダ゛イヤル　　01=03 3455 9111（例）

*4* **変更するワンタッチダイヤルの番号が表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。**

04=03 3758 2111（例）

*5* **セット ボタンを2回押します。**

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　　TEL=3 3758 2111_（例）

**●ファクス番号を変更するとき**

04 < メモリ照会 ボタンを押して1字ずつ番号を消してからテンキーで新しいファクス番号を入力するか、11 クリア ボタンを押してから新しいファクス番号を入力します。

TEL=43 211 9111_（例）

*6* **セット ボタンを2回押します。**

ナマエ　　キヤノン ハンバ゛イ　　:ア（例）

**●名前を変更するとき**

テンキーで登録されている名前の上から新しい名前を入力するか、11 クリア ボタンを押してから新しい名前を入力します。

キヤノン カナガ゛ワ　　:ア（例）

*7* **セット ボタンを押します。**

つぎのワンタッチダイヤルが表示されます。

05=0462 23 8221（例）

*8* **操作を終わるときは、ストップ ボタンを押します。**

03/24　　FAX/TEL（例・スタンバイ状態）

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

Desktop Managerを使ってコンピュータから変更してください。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」（→3-9ページ）と表示されます。

**●送信先のファクス番号**

スペースを含めて120桁まで入力できます。

**●送信先の名前**

スペースを含めて16文字まで入力できます。
→「文字を入力する」1-4ページ

**●続けて他のワンタッチダイヤルも変更するとき**

4以降の操作を行います。

**●続けてワンタッチダイヤルを登録するとき**

「ワンタッチダイヤルを登録する」（→3-2ページ）の5以降の操作を行います。

**●続けてワンタッチダイヤルを削除するとき**

「ワンタッチダイヤルを削除する」（→3-5ページ）の4以降の操作を行います。

# ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルに登録した送信先を削除するときは、つぎのように操作します。

*1* ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

`デ ータ トウロク`

*2* 08 ∨ボタンを1回押します。

`デ ンワバ ンゴ ウ トウロク`

*3* セットボタンを2回押します。

`ワンタッチ ダ イヤル`　`01=03 3455 9111`（例）

*4* 削除するワンタッチダイヤルの番号が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

`04=03 3758 2111`（例）

*5* セットボタンを2回押します。

`デ ンワバ ンゴ ウ`　`TEL=3 3758 2111_`（例）

*6* 11 クリアボタンを押します。
ファクス番号が削除されます。

`TEL=`

*7* セットボタンを押します。
ファクス番号を削除すると、名前も削除されます。

`クリア シマシタ`　`ナマエ`

*8* 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

`03/24 FAX/TEL`（例・スタンバイ状態）

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**
Desktop Managerを使ってコンピュータから削除してください。
→『MultiPASS Suite使用説明書』

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」（→3-9ページ）と表示されます。

**●続けて他のワンタッチダイヤルも削除するとき**
セットボタンを2回押した後、4以降の操作を行います。

**●続けてワンタッチダイヤルを登録するとき**
セットボタンを2回押した後、「ワンタッチダイヤルを登録する」（→3-2ページ）の5以降の操作を行います。

**●続けてワンタッチダイヤルを変更するとき**
セットボタンを2回押した後、「ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する」（→3-4ページ）の4以降の操作を行います。

# 短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、送信先を100件まで登録できます。

*1* ファンクションボタンを押し、01登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

*2* 08∨ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

*3* セットボタンを押してから、08∨ボタンを1回押します。

タンシュク ダ゛イヤル

*4* セットボタンを押します。

＊00=

*5* 短縮ボタンを押して、テンキーで「00」〜「99」のうち登録する短縮ダイヤルの番号を押します。

または、「＊00」〜「＊99」のうち登録する短縮ダイヤルの番号が表示されるまで、08∨ボタンか02∧ボタンを押します。

＊05= (例)

*6* セットボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　　TEL=_

*7* テンキーで登録したいファクス番号を入力します。

TEL=3 3758 2111_ (例)

*8* セットボタンを押します。

トウロク シマシタ　　ナマエ

*9* もう一度セットボタンを押し、テンキーで送信先の名前を入力します。

キヤノン ハンバ゛イ　　:ア (例)

*10* セットボタンを押します。

つぎの短縮ダイヤルが表示されます。

トウロク シマシタ　　＊06=

*11* 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

03/24　　FAX/TEL (例・スタンバイ状態)

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

Desktop Managerを使って登録してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

すでにファクス番号が登録されているときは、その番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」(→3-9ページ)と表示されます。

**●送信先のファクス番号**

スペースを含めて120桁まで入力できます。

**番号の間にスペースを入れるとき**

05スペースボタンを押します。(スペースは番号を読みやすくするためのもので、実際のダイヤルでは無視されます)

**ファクス番号を消去するとき**

<04メモリ照会ボタンを押します。カーソルの左の1文字が消去されます。すべて消去するときは11クリアボタンを押します。

**番号の間に待ち時間がいるとき**

必要な数だけリダイヤル/ポーズボタンを押して、ポーズを入れます。ポーズひとつにつき、2秒の待ち時間になります。

**●送信先の名前**

スペースも含めて16文字まで入力できます。

→「文字を入力する」1-4ページ

**●続けて他の短縮ダイヤルも登録するとき**

5以降の操作を行います。

**●続けて短縮ダイヤルを変更、削除するとき**

「短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する」(→3-7ページ)の5以降の操作を行います。

# 短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する

**短縮ダイヤルに登録したファクス番号や名前を変更するときや削除するときは、つぎのように操作します。**

*1* **ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。**

`デ゛ータ トウロク`

*2* **08 ∨ボタンを1回押します。**

`デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク`

*3* **セットボタンを押してから、08 ∨ボタンを1回押します。**

`タンシュク ダ゛イヤル`

*4* **セットボタンを押します。**

`*00=03 3758 2111`（例）

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」（→3-9ページ）と表示されます。

*5* **短縮ボタンを押して、テンキーで「00」〜「99」のうち変更する短縮ダイヤルの番号を押します。**
**または、その番号が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。**

`*05=043 211 9111`（例）

*6* **セットボタンを2回押します。**

`デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ`　`TEL=43 211 9111_`（例）

**●ファクス番号を変更するとき**

<04 メモリ照会ボタンを押して1字ずつ番号を消してからテンキーで新しいファクス番号を入力するか、11 クリアボタンを押してから新しいファクス番号を入力します。

`TEL=3 3455 9111_`（例）

**●送信先のファクス番号**
**スペースを含めて120桁まで入力できます。**

**●登録を削除するとき**

11 クリアボタンを押します。登録されていた名前も削除されます。

`TEL=`

*7* **セットボタンを2回押します。**

`ナマエ`　`キヤノン ハンバ゛イ :ア`（例）

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**
**Desktop Managerを使ってコンピュータから変更、削除してください。**
**→『MultiPASS Suite使用説明書』**

**●名前を変更するとき**

テンキーで登録されている名前の上から新しい名前を入力するか、11 クリア ボタンを押してから新しい名前を入力します。

キヤノン カナガワ　　：ア （例）

*8* セット ボタンを押します。

つぎの短縮ダイヤルが表示されます。

トウロク シマシタ　　＊06=0985 28 4570 （例）

*9* 操作を終わるときは、ストップ ボタンを押します。

03/24　　FAX/TEL （例・スタンバイ状態）

**●送信先の名前**

**スペースを含めて16文字まで入力できます。**

**→「文字を入力する」1-4ページ**

**●続けて他の短縮ダイヤルも変更、削除するとき**

**5以降の操作を行います。**

**●続けて短縮ダイヤルを登録するとき**

**「短縮ダイヤルを登録する」(→3-6ページ)の5以降の操作を行います。**

# グループダイヤルを登録、変更、削除する

複数の送信先によくファクスを送信するときは、それらの送信先をひとつにまとめてグループダイヤルとして登録することができます。

グループに入れる送信先は、あらかじめワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルに登録してください。また、それぞれのグループダイヤルは、ワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルのひとつとして登録します。

グループダイヤルには、送信先を111件まで登録できます。

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

Desktop Managerを使って登録、変更、削除してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

**1** ファンクション ボタンを押します。

**2** 01 登録/設定 ボタンを押します。

```
ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ
```

**3** 08 ∨ ボタンを1回押します。

```
ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾄｳﾛｸ
```

**4** セット ボタンを押してから、08 ∨ ボタンを2回押します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
```

**5** セット ボタンを押します。

**6** グループダイヤルを登録、変更、削除するワンタッチダイヤル、または、短縮ダイヤルの番号を選びます。

**●ワンタッチダイヤルのとき**

08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押すか、ファンクション ボタンを押してランプを消し、ワンタッチダイヤルボタンを押して、「01」〜「12」のうち登録、変更、削除するワンタッチダイヤルボタンの番号を表示します。

番号がすでに登録されているときは、「ワンタッチ ダイヤル」または「グループ ダイヤル」と表示されます。

**●短縮ダイヤルのとき**

短縮 ボタンを押してから、テンキーで、「00」〜「99」のうち登録、変更、削除する短縮ダイヤルの番号（2桁）を入力します。一度、短縮ダイヤルを入力すると、08 ∨ ボタン、02 ∧ ボタンで短縮ダイヤルを選べるようになります。

番号がすでに登録されているときは、「タンシュク ダイヤル」または「グループ ダイヤル」と表示されます。

**●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルにすでに送信先が登録されているとき**

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには、送信先かグループダイヤルのどちらかひとつを登録できます。すでに登録されている番号に上書きしてしまわないように注意してください。

すでに送信先が登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの番号にグループダイヤルを登録したいときや、グループダイヤルを登録しなおしたいときは、先に登録されている内容を削除してから登録してください。

→「ワンタッチダイヤルを削除する」3-5ページ
→「短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する」3-7ページ

*7* セットボタンを2回押します。

| デンワバンゴウ | TEL= |
|---|---|

*8* 送信先を登録、削除します。

**●ワンタッチダイヤルに登録されている送信先を登録するとき**

ファンクションボタンを押してランプを消し、登録したいワンタッチダイヤルボタンをすべて押してから、もう一度ファンクションボタンを押します。

**●短縮ダイヤルに登録されている送信先を登録するとき**

短縮ボタンを押してから、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を入力します。短縮ダイヤル番号を複数入力するときは、この操作をくり返してください。

**●グループに登録されている送信先を削除するとき**

08 ∨ボタン、02 ∧ボタンを押して、削除したい送信先が表示されたら、11 クリアボタンを押します。

**●グループそのものを削除するとき**

11 クリアボタンをくり返し押して、グループ内のすべての番号を削除します。すべての番号を削除して、「TEL=」と表示されたら、9の操作に進んでください。

*9* セットボタンを2回押します。

| ナマエ | キヤノン グループ :ア（例） |
|---|---|

**●グループ名を登録、変更するとき**

テンキーでグループ名を入力、または、変更します。

*10* セットボタンを押します。

つぎのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルが表示されます。

| トウロク シマシタ | 04=ワンタッチ ダイヤル（例） |
|---|---|

*11* 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

「03/24　　FAX/TEL」（例・スタンバイ状態）

**ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されていない送信先は、グループに登録できません。**

**08 ∨ボタン、02 ∧ボタンを押すと、グループに登録されている番号が順に表示されます。**

**●グループ名**

**スペースを含めて16文字まで入力できます。**

**→「文字を入力する」1-4ページ**

**9の操作でセットボタンを押す前にストップボタンを押すと、それまでのグループの登録、変更、削除の操作は取り消され、スタンバイ状態に戻ります。**

**●続けて他のグループダイヤルも登録、変更、削除するとき**

**6以降の操作を行います。(短縮ダイヤルにグループを登録した後に、ワンタッチダイヤルにグループを登録するときは、ファンクションボタンを押してワンタッチダイヤルボタンで登録してください)**

# スピードダイヤルの一覧を印刷する

**ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルのリストを印刷することができます。**

*1* **ファンクション ボタンを押し、07 レポート ボタンを押します。**

ツウシン　カンリ　レホ゜ート

*2* **08 ∨ ボタンを1回押します。**

ダ゛イヤルリスト

*3* **セット ボタンを押します。**

*4* **印刷したいリストが表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。**

ワンタッチ　ダ゛イヤルリスト
タンシュク　ダ゛イヤルリスト
グ゛ループ゜ダ゛イヤルリスト

*5* **セット ボタンを押します。**

**●ワンタッチダイヤルリスト、短縮ダイヤルリストを選んだとき**

つぎのように表示されます。

ソート　シュツリョク
ハイ=（＊）　　イイエ=（#）

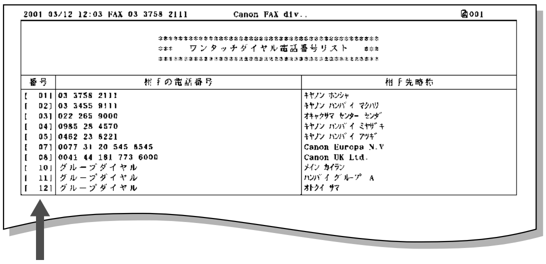
送信先の名前の順に印刷するときは カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを、番号順（ボタン順）に印刷するときは 記号 # ボタンを押すと、リストが印刷されます。

**●グループダイヤルリストを選んだとき**

リストが印刷されます。

## ワンタッチダイヤル電話番号リスト

ソート出力しないとき（記号 # ボタンを押したとき）

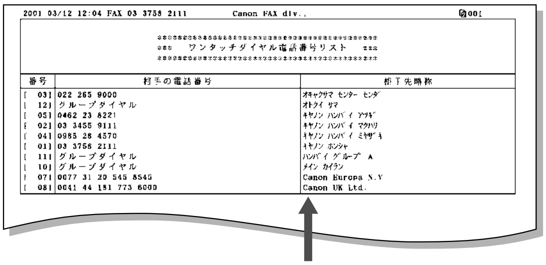

2001 03/12 12:03 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div.. 001

*** ワンタッチダイヤル電話番号リスト ***

| 番号 | 相手の電話番号 | 相手先略称 |
|---|---|---|
| [ 01] | 03 3758 2111 | ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ |
| [ 02] | 03 3455 9111 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ |
| [ 03] | 022 265 9000 | ｵｷｬｸｻﾏ ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀﾞ |
| [ 04] | 0985 28 4570 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ |
| [ 05] | 0462 23 8221 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ |
| [ 07] | 0077 31 20 545 8545 | Canon Europa N.V |
| [ 08] | 0041 44 181 773 6000 | Canon UK Ltd. |
| [ 10] | グループダイヤル | ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ |
| [ 11] | グループダイヤル | ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A |
| [ 12] | グループダイヤル | ｵﾄｸｲ ｻﾏ |

ワンタッチダイヤルの番号順に並ぶ

ソート出力するとき（カナ/英/数 * トーン ボタンを押したとき）


2001 03/12 12:04 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div.. 001

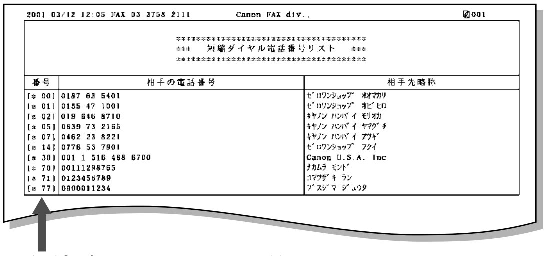
*** ワンタッチダイヤル電話番号リスト ***

| 番号 | 相手の電話番号 | 相手先略称 |
|---|---|---|
| [ 03] | 022 265 9000 | ｵｷｬｸｻﾏ ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀﾞ |
| [ 12] | グループダイヤル | ｵﾄｸｲ ｻﾏ |
| [ 05] | 0462 23 8221 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ |
| [ 02] | 03 3455 9111 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ |
| [ 04] | 0985 28 4570 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ |
| [ 01] | 03 3758 2111 | ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ |
| [ 11] | グループダイヤル | ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A |
| [ 10] | グループダイヤル | ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ |
| [ 07] | 0077 31 20 545 8545 | Canon Europa N.V |
| [ 08] | 0041 44 181 773 6000 | Canon UK Ltd. |

送信先の名前の順に並ぶ

## 短縮ダイヤル電話番号リスト

ソート出力しないとき（記号 # ボタンを押したとき）

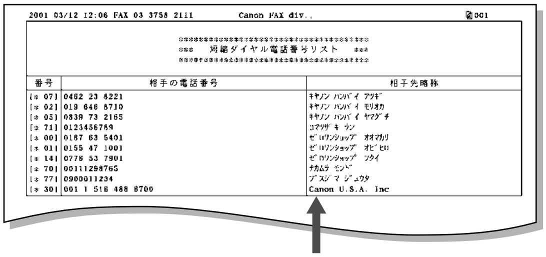

2001 03/12 12:05 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div.. 001

*** 短縮ダイヤル電話番号リスト ***

| 番号 | 相手の電話番号 | 相手先略称 |
|---|---|---|
| [* 00] | 0187 63 5401 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵｵﾏｶﾞﾘ |
| [* 01] | 0155 47 1001 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ |
| [* 02] | 019 646 8710 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ |
| [* 05] | 0839 73 2165 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾔﾏｸﾞﾁ |
| [* 07] | 0462 23 8221 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ |
| [* 14] | 0776 53 7901 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾌｸｲ |
| [* 30] | 001 1 516 488 6700 | Canon U.S.A. Inc |
| [* 70] | 00111298765 | ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ |
| [* 71] | 0123456789 | ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ |
| [* 77] | 0900011234 | ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ |

短縮ダイヤルの番号順に並ぶ

ソート出力するとき（カナ/英/数 * トーン ボタンを押したとき）

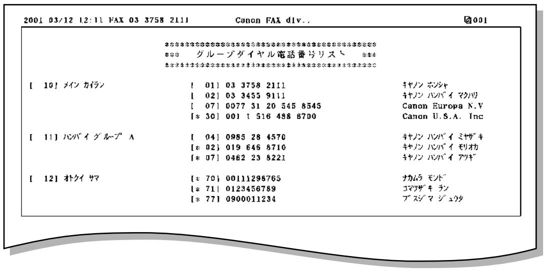

2001 03/12 12:06 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div.. 001

*** 短縮ダイヤル電話番号リスト ***

| 番号 | 相手の電話番号 | 相手先略称 |
|---|---|---|
| [* 07] | 0462 23 8221 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ |
| [* 02] | 019 646 8710 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ |
| [* 05] | 0839 73 2165 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾔﾏｸﾞﾁ |
| [* 71] | 0123456789 | ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ |
| [* 00] | 0187 63 5401 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵｵﾏｶﾞﾘ |
| [* 01] | 0155 47 1001 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ |
| [* 14] | 0776 53 7901 | ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾌｸｲ |
| [* 70] | 00111298765 | ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ |
| [* 77] | 0900011234 | ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ |
| [* 30] | 001 1 516 488 6700 | Canon U.S.A. Inc |

送信先の名前の順に並ぶ

## グループダイヤル電話番号リスト


2001 03/12 12:11 FAX 03 3758 2111 Canon FAX div.. 001

*** グループダイヤル電話番号リスト ***

| | | | |
|---|---|---|---|
| [ 10] ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ | [ 01] | 03 3758 2111 | ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ |
| | [ 02] | 03 3455 9111 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ |
| | [ 07] | 0077 31 20 545 8545 | Canon Europa N.V |
| | [* 30] | 001 1 516 488 6700 | Canon U.S.A. Inc |
| [ 11] ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A | [ 04] | 0985 28 4570 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ |
| | [* 02] | 019 646 8710 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ |
| | [* 07] | 0462 23 8221 | ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ |
| [ 12] ｵﾄｸｲ ｻﾏ | [* 70] | 00111298765 | ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ |
| | [* 71] | 0123456789 | ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ |
| | [* 77] | 0900011234 | ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ |

# 4章 ファクスを受信する

この章では、ファクスを受信する方法について説明します。

# ファクス受信モードの種類

**B-25には、4つのファクス受信モードがあります。つぎの図を見て、適切なモードを選んでください。**

**B-25につないだ電話回線はファクス専用に使いますか?**

- **いいえ** 電話とファクス兼用で使う
- **はい** → **自動受信モード**にしてください。

**自動受信モード（ジドウ）**
すべてファクスとみなして受信されます。電話がかかってきたときもファクスとみなし、ファクス呼び出し音がなければ切れます。

↓（いいえ）

**子電話接続端子に電話機を接続してください。**

↓

**かけてきた相手が電話かファクスかを自分で確認したいですか?**

- **いいえ**
- **はい** → **手動受信モード**にしてください。

**手動受信モード（シュドウ）**
ファクスのときも電話のときも呼び出し音が鳴ります。呼び出し音が鳴ったら接続した電話機の受話器を取ってください。「ポー、ポー」というファクス呼び出し音が聞こえたときは、ファクスなので、スタートボタンを押すか、電話機で「25」(*1)とダイヤルして受話器を戻してください。ファクスが受信されます。

＊1「受信機能設定」メニューやDesktop Managerの「リモート受信ID」で変更できます。

↓（いいえ）

**接続した電話機には留守番電話機能がついていますか?**

- **いいえ** → **FAX/TEL切り替えモード**にしてください。
- **はい** → **留守TEL接続モード**にしてください。

**留守TEL接続モード（ルスTEL）**
ファクスのとき▶自動的に受信されます。
電話のとき▶呼び出し音は鳴らず、留守番電話が応答します。

留守番電話に接続していても、在宅中はFAX/TEL切り替えモードにしておけば、電話がかかってきたときに呼び出し音を鳴らすことができます。

**FAX/TEL切り替えモード（FAX/TEL）**
ファクスのとき▶自動的に受信されます。
電話のとき▶呼び出し音が鳴ります。17秒(*2)の間に電話に出なかったときは、ファクス受信が開始(*3)されます。

＊2「受信機能設定」メニューやDesktop Managerの「呼び出し時間」で変更できます。
＊3「受信機能設定」メニューやDesktop Managerの「呼び出し後の動作」で、電話を切るように設定できます。

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

**MultiPASS SuiteのDesktop Managerでは、受信したファクスを印刷せずに、コンピュータに送り、画像データとして保存する（PCファクス）ように設定することもできます。**
**→『MultiPASS Suite使用説明書』**

# ファクス受信モードを切り替える

B-25の受信モードは、つぎのように設定します。設定は必要に応じていつでも変更できます。

**1** 受信モード ◯ ボタンを押します。

設定されている受信モードが表示されます。

`ｼｭﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ`（例）

**2** 設定したい受信モードが表示されるまで、受信モード ◯ ボタンを押します。

「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」が「FAX/TEL切り替え」のとき

`FAX/TELｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ`
`ｼｭﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ`
`ﾙｽTEL ｾﾂｿﾞｸ ﾓｰﾄﾞ`

「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」が「自動受信モード」のとき

`ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ`
`ｼｭﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ`
`ﾙｽTEL ｾﾂｿﾞｸ ﾓｰﾄﾞ`

**3** ストップ ボタンか セット ボタンを押すか、約10秒間待ちます。

受信モードが設定され、今日の日付と設定した受信モードが表示されます。

`03/24 ﾙｽTEL`（例・スタンバイ状態）

**●受信モード ◯ ボタンを押しても、「FAX/TELキリカエ モード」、「ジドウ ジュシン モード」が表示されないとき**

「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」が「FAX/TEL切り替え」のときは、受信モード ◯ ボタンを押しても「ジドウ ジュシン モード」にはなりません。「自動受信モード」のときは「FAX/TELキリカエ モード」にはなりません。「受信モード選択」を切り替えてください。

→「「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」を切り替えるには」下欄

## ●「受信機能設定」メニューの「受信モード選択」を切り替えるには

**1** ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

`ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ`

**2** セット ボタンを押します。

`ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ`

**3** `ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ` と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

**4** セット ボタンを押します。

`ECMｼﾞｭｼﾝ`

**5** 08 ∨ ボタンを1回押します。

`ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ`

**6** セット ボタンを押します。

**●B-25をコンピュータと接続して使うとき**

受信モードは、Desktop Managerで設定してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

7 08∨ボタンか02∧ボタンを押して、設定したいモードに表示を切り替えます。

```
ジドウ ジュシン モード
      FAX/TEL キリカエ
```

「ジドウ ジュシン モード」にしたときは17の操作へ進んでください。

8 セットボタンを押します。

```
ヨビダシ カイシ ジカン
```

「呼び出し開始時間」、「呼び出し時間」、「呼び出し後の動作」を設定しないときは、ストップボタンを押し、操作を終わってください。

9 もう一度セットボタンを押します。

```
             8ビョウ
```

(現在の設定が表示されます)

10 テンキーで、呼び出し開始時間を、秒単位で入力します。(08∨、02∧ボタンで選ぶこともできます)

```
             9ビョウ
```

(例)

11 セットボタンを押します。

呼び出し開始時間が設定されます。

```
ヨビダシ ジカン
```

12 もう一度セットボタンを押します。

```
            17ビョウ
```

(現在の設定が表示されます)

13 テンキーで、呼び出し時間を、秒単位で入力します。(08∨、02∧ボタンで選ぶこともできます)

```
            23ビョウ
```

(例)

14 セットボタンを押します。

呼び出し時間が設定されます。

```
ヨビダシゴノ ドウサ
```

15 もう一度セットボタンを押します。

```
            ジュシン
```

(現在の設定が表示されます)

16 08∨ボタンを押して、「ジュシン」か「シュウリョウ」を選びます。

17 セットボタンを押します。

```
チャクシン ヨビダシ
```

18 ストップボタンを押します。

```
03/24    FAX/TEL
```

(例・スタンバイ状態)

**●呼び出し開始時間**

かけてきた相手が電話かファクスかを判別する時間。この時間の間にファクス呼び出し音が聞こえてこなかったときは、電話とみなして呼び出し音を鳴らし始めます。0～30秒の間で指定できます。工場出荷時の設定は8秒です。

**●呼び出し時間**

呼び出し音が鳴っているのに、ここで指定した時間の間、誰も受話器を取らないと、呼び出し音は止まり、「呼び出し後の動作」が行われます。10～300秒の間で指定できます。工場出荷時の設定は17秒です。

**●呼び出し後の動作**

「ヨビダシ ジカン」で設定した時間の間、呼び出し音を鳴らしても誰も電話に出なかったときにどうするかを設定します。工場出荷時の設定は「ジュシン」です。

**ジュシン**

自動的にファクス受信を開始します。ファクスが送られてこないときは、約40秒後に電話を切ります。

**シュウリョウ**

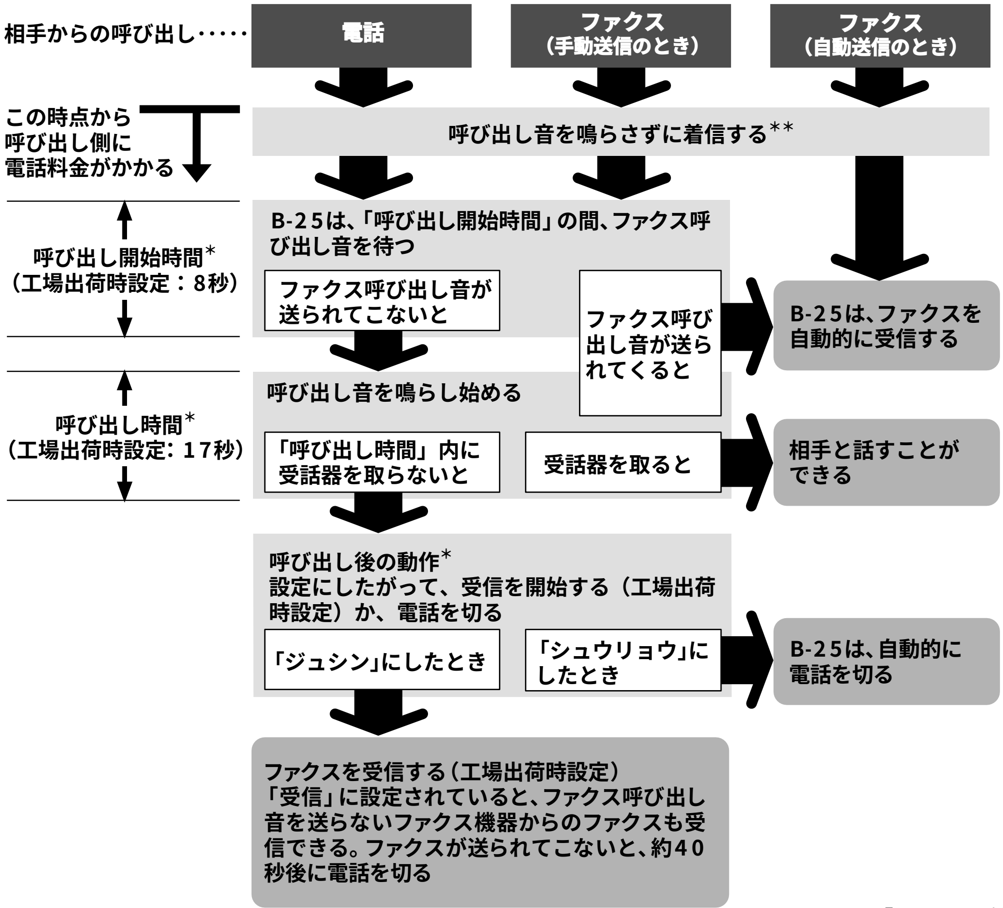
すぐに電話を切ります。

## FAX/TEL切り替えモード

B-25をファクス以外に、電話としても使いたいときは、FAX/TEL切り替えモードにします。電話を使うためには、B-25に子電話を接続しておく必要があります。

FAX/TEL切り替えモードでは、つぎのように、かけてきた相手がファクスか電話かを自動的に判断します。

子電話の接続→『マルチパスB-25の羅針盤』




B-25は、呼び出しがあるとファクスか電話かを判断するためにファクス呼び出し音(ポーという音)が送られてくるのを待ちます。呼び出しがファクスのとき(ファクス呼び出し音が送られてきたとき)は、自動的に受信します。呼び出しが電話のとき(ファクス呼び出し音が送られてこないとき)は、受話器を取るように呼び出し音が鳴ります。「呼び出し時間」(17秒)以内に受話器を取らないと、呼び出し音が止まり、呼び出し後の動作に移ります。

*の設定→「ファクス受信モードを切り替える」4-3ページ

**「受信機能設定」メニューの「着信呼び出し」(→10-6ページ)で子電話の呼び出し音を鳴らすように設定できます。

## 手動受信モード

**B-25に接続した電話をよく使うときは、手動受信モードにします。手動受信モードでは、B-25に子電話を接続しておく必要があります。**

### ●電話･ファクスの受け方

*1* **呼び出し音が鳴ったら、子電話の受話器を取ります。**

*2* **相手の声が聞こえたときは電話なので、相手と会話をします。会話の後でファクスを受信するときは、相手にファクスのスタートボタンを押してもらい、ポーという音がしたら3の操作をします。**

相手の声が聞こえずにポーという音が聞こえたときは、ファクスなので、3の操作をします。

*3* **操作パネルの［スタート］ボタンを押します。**

B-25に接続した子電話が離れたところにあるときは、リモート受信が便利です。子電話のダイヤルで②⑤(工場出荷時設定)と押すと、B-25が受信を始めます。この②⑤をリモート受信IDといいます。

*4* **受話器を戻します。**

受信を開始する前に受話器を戻すと、回線が切れてしまうので注意してください。

### ●呼び出しが続いたら自動受信モードに切り替わるように設定する

**手動受信モードで一定時間呼び出しが続いたら、自動的に自動受信モードに切り替わるように設定できます。**

## 自動受信モード

**B-25を、ファクスの送受信専用に使う電話回線に接続して、ファクスだけを自動的に受信するようにしたいときは、自動受信モードにします。**

**自動受信モードでは、ファクスは自動的に受信し、電話のときは回線を切ります。**

**子電話の接続→『マルチパスB-25の羅針盤』**

**●リモート受信**

**子電話がB-25から離れた場所にあるときに便利です。**

**リモート受信IDは、工場出荷時は「25」に設定されています。子電話として留守番電話を接続しているとき、外出先からメッセージを聞くなどの留守番電話の操作のための番号がリモート受信IDと同じだと、B-25が誤動作することがあります。そういうときは、リモート受信IDの番号を変更してください。**

**リモート受信IDの変更**
**→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ**

**●原稿をセットしているとき**

**送信モードになってしまいます。［スタート］ボタンを押す前に原稿がないことを確認してください。**

**自動受信切り替えの設定→「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ**

**●呼び出し音**

**子電話を接続している場合、自動受信モードで呼び出しがあったときに、子電話の呼び出し音を鳴らすかどうかを、変えることができます。**
**→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ**

## 留守TEL接続モード

B-25に留守番電話を接続すると、ファクスを受信するだけでなく、留守のときは相手のメッセージを録音することができます。

留守TEL接続モードでは、留守番電話の応答メッセージを流してから、ファクス呼び出し音を待ちます。ファクス呼び出し音が送られてくると、受信を開始します。

留守番電話の接続→『マルチパスB-25の羅針盤』

### ●留守番電話機の準備

留守TEL接続モードにするときは、つぎのような準備をしてください。

**留守番電話の設定**

呼び出し音が1回または2回鳴ったところで応答するように、設定してください。

**応答メッセージ**

応答メッセージの長さは15秒以内にしてください。メッセージでは、つぎのように、ファクスの送信方法を説明してください。

「はい、○○です。ただいま留守にしています。ご用の方は、ピーという音の後にご用件をお話しください。ファクスを送信するときは、スタートボタンまたは送信ボタンを押してください」

**●ファクスの受信がうまくいかないとき**

応答メッセージの最初の6秒間を、何も話さない無音の状態にしてみてください。この間にB-25は、かかってきたのが電話かファクスかを判断します。

# カラーで受信する

工場出荷時の設定では、カラーで送られてくるファクスはカラーで受信するようになっています。

カラーBJカートリッジが取り付けられているときは、受信したカラーファクスはその場で印刷されます。

ブラックBJカートリッジが取り付けられているときは、受信したカラーファクスはメモリに保存され、つぎのメッセージが交互に表示されます。

ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ
BC21e ﾆ ｺｳｶﾝ

カラーBJカートリッジに交換すると、メモリに保存されたカラーファクスが自動的に印刷されます。

## ●カラー受信するかどうかを設定する

工場出荷時の設定では、カラーで送られてくるファクスはカラーで受信するようになっています。

1 ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ

2 セット ボタンを押します。

ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ

3 ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。

ECMｼﾞｭｼﾝ

5 ｶﾗｰ ｼﾞｭｼﾝ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

6 セット ボタンを押します。

ｽﾙ (現在の設定が表示されます)

7 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押して、「スル」か「シナイ」を選びます。

8 セット ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ

9 ストップ ボタンを押します。

03/24 FAX/TEL (例・スタンバイ状態)

**●カラーBJカートリッジで、メモリに保存されたカラーファクスを印刷するには**

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

**●カラーBJカートリッジフォトで、受信したファクスを印刷するには**

「プリント設定」メニューの「フォトインク記録」が、「スル」に設定されていなければなりません。

→「「プリント設定」メニュー」10-7ページ

メモリに保存されているファクスは、「シナイ」に設定されていても印刷できます。

→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

**●カラーファクスの下余白の設定**

→「カラーコピー、カラーファクスの下余白を設定する」5-8ページ

# メモリでの受信

記録用紙切れやインク切れなど、エラー時に受信したファクスは印刷できないので、B-25本体のメモリに保存されます。このときLCDディスプレイには、エラーの内容と「ダイコウ ジュシン シマシタ」というメッセージが交互に表示されます。

記録用紙を補充して(リセット)ボタンを押したり、BJカートリッジやインクカートリッジを交換するなど、エラーを解決すると、保存されていたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。

エラーメッセージの内容と対処については、「9章 困ったときは」(→9-1ページ)を参照してください。

メモリにはこの他に、メモリ送信中のファクスや、自動リダイヤル待機中のファクスも保存されます。これらは無事に送信された場合も、送信に失敗した場合も、送信が終了するとメモリから消去されます。自動リダイヤルの場合、指定されたリダイヤル回数内に送信できないと、メモリから消去されます。

メモリには、A4サイズで約42ページ分の白黒ファクスを保存できます。(白黒、標準モードでキヤノンFAX標準チャートの場合)

メモリがいっぱいになると、それ以降に送られてきたファクスは保存されません。そのときは、相手に送りなおしてもらってください。

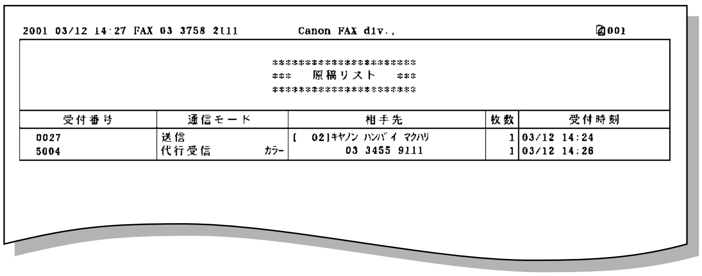
## メモリ内のファクス一覧の印刷

メモリに保存されているファクスの一覧(原稿リスト)は、つぎのように印刷できます。

*1* (ファンクション)ボタンを押し、<(04 メモリ照会)ボタンを押します。

```
ｹﾞﾝｺｳ ﾘｽﾄ
```

*2* (セット)ボタンを押します。



2001 03/12 14:27 FAX 03 3758 2111　　Canon FAX div.,　　001

*** 原稿リスト ***

| 受付番号 | 通信モード | 相手先 | 枚数 | 受付時刻 |
|---|---|---|---|---|
| 0027 | 送信 | [ 02]ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ | 1 | 03/12 14:24 |
| 5004 | 代行受信 ｶﾗｰ | 03 3455 9111 | 1 | 03/12 14:26 |

原稿リスト

# メモリに保存されているファクスを印刷、削除する

## コンピュータに送る予定のファクスを印刷、削除する

Desktop Managerで、受信したファクスを印刷せずにコンピュータに送るように設定している場合、コンピュータが起動していないと、受信したファクスはB-25のメモリに保存され、LCDディスプレイに「ファイル ジュシン シマシタ」というメッセージが表示されます。

保存されたファクスは、コンピュータの電源を入れ、Desktop Managerを起動すると、コンピュータに送られます。

コンピュータに送らずにB-25でそのまま印刷するときは、コンピュータの電源を入れずに、この印刷の操作をしてください。印刷すると、メモリから消去され、コンピュータには送れなくなります。

**1** ファンクション ボタンを押し、04 < メモリ照会 ボタンを押します。

**2** ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

**3** セット ボタンを押します。
メモリに保存されているすべてのファクスが印刷されます。

## メモリ内の特定のファクスを印刷する

メモリに保存されているファクスのうち、特定のファクスだけを印刷することもできます。この場合は、印刷後もメモリからは消去されません。不要なときは、後で「メモリ内のファクスを削除する」（→4-11ページ）にしたがって削除してください。

**1** ファンクション ボタンを押し、04 < メモリ照会 ボタンを押します。

**2** 08 ∨ ボタンを1回押します。

ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ

**3** セット ボタンを押します。
受付番号が表示されます。印刷した後でそのファクスを削除するときは、受付番号を控えてください。

**4** 2件以上のファクスが保存されているときは、印刷したいファクスの受付番号が表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

**●「BC-22eデ プリント？」と表示されたとき**

「プリント設定」メニューの「フォトインク記録」が「シナイ」に設定されているときに、カラーBJカートリッジフォトでカラーファクスを印刷しようとすると表示されます。カラーBJカートリッジフォトで印刷するときは カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押します。

**●ファクスの種類、見分け方**

受付番号の前には、ファクスの種類によって、つぎのようなマークが表示されます。

（無印）：白黒ファクス
＊：カラーファクス
＃：送信中、印刷中の白黒ファクス
＆：送信中、印刷中のカラーファクス

06 > ボタンか 04 < メモリ照会 ボタンを押すと、そのファクスの受付時刻が（リダイヤル待機中のときは、ファクス番号も）表示されます。

5 セットボタンを押します。

```
サイショノ ペ゜ージ゛ ダ゛ケ?
 ハイ=(＊)  イイエ=(#)
```

6 最初のページだけを印刷するときは カナ/英/数(＊)トーン ボタンを、すべてのページを印刷するときは 記号(#)ボタンを押します。

指定したファクスが印刷されます。

7 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

```
03/24    FAX/TEL
```
(例・スタンバイ状態)

●「シロクロニ ヘンカン シマスカ？」と表示されたとき

ブラックBJカートリッジでカラーファクスを印刷しようとすると表示されます。カナ/英/数(＊)トーンボタンを押して白黒で印刷してください。または記号(#)ボタンを押して印刷をいったん中止し、カラーBJカートリッジに交換してください。

●続けて他のファクスを印刷するとき

4以降の操作を行います。

## メモリ内のファクスを削除する

メモリに保存されているファクスは印刷しないで、削除だけを行うこともできます。

1 ファンクションボタンを押し、04 < メモリ照会ボタンを押します。

2 「ゲンコウ クリア」と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押し、セットボタンを押します。

受付番号が表示されます。

3 2件以上のファクスが保存されているときは、削除したいファクスの受付番号が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

```
クリアシテ イイデ゛スカ?
 ハイ=(＊)  イイエ=(#)
```

5 カナ/英/数(＊)トーンボタンを押します。

指定したファクスが削除されます。

6 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

```
03/24    FAX/TEL
```
(例・スタンバイ状態)

●ファクスの種類、見分け方

受付番号の前には、ファクスの種類によって、つぎのようなマークが表示されます。

(無印)：白黒ファクス

＊：カラーファクス

＃：送信中、印刷中の白黒ファクス

＆：送信中、印刷中のカラーファクス

06 >ボタンか04 < メモリ照会ボタンを押すと、そのファクスの受付時刻が(リダイヤル待機中のときはファクス番号も)表示されます。

●続けて他のファクスを削除するとき

3以降の操作を行います。

# 設定中や印刷中のファクス受信

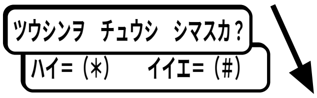
B-25は、複数の処理を同時にできるので、いろいろな設定や、コピー、印刷をしているときでも、ファクスを受信したり電話に応答できます。

受信したファクスを、コンピュータに送らないで、印刷するように設定しているときは、コピーや印刷中に受信したファクスは、いったんメモリに保存され、コピーや印刷が終了すると、自動的に印刷されます。設定中に受信したファクスは、その場ですぐに印刷されます。

# 受信を中止する

**ファクスの受信は、つぎのように操作すると中止できます。**

*1* **受信中に（ストップ）ボタンを押します。**




*2* **（＊ カナ/英/数 トーン）ボタンを押します。**

受信を続けるときは、（# 記号）ボタンを押します。

**受信を中止すると、設定によっては、受信結果レポートが印刷されます。**

**→「受信結果のレポートを印刷する」4-14ページ**

# 受信結果のレポートを印刷する

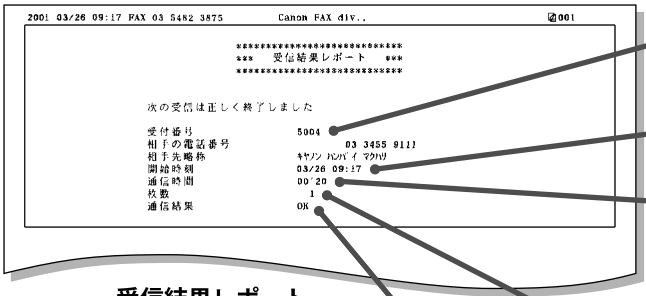
受信の結果は、通信管理レポートや受信結果レポートを印刷して、確認することができます。

●**通信管理レポートの設定**
→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ

## 受信結果レポート

工場出荷時には、受信結果レポートが印刷されないように設定されていますが、受信するたびに印刷したり、受信エラーが発生したときにだけ印刷するように設定することもできます。

●**受信結果レポートの設定**
→「「レポート設定」メニュー」10-5ページ




受信結果レポート

**受付番号**
カラー受信のときは、受信番号の横に「：カラー 受信」と表示されます。

**開始時刻**
受信を開始した時刻です。

**通信時間**
受信にかかった時間です。

**枚数**
受信したページ数です。

**通信結果**
全ページ受信できたときは「OK」、一部、またはすべてのページを受信できなかったときは「NG」と表示されます。

# 5章
# 原稿のセットとコピー、スキャン

この章では、ファクス送信、コピー、スキャンできる原稿の種類とセットのしかた、コピーのとり方などを説明します。

# 使用できる原稿

原稿は自動給紙装置（ADF）にセットします。原稿によって自動給紙か1枚給紙します。

## 自動給紙できる原稿（一度に2枚以上セットできる原稿）

| | |
|---|---|
| サイズ | 最大：幅216mm×長さ1m |
| | 最小：幅210mm×長さ148mm |
| 枚数（75g/$m^2$の紙） | |
| | A4：20枚 |
| | B5：20枚 |
| | A5：20枚 |
| | レター：20枚 |
| | リーガル：10枚 |
| | （これ以外のサイズの原稿は1枚給紙してください） |
| 厚さ | 0.08～0.13mm |
| | （これより厚い原稿は1枚給紙してください） |
| 質量 | 75～90g/$m^2$ |

**●自動給紙**

一度に複数の原稿をセットできます。原稿は自動的に次々と送られます。1枚だけセットすることもできます。A4サイズの普通紙など、通常の原稿は自動給紙できます。

サイズや厚さや質量が違う原稿は、いっしょにセットしないでください。

## 1枚給紙できる原稿（1枚ずつしかセットできない原稿）

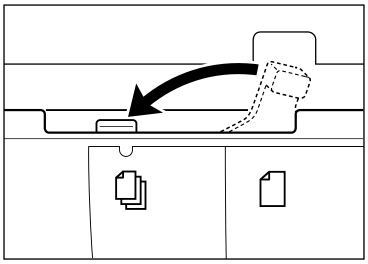
| | |
|---|---|
| サイズ | 最大：幅216mm×長さ約1m |
| | 最小：幅80mm×長さ45mm |
| 枚数 | 1枚 |
| 厚さ | 0.08～0.43mm |
| 質量 | 90～340g/$m^2$ |

**●1枚給紙**

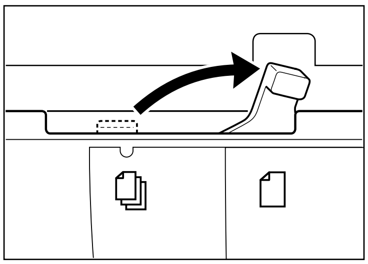
原稿を1枚ずつセットします。厚い用紙の原稿やはがき、名刺などの小さな原稿、表面に凹凸がある原稿、写真や光沢処理された原稿（表面にキズがつかないよう、キャリアシートの使用をおすすめします）などは、1枚給紙してください。

## 自動給紙と1枚給紙の切り替え

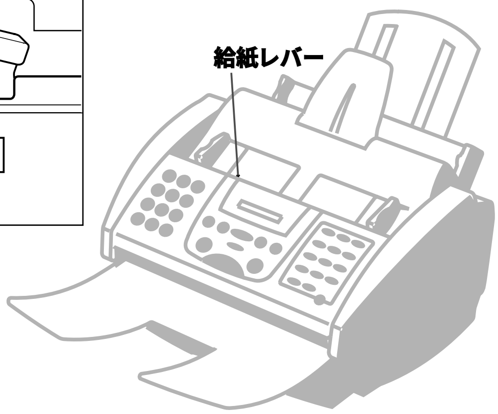
給紙レバーで切り替えます。自動給紙のときは給紙レバーを に、1枚給紙のときは に合わせます。



自動給紙のとき

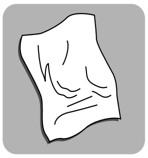


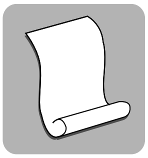
1枚給紙のとき

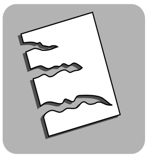


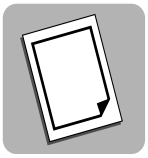
## 使用できない原稿

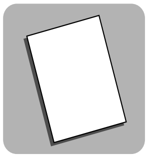
紙づまりの原因になるので、つぎのような原稿は使わないでください。

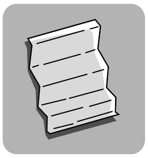

しわのよっている原稿


丸まっている原稿


破れている原稿

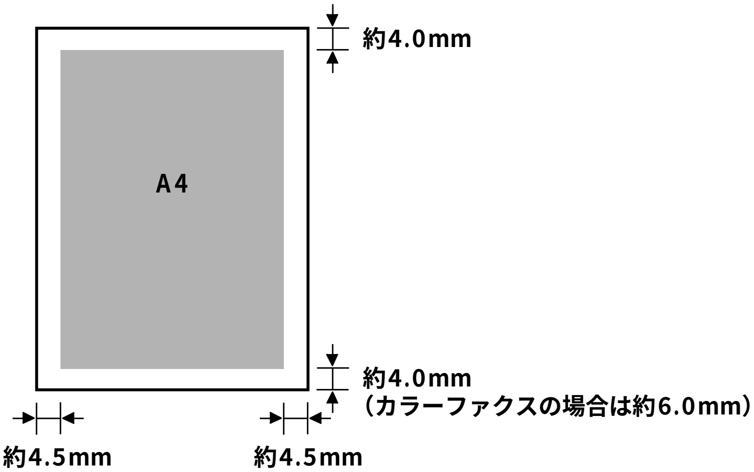

ノンカーボン紙


コーティングされた紙


極端に薄い原稿

## 読みこめる範囲

原稿の左右の端から約4.5mmずつ、上下の端から約4.0mmずつの範囲は読みこめません。この部分に文字や絵があっても欠けてしまうので、注意してください。




**●原稿をセットする前に**

原稿をセットするときは、クリップ、ホチキス、テープなどは、すべて取り除いてください。また、インク、修正液、のりなどが完全に乾いているか確認してください。

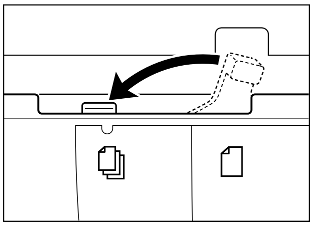
B-25の中にきちんと送られない原稿は、他のコピー機などでコピーして、そのコピーを原稿として使ってください。

# 原稿をセットする

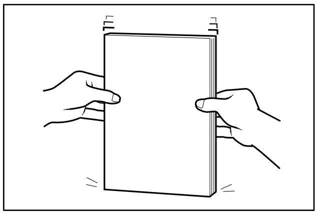
## 複数の原稿をセットする（自動給紙する）

**自動給紙では、一度に複数の原稿をセットできます。A4サイズの普通紙など、通常の原稿は自動給紙できます。**

*1* **給紙レバーを左（自動給紙の位置）に動かします。**



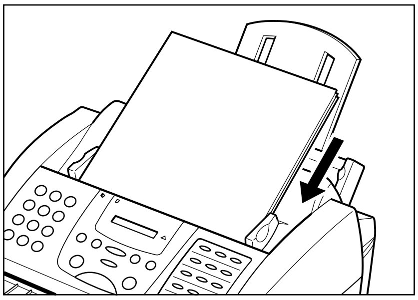
*2* **原稿が複数のときは、机の上などで端をそろえます。**



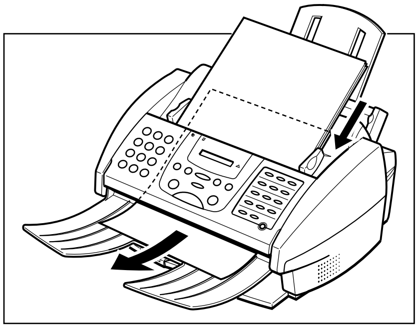
*3* **原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。**




*4* **原稿面を下にし、原稿の上の方から自動給紙装置（ADF）に、ピッと音が鳴るまでゆっくりと差しこみます。**



原稿は、下に置かれたものから順に1枚ずつ自動的に送られます。

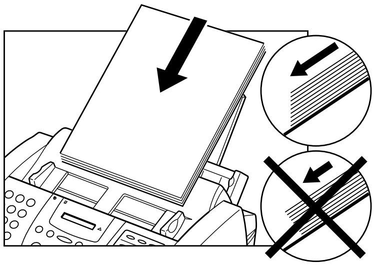


**●写真など、大事な原稿をセットするとき**

**自動給紙装置（ADF）によって送られるときに、原稿の表面が汚れたり、傷ついたりしないようにしたいときは、キャリアシートSH-101を使って1枚給紙してください。キャリアシートについては、お買い求めの販売店かお客様相談センター（→裏表紙）にお問い合わせください。**

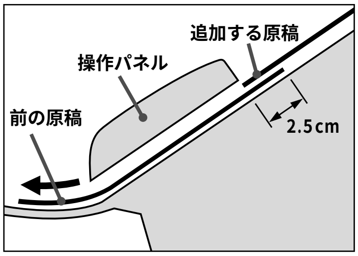
**●複数の原稿がうまく送られないとき**

**一度自動給紙装置（ADF）から取り出して机の上などで端をそろえてから、図のように、自動給紙装置（ADF）に端が斜めになるようにして差しこんでください。**



**●原稿が20枚より多いとき**

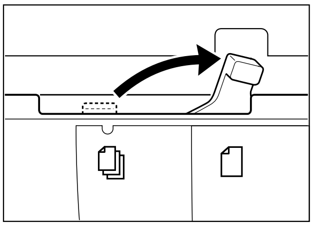
**図のように、前にセットした原稿の最後のページが残り2.5cmぐらいまで送られたときに、追加する原稿を上に重ねてセットしてください。**



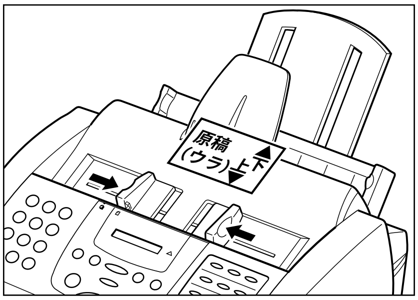
## 原稿を1枚だけセットする（1枚給紙する）

1枚給紙では、原稿を1枚ずつ、つぎのようにしてセットします。

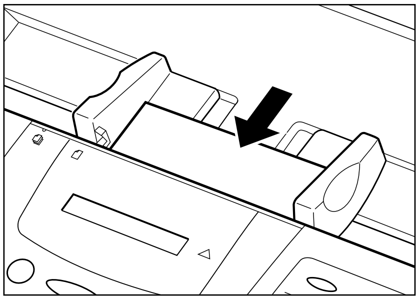
*1* 給紙レバーを右（1枚給紙の位置）に動かします。



*2* 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。




*3* 原稿面を下にし、原稿の上の方から自動給紙装置（ADF）に、ピッと音が鳴るまでゆっくりと差しこみます。



**●写真など、大事な原稿をセットするとき**

自動給紙装置（ADF）によって送られるときに、原稿の表面が汚れたり、傷ついたりしないようにしたいときは、キャリアシートSH-101を使って1枚給紙してください。キャリアシートについては、お買い求めの販売店かお客様相談センター（→裏表紙）にお問い合わせください。

# 原稿をコピーする

カラーや白黒でコピーをとることができます。

## 1 記録用紙をセットします。

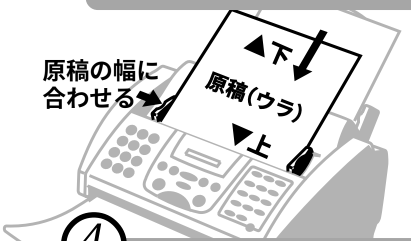


## 2 給紙レバーを切り替えます。




2枚以上の原稿をまとめてセットするときは、給紙レバーを（左）にしてください。

## 3 原稿をセットし、原稿ガイドをよせます。




LCDディスプレイの表示（例）

メモリ シヨウ リョウ　　0%

ゲンコウ ガ アリマス

## 4 コピー ◯ボタンを押します。

コピー　　100%　01



## 5 カラーか白黒かを選びます。



●カラー/白黒 ボタンを押すと切り替わります。ランプがついているときはカラー、消えているときは白黒でコピーされます。

**●「フツウシハガキ」、「フォトコウタクハガキ」でコピーするとき**

Desktop Managerの［設定］メニューの［ファクス設定］で、［ファクス受信］タブの［用紙サイズ］を［A4］に設定してください。［レター］になっていると、印刷位置がズレてプラテンやはがきの裏面を汚すことがあります。

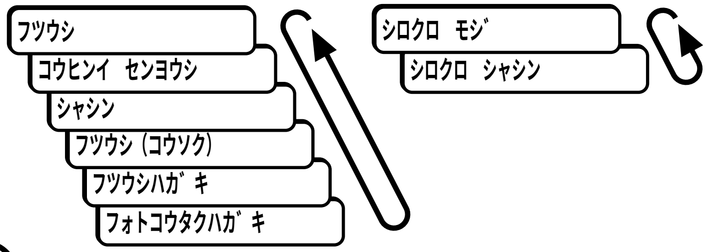
**●2枚以上セットできない原稿**

厚い紙の原稿、はがき·名刺などの小さな原稿、写真、光沢処理された紙の原稿、キャリアシートなど。

これらの原稿は給紙レバーを（右）にして1枚ずつセットしてください。

→「使用できる原稿」5-2ページ

## 6 設定したい解像度が表示されるまで、画質ボタンを押します。




## 7 拡大、縮小コピーしたいときは、ファンクションボタンを押してランプをつけ、08ボタンを押して、拡大、縮小率を選びます。

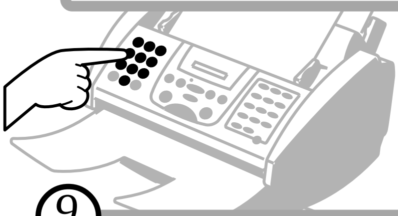


100%、90%、80%、70%の中から選べます。カラーの写真モードに限り、150%、200%に拡大もできます。

`コピー　　80%　01` (例)

行きすぎたら、02ボタンを押して戻ります。

## 8 白黒コピーのときは、テンキーでコピー部数を入力します。



99部まで指定できます。

`コピー　　80%　37` (例)

## 9 スタートボタンを押します。



コピーが開始されます。

`コピー`

**●カラーコピーの解像度**

**フツウシ**
普通紙にカラーコピーするのに適しています。

**コウヒンイ センヨウシ**
高品位専用紙にカラーコピーするのに適しています。

**シャシン**
レターサイズより小さいカラー写真をコピーするのに適しています。記録用紙は、高品位専用紙を使います。
このモードでは150%、200%に拡大コピーできます。

**フツウシ(コウソク)**
高速でカラーコピーできます。解像度は低くなります。

**フツウシハガキ**
通常のはがきにカラーコピーするのに適しています。

**フォトコウタクハガキ**
フォト光沢ハガキにカラーコピーするのに適しています。

**●白黒コピーの解像度**

**シロクロ モジ**
文字だけの白黒原稿に適しています。

**シロクロ シャシン**
写真がはいっている白黒原稿に適しています。

カラーコピーのときは、1部ずつしかコピーできません。

**●コピーを中止するとき**

ストップボタンを押します。原稿がB-25の中に残ったときは、操作パネルを開いて取り除いてください。(→「紙づまり」9-3ページ)

**●コピー中にエラーが発生したとき**

LCDディスプレイに「ヤリナオシテクダサイ」と表示されます。原稿をセットしなおして、コピーをやりなおしてください。

**●「メモリガ イッパイデス」と表示されたとき**

メモリ内のファクスを印刷、削除してからコピーを始めてください。
→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ

## カラーコピー、カラーファクスの下余白を設定する

**カラーコピーや、カラーファクスを受信したりするときの下余白を調整できます。工場出荷時は、「フツウ」(カラーコピー、カラーファクス時は21mm)になっています。**

**1** ファンクションボタンを押します。

**2** 01 登録/設定ボタンを押します。

| デ゛ータ トウロク |
|---|

**3** セットボタンを押します。

| キホン セッテイ |
|---|

**4** プ゛リント セッテイ と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

**5** セットボタンを押します。

| ガ゛ゾ゛ウ シュクショウ |
|---|

**6** シタ ヨハク と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

**7** セットボタンを押します。

| フツウ |
|---|

(現在の設定が表示されます)

**8** 08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押して、下余白の長さを選びます。

**フツウ**　白黒原稿よりも下余白が長くなります(カラーコピー、カラーファクス時は21mm)。

**チイサイ**　白黒原稿の下余白と同じ長さになります(7mm)。

**「チイサイ」にすると印刷範囲は広くなりますが、その部分にはきれいに印刷されない場合もあります。**

**9** セットボタンを押します。

下余白が設定されます。

| フォト インク キロク |
|---|

**10** ストップボタンを押します。

| 03/24　　FAX/TEL |
|---|

(例・スタンバイ状態)

# 原稿をコンピュータに読みこむ(スキャンする)

原稿をコンピュータに読みこむ(スキャンする)ときは、その原稿を自動給紙装置(ADF)にセットし、MultiPASS Suiteを使って読みこみ、画像ファイルとして保存します。ファイル形式は、TIFF、BMP、PCX、JPEG、FPX形式のうちどれかを選ぶことができます。また、TWAIN規格に準拠したWindowsアプリケーションで原稿を直接読みこむこともできます。

読みこんだ原稿は、MultiPASS Suiteでコンピュータの画面に表示し、保存、加工、印刷したり、クリップボードにコピーすることができます。また、画像データとして、「Adobe PhotoDeluxe」、「花子」、「Wang Imaging」などのアプリケーションで使うこともできます。

MultiPASS Suiteでの原稿の読みこみ→『MultiPASS Suite使用説明書』

他のアプリケーションでの原稿の読みこみ→そのアプリケーションのマニュアル

# ６章
# 記録用紙のセットと印刷



**Ａ４、Ｂ５、Ａ５、レター、リーガルサイズの普通紙をはじめ、光沢紙、封筒、OHPフィルム、バックプリントフィルムなど、さまざまな記録用紙に、鮮明な白黒印刷や躍動感あふれるカラー印刷ができます。**

**B-25でコピーやファクスに使う記録用紙のサイズは、操作パネルのメニューで設定するか、Desktop Managerでコンピュータから設定します。**

# 記録用紙の種類

つぎのような記録用紙に印刷できます。

キヤノン純正以外の記録用紙をお使いになるときは、大量に注文する前に、一度テスト印刷を行うことをおすすめします。また、記録用紙について不明な点があるときは、キヤノン製品の正規販売代理店にお問い合わせください。

## 一般的な記録用紙

**普通紙**

A4、B5、A5、レター、リーガルサイズで、厚さは0.2mm以下、重さは64～90g/m$^2$の普通紙が使えます。1枚給紙すれば、重さが90～105g/m$^2$の普通紙も使えます。

**封筒**

洋形4号（235×105mm）と洋形6号（190×98mm）の封筒に印刷できます。

**官製はがき**

往復はがき以外の官製はがきに印刷できます。

## キヤノンのBJプリンタ専用紙

B-25には、つぎのような専用紙があります。これらの記録用紙を使えば、B-25の印刷性能を十分に活かすことができます。くわしくは、お近くのキヤノン販売店にお問い合わせください。

**バブルジェット用紙LC-301**

画像を明るく鮮明に印刷でき、耐水性があり、水などをこぼしてもインクがにじみません。また、他の記録用紙よりも画像をきわだたせることができます。両面に印刷できます。

**高品位専用紙HR-101/101S**

グラフィックスや写真を、くっきりと鮮明に写真に近い品質で印刷できます。カラーBJカートリッジフォトで印刷するときは、この記録用紙かフォト光沢紙を使ってください。

高品位専用紙は、光沢のある面に印刷してください。また、HR-101は、パッケージの記録用紙をすべて使い終わったら、付属のクリーニングシートでローラを清掃してください。

**フォト光沢紙GP-301**

上質紙に光沢の出るコーティングを施した紙で、デジタルカメラの画像や、案内状など各種カードの印刷に適しています。カラーBJカートリッジフォトで印刷するときは、この記録用紙か高品位専用紙を使ってください。

フォト光沢紙は、光沢のある面に印刷してください。また、パッケージの記録用紙をすべて使い終わったら、付属のクリーニングシートでローラを清掃してください。

**OHPフィルムCF-102**

キヤノンカラーBJプリンタ用のOHPフィルムで、見やすく本格的なプレゼンテーションができます。他のOHPフィルムを使うと、インクが定着しないで流れてしまうので使わないでください。

OHPフィルムは、一番後ろに普通紙を1枚つけて、記録紙トレイにセットします。

**バックプリントフィルムBF-102**

会議や展示会のプレゼンテーションなどに使えます。グラフィックスや写真もくっきりと鮮明にカラー印刷できます。

バックプリントフィルムは、ザラザラした光沢のない面に、鏡像印刷(左右を逆にして印刷すること)します。ザラザラした面を上に向け、いちばん後ろに普通紙を1枚つけて、記録紙トレイにセットします。

**フォト光沢フィルムHG-101**

フォト光沢紙よりつやのあるフィルムです。図やグラフ、写真などを最も美しくカラー印刷できます。

**BJクロスFS-101**

キヤノンカラーBJプリンタ用のクロス(白い木綿の布)です。絵や模様などを印刷して、クロスステッチ、クッション、室内履きなどに利用できます。

**Tシャツ転写紙TR-201**

Tシャツ、トレーナー、エプロンなどに転写できるアイロンプリントが作れます。綿または綿/ポリエステル混合の布に転写できます。

Tシャツ転写紙は、緑色の線のはいっていない面に鏡像印刷(左右を逆にして印刷すること)します。

**バナー紙(長尺紙)**

店頭ポスターやパーティーの飾り付けなどに使う紙です。約180cm(A4、6枚分)まで、つながった状態で印刷できます。

2〜6枚までつながった状態で印刷します。

**フォト光沢ハガキKH-201N**

カラーBJカートリッジフォトで印刷するときは、このはがきを使ってください。

フォト光沢ハガキの光沢のない宛名面に印刷するときは、ブラックBJカートリッジやカラーBJカートリッジを使ってください。

**フォト光沢カードFM-101**

フォト光沢紙のカードです。ミシン目より大きめに印刷してカットすると、白い縁のない全面印刷ができます。

# 記録用紙のサイズ

B-25で使用できる記録用紙のサイズ、記録紙トレイに一度にセットできる枚数、印刷面（セットするときに上にする面）、紙間選択レバーの位置は、つぎのとおりです。

| 記録用紙 | サイズ | 枚数 | 印刷面 | 紙間選択レバー |
|---|---|---|---|---|
| 普通紙 | A4、B5、A5、レター、リーガル | 100枚*1 | ー | 左 |
| 封筒 | 洋形4号、洋形6号 | 10枚 | 宛名を書く面 | 右 |
| 官製はがき | はがき | 40枚 | ー | 左 |
| バブルジェット用紙 LC-301 | A4、レター | 100枚*1 | ー | 左 |
| 高品位専用紙 HR-101/101S | A4、レター | 10枚 | 光沢のある面（より白い面） | 左 |
| フォト光沢紙 GP-301 | A4、レター | 1枚 | 光沢のある面（より白い面） | 左 |
| OHPフィルム CF-102 | A4、レター | 50枚*2 | ザラザラした光沢のない面 | 左 |
| バックプリントフィルム BF-102 | A4、レター | 10枚*2 | ザラザラした光沢のない面 | 左 |
| フォト光沢フィルム HG-101 | A4、レター | 1枚 | かけている角を右上にしてセット | 左 |
| BJクロス FS-101 | 241×356mm | 1枚 | 布地面、開口部の逆の方から差しこむ | 右 |
| Tシャツ転写紙 TR-201 | A4 | 1枚 | 緑色の線のはいっていない面 | 左 |
| バナー紙（長尺紙） BP-101 | A4 | 1枚*3 | ー | 右 |
| フォト光沢ハガキ KH-201N | はがき | 20枚 | 光沢のある面は絵や文、光沢のない面は宛名 | 左 |
| フォト光沢カード FM-101 | ー | 1枚 | 光沢のある面（より白い面） | 左 |

記録用紙サイズの実際の値（幅×長さ）は、つぎのとおりです。

| 記録用紙サイズ | 幅×長さ |
|---|---|
| A4 | 210×297mm |
| B5 | 182×257mm |
| A5 | 148×210mm |
| レター | 215.9×279.4mm |
| リーガル | 215.9×355.6mm |
| 洋形4号 | 235×105mm |
| 洋形6号 | 190×98mm |
| はがき | 100×148mm |

*1 100枚までセットできますが、厚さが10mmを超えないようにしてください。

*2 OHPフィルムCF-102、バックプリントフィルムBF-102は、いちばん後ろに普通紙を1枚つけてセットしてください。

*3 バナー紙（長尺紙）は2〜6枚までつながった状態で印刷してください。

# 記録用紙の取り扱いと保管

記録用紙の取り扱いや保管には、つぎの点に注意してください。

**保管する場所**

- 温度が18〜24℃、相対湿度が40〜60%の場所に平らな状態で保管してください。
- セットするまで包装紙から出さないでください。余ったら、包装紙に入れたまま、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。
- 長時間にわたって記録紙トレイに置いたままにしないでください。曲がったり丸まったりすることがあります。これが原因でうまく給紙されなかったり、つまったりすることがあります。

**使ってはいけない記録用紙**

- 湿ったり、丸まったり、しわがよったり、破れた記録用紙は絶対に使わないでください。紙づまりや印刷品質の低下の原因になります。
- 感熱ファクス用などのロール紙ではなく、定型サイズに裁断された紙を使ってください。
- 指定されている厚さ以上の記録用紙は使わないでください。厚い記録用紙に印刷すると、プリントヘッドのノズルと記録用紙が接触してこすれ、BJカートリッジが使えなくなります。

**古い記録用紙の取り扱い**

新しい記録用紙と古い記録用紙が混ざらないように、記録紙トレイの記録用紙を使い切ってから、新しい記録用紙を補給してください。

**まっすぐ給紙されないとき、2枚いっしょに給紙されるとき、紙づまりになったとき**

光沢紙、OHPフィルム、バックプリントフィルムがまっすぐに給紙されなかったり、2枚いっしょに給紙されたり、紙づまりになったときは、1枚ずつ補給してください。温度が低いときや高いとき、湿度が高いときに、このようなトラブルが起こることがあります。

**印刷すると記録用紙が丸まってしまうとき**

薄い記録用紙に大量のインクを使う文字や絵を印刷すると、記録用紙が少し丸まることがあります。このようなときは、厚めの記録用紙を使ってください。丸まった記録用紙は、紙づまりの原因になるので、すぐに取り除いてください。

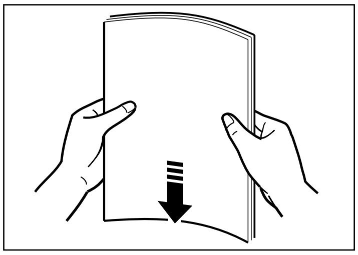
**OHPフィルムやバックプリントフィルム**

OHPフィルムやバックプリントフィルムは、記録排紙口にためずに、1枚排紙されるごとに取り出し、15分以上待ってじゅうぶん乾燥させてから保管してください。クリアファイルなどに保管するときは、フィルムの印刷面に普通紙をあてて保護してください。

**●記録用紙のセット**

記録用紙は、記録紙サポートを引き出してセットしてください。また、記録用紙が記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク(▲)や、トレイについているタブを超えないように注意してください。記録用紙が多すぎると、紙づまりの原因になります。

複数枚の記録用紙は、机の上などで端をそろえてから、記録紙ガイド、記録紙トレイの右側との間にすきまがないようにセットしてください。



**●印刷された記録用紙**

記録排紙口には、50枚(バブルジェット用紙LC-301換算)までしかためておけません。紙づまりの原因になるので、記録排紙口に記録用紙がたまらないようにしてください。

**●インクでB-25本体を汚してしまったとき**

柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください。

**●記録用紙の幅からはみだして印刷されたとき**

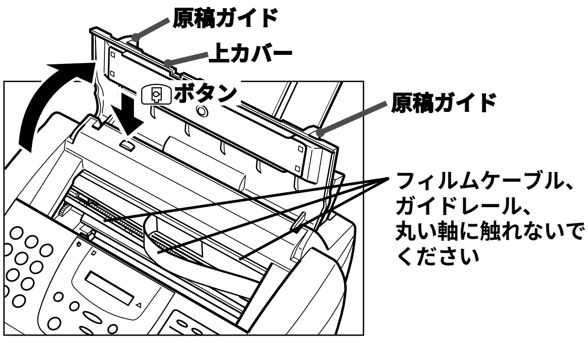
B-25内部にあるローラやプラテンがインクで汚れることがあります。汚れたときは、柔らかい布で拭き取ってください。

# 紙間選択レバーの調整

**使用するBJカートリッジや記録用紙に応じて、紙間選択レバーでプリントヘッドと記録用紙の間のすきまを調整してください。**

*1* **原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**

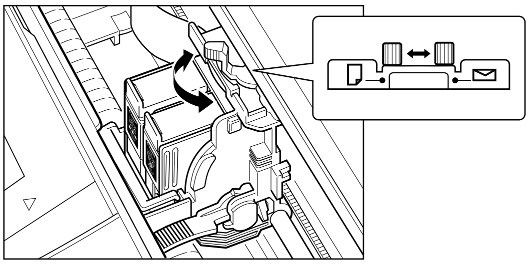
*2* **(カートリッジ)ボタンを押します。**




カートリッジホルダが本体中央に移動します。

*3* **紙間選択レバーをセットします。**

封筒、BJクロスFS-101など、厚い記録用紙のときは右( )に、普通紙などのときは左( )に動かします。



*4* **(カートリッジ)ボタンを押します。**

カートリッジホルダがホームポジションに移動し、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

*5* **上カバーを閉じます。**

**プリントヘッドと記録用紙の間のすきまをきちんと調整しないと、記録用紙が汚れたり、思いどおりに印刷できません。**

**上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。**

**印刷の途中で上カバーを開いて、紙間選択レバーを操作しないでください。紙づまりやインク汚れなどの原因になります。**

**動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。**

# 封筒に印刷する

記録紙トレイには、封筒を10枚までセットできます。

紙づまりや汚れ、故障の原因になるので、つぎのような封筒には印刷しないでください。

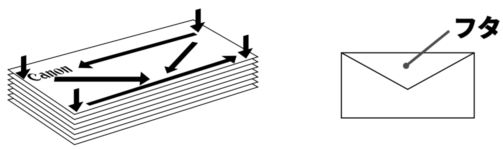
- 窓、穴、ミシン目、切り抜きがあったり、フタが二重になっている封筒
- 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒
- シールが貼ってある封筒
- 手紙がはいっている封筒

封筒はつぎのように記録紙トレイにセットします。

プリントヘッドと記録用紙の間のすきまをきちんと調整しないと、記録用紙が汚れたり、思いどおりに印刷できません。

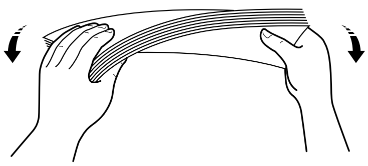
*1* 安定したきれいな台の上に封筒を置き、四隅を押して端をそろえます。

封筒の周りや、フタの部分を押して、まっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。

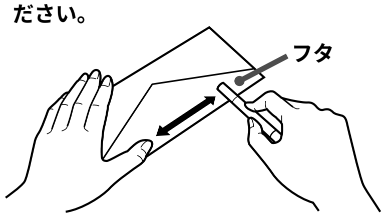



フタの部分を十分に押して、平らにしてください。

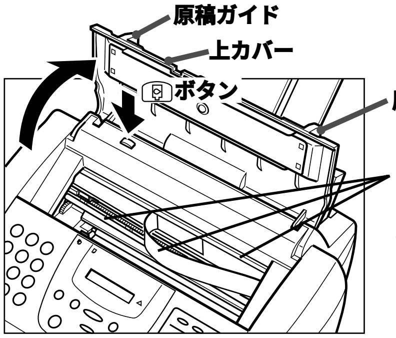
封筒がそっているときは、対角線の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。



封筒のフタが、丸まっているときは、ペンの軸などの丸いものでしごいてまっすぐに伸ばします。そりやふくらみが5mm以内になるようにしてください。

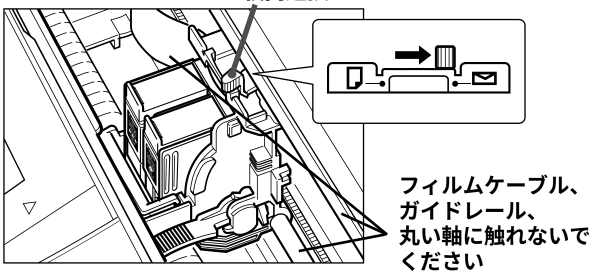



*2* 原稿ガイドを持ち上げ、上カバーを開きます。



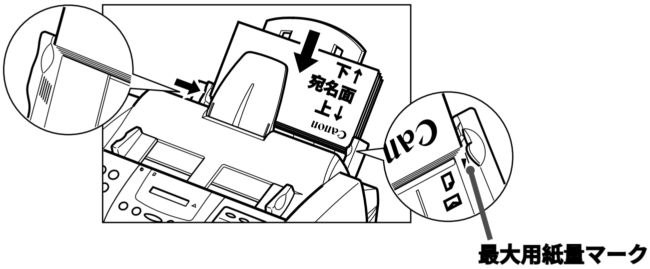

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

*3* 〔カートリッジボタン〕(カートリッジ)ボタンを押してカートリッジホルダが中央に移動したら、紙間選択レバーを右側の封筒の位置にします。




*4* 〔カートリッジボタン〕(カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。

*5* 宛名を印刷する面を上にして、封筒の上の方から記録紙トレイにつきあたるまで差しこみ、記録紙ガイドを封筒の左端に合わせます。




これで、封筒に印刷できるようになります。

印刷の途中で上カバーを開いて、紙間選択レバーを操作しないでください。紙づまりやインク汚れなどの原因になります。

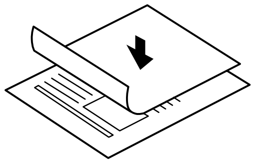
動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

記録用紙をセットするときは、記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク(▲)や、トレイについているタブを超えないように注意してください。記録用紙が多すぎると、紙づまりの原因になります。

# 専用紙に印刷する

キヤノンのBJプリンタ専用紙に印刷するときは、パッケージについている注意書きや説明をよくお読みになり、その指示にしたがってください。

フィルムは、印刷が終わったら、インクが完全に乾いてから、重ねてください。印刷した面に普通紙(コーティングされていない記録用紙)を置いてから、重ねることをおすすめします。印刷したフィルムをクリアファイルやプラスチック製のホルダに入れるときも同様にした方がよいでしょう。



| 記録用紙の種類 | インクが乾くまでの時間(めやす) |
|---|---|
| フォト光沢フィルムHG-101 | 10分 |
| フォト光沢紙GP-301 | 10分 |
| フォト光沢カードFM-101 | 10分 |
| BJクロスFS-101 | 1時間 |
| OHPフィルムCF-102 | 15分 |
| バックプリントフィルムBF-102 | 15分 |

**●インクでB-25本体を汚してしまったとき**

柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください。

## OHPフィルムCF-102、バックプリントフィルムBF-102のセット

OHPフィルムとバックプリントフィルムは、いちばん後ろに普通紙を1枚つけて記録紙トレイにセットします。フィルムを扱うときは、指紋がつかないように布製の薄い手袋をはめてください。フィルムは記録排紙口で重ならないように1枚印刷するたびに取り出します。このとき、印刷面が原稿排紙トレイに触れないように注意してください。

使用しないフィルムは、温度が15℃～30℃の平らな場所に保管し、印刷するときだけ保護パッケージから取り出してください。

フィルムは、長時間にわたって記録紙トレイに置いたままにしないでください。ゴミやホコリがついて、印刷品質が低下することがあります。

印刷したフィルムは、色あせするので、日光に当てないでください。

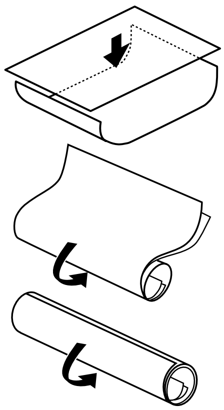
## バックプリントフィルムを平らにする

バックプリントフィルムを平らに伸ばすには、つぎのようにします。

*1* **光沢のない面を上にして普通紙を重ねます。**

*2* **丸まっている方とは逆にフィルムを丸めます。**
強く丸めすぎないでください。
フィルムは直径約2～3cmに丸めてください。

*3* **丸めたら、約5分間そのままにしておきます。**
輪ゴムなどで留めておくとよいでしょう。



## フォト光沢紙GP-301のセット

きれいに印刷するために、フォト光沢紙は1枚ずつ給紙トレイにセットしてください。

6

記録用紙のセットと印刷

*1* **記録排紙ガイドを左右、両方とも立てます。**

*2* **原稿排紙トレイを開き、原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**

**上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。**

*3* **(カートリッジ)ボタンを押して、紙間選択レバーを左の位置にします。**

**→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ**

*4* **もう一度 (カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。**

*5* **記録紙サポートを、止まるまで引き出します。**

*6* **光沢のある面を上にして、フォト光沢紙をつきあたるまで記録紙トレイに差しこみ、記録紙ガイドをフォト光沢紙の端に合わせます。**

## 高品位専用紙HR-101/101Sのセット

*1* **記録排紙ガイドを左右、両方とも立てます。**

*2* **原稿排紙トレイを開き、原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**

**上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。**

*3* **(カートリッジ)ボタンを押して、紙間選択レバーを左の位置にします。**

**→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ**

*4* **もう一度 (カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。**

*5* **記録紙サポートを、止まるまで引き出します。**

*6* **光沢のある面を上にして、高品位専用紙をつきあたるまで記録紙トレイに差しこみ、記録紙ガイドを記録用紙の端に合わせます。**

## 記録排紙ガイドの使い方

**フォト光沢紙GP-301や高品位専用紙HR-101/101Sに印刷するときは、排紙された記録用紙がたるんだり引っかかったりして汚れないように、記録排紙ガイドを立ててください。**

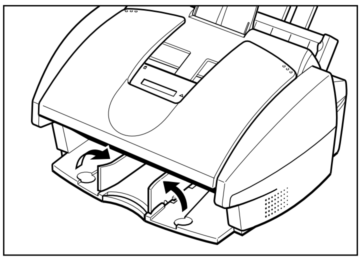
*1* **左右の記録排紙ガイドを立てます。**

記録排紙ガイドは、両方とも立ててください。

*2* **印刷が終わったら、記録排紙ガイドを元に戻します。**

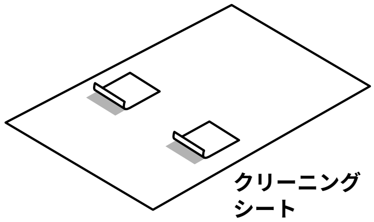
記録排紙ガイドを立てているときは、1枚印刷するごとに、印刷された記録用紙を取り出してください。記録排紙口に記録用紙をためないでください。

ファクスを受信するときは、受け取ったファクスがあふれたり、紙づまりの原因になるので、記録排紙ガイドは必ずたおしておいてください。



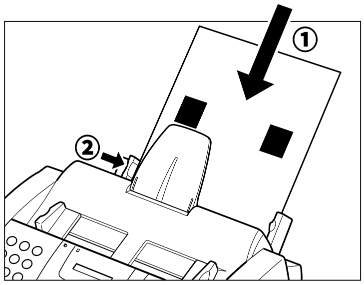
## 専用紙に付属しているクリーニングシートの使い方

フォト光沢紙GP-301や高品位専用紙HR-101のパッケージには、クリーニングシートが付属しています。パッケージにはいっている紙をすべて使い切ったら、このクリーニングシートでB-25のローラを清掃してください。ローラについているホコリなどがとれ、紙づまりを防げます。




1 **クリーニングシートの2枚のシールをはがします。**

2 **シールが貼ってあった面を上に向け、シールが貼ってあった場所に近い端の方から、つきあたるまで記録紙トレイの右端に合わせて差しこみ①、記録紙ガイドをクリーニングシートの端に合わせます②。**




3 **ファンクション ボタンを押します。**

4 **10 クリーニング ボタンを押します。**

5 **ｷﾛｸ ﾛｰﾗ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。**

6 **セット ボタンを押します。**

クリーニングシートが給紙されます。クリーニングが終わると、クリーニングシートが排紙されます。

高品位専用紙HR-101Sでは、クリーニングシートは別売です。

## BJクロスFS-101での印刷(Windows 95/98/Meのみ対応)

1 **原稿排紙トレイを開き、原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

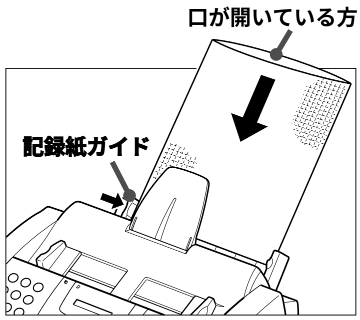
2 **(カートリッジ)ボタンを押して、紙間選択レバーを右の位置✉にします。**

→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ

3 **もう一度(カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。**

4 **布地面を上にし開口部の逆の方から、BJクロスを1枚だけ、つきあたるまで記録紙トレイに差しこみます。**

5 **記録紙ガイドをBJクロスの端に合わせます。**

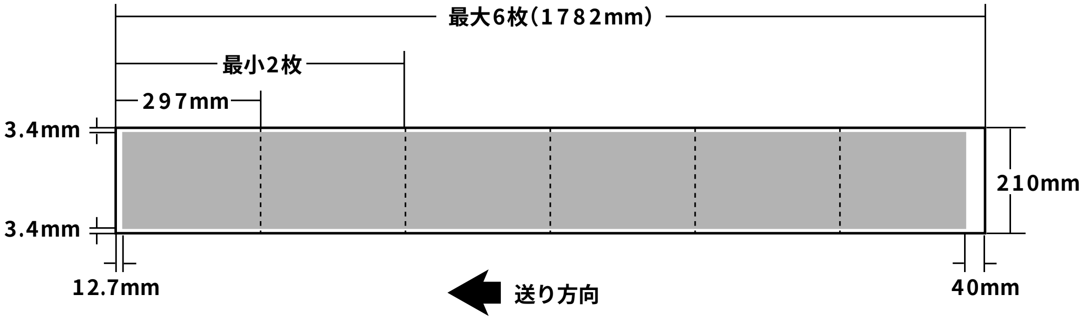



パッケージにはいっている色止め剤は、印刷には必要ないので使わないでください。

1時間程度たってインクが完全に乾くまで、印刷した面には触れないでください。

## バナー紙(長尺紙)に印刷する

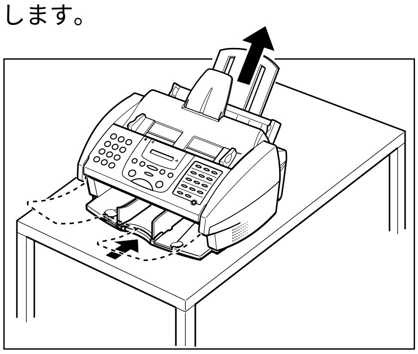
**バナー紙(長尺紙)は、等間隔にミシン目がはいった連続用紙で、図のように最小2枚〜最大6枚までつながった状態で印刷できます(6枚全体の長さは1782mmです)。ミシン目にそって必要な長さに切って使ってください。**




*1* **記録排紙ガイドを左右、両方とも立てます。**

*2* **B-25を台の端近くに置き、印刷されたバナー紙が下に落ちるようにします。**

記録紙サポートを引き出し、記録排紙サポートは押しこんだ状態にします。



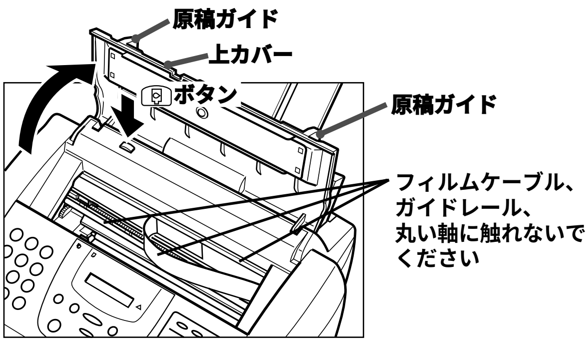
**●バナー紙は1枚余分に**

**バナー紙は、実際に印刷する枚数に、予備の用紙を1枚つけて、セットしてください。**

**一度に印刷できるバナー紙の枚数は最大6枚までです。その場合は7枚セットしてください。**

**余白部分には印刷できないので注意してください。**

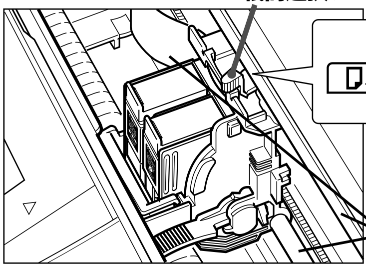
*3* **原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**



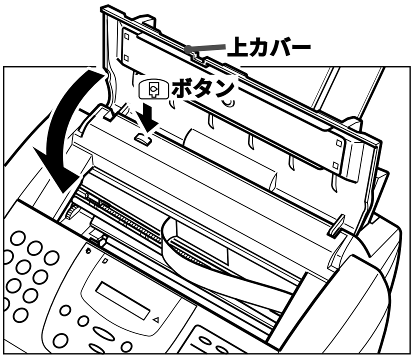

**上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。**

**4** **(カートリッジ)ボタンを押し、カートリッジホルダを本体中央に移動します。**

**5** **紙間選択レバーを右の位置✉にします。**

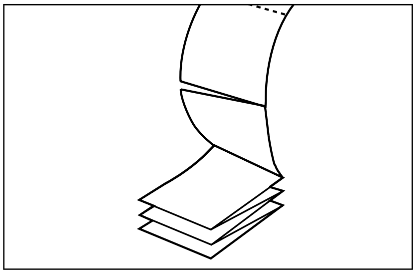



**6** **もう一度 (カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。**

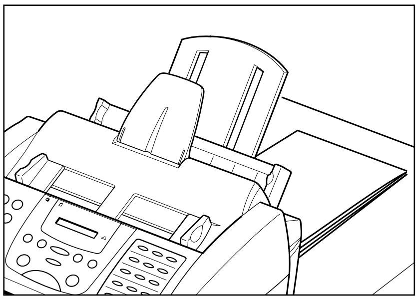



**7** **バナー紙をミシン目にそって必要な長さに切り離します。**

最大6枚までセットできます。



**8** **バナー紙をB-25の後ろの平らな所に置きます。**

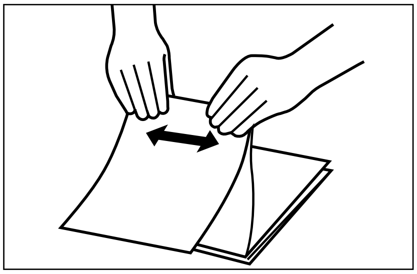


**●インクの残量**

**バナー紙に印刷するときは、BJカートリッジにじゅうぶんなインクが残っているか確認してください。インクの残量に不安があるときは、新しいBJカートリッジを使ってください。**

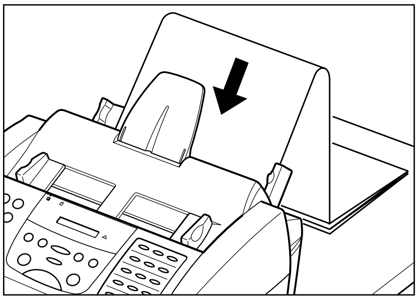
**バナー紙には、色の薄い印刷のほうがきれいに仕上がります。**

9 **1枚めと2枚めの間のミシン目を軽く折り曲げます。**



10 **バナー紙の1枚めの右端を記録紙トレイの右端に合わせ、つきあたるまで差しこみます。**

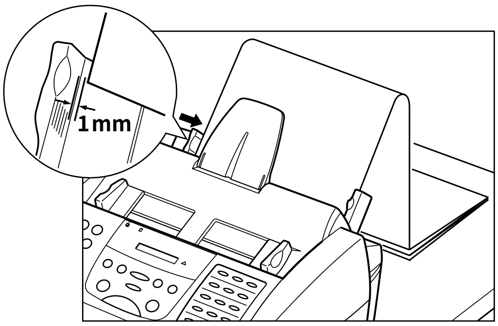
**残りのバナー紙が記録紙トレイの後ろに、まっすぐに置かれているか確認してください。**



11 **記録紙ガイドをバナー紙の端に合わせます。**

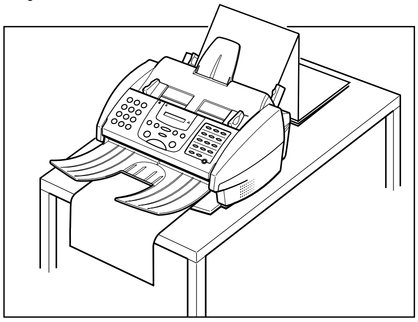
**記録紙ガイドとバナー紙の端を1mm程度空けるようにします。**

**バナー紙が、記録紙トレイと記録紙ガイドのタブの下になっているのを確認してください。**




12 **コンピュータで、印刷を開始します。**

印刷されたバナー紙が、台の端から垂れ下がるようにしてください。



# カラー印刷するときの注意

カラー印刷するときは、つぎのような注意が必要です。

## 記録用紙について

きれいにカラー印刷するためには、用途に最も適した記録用紙を選ぶ必要があります。また、同じように印刷しても、記録用紙によって色が異なります。

→「記録用紙の種類」6-2ページ

## アプリケーションについて

B-25は、最大1670万色までの色調を再現できますが、実際に印刷できる色数は、アプリケーションによって異なることがあります。

また、アプリケーションによっては、つぎのようなカラー調整ができるものもあります。

- 明度（輝度）では、色の明るさを調整します。印刷した結果が、ディスプレイでの色よりも明るいときや暗いときに調整します。
- 色相では、色合いを調整します。

くわしくは、そのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

## ディスプレイについて

最適なカラー印刷を行うためには、24ビットのカラー表示が可能なディスプレイとビデオカードを使ってください。くわしくは、ディスプレイのマニュアルを参照してください。

ディスプレイでは、赤、緑、青の光の組み合わせで色を表しています。プリンタでは、シアン、イエロー、マゼンタ、ブラックのインクの組み合わせで色を表しています。

B-25は、一般的なディスプレイでの色に、できるだけ近い印刷ができるように調整されていますが、ディスプレイとプリンタでは色の表し方が異なるので、完全には同じ色にならないことがあります。

## 印刷時間を短くするには

カラー印刷では、非常に多くの情報を処理しなければならないので、印刷に時間がかかりますが、つぎのようにすると、印刷時間を短くすることができます。

- コンピュータのメモリ容量を増やす。
- CPUの処理速度が速いコンピュータを使う。
- スクリーンセーバーやメモリ常駐のアプリケーション、他のアプリケーションを終了する。
- 色数を少なくする。
- 絵や写真のサイズを小さくする。
- 完成前のチェックのための印刷（ドラフト印刷）は、白黒か、オートパレット（Windows 95/98/Meの場合）の[ドラフト]で印刷する。また、記録用紙の設定も普通紙にして、普通紙に印刷する。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

## インクを節約するには

カラー印刷では、白黒印刷よりも経費（ランニングコスト）がかかりますが、つぎのようにするとインクを節約できます。

- 完成前のチェックのための印刷（ドラフト印刷）では、カラーBJカートリッジフォトではなくカラーBJカートリッジを使う。
- 図表やグラフなどの色をつける部分は、塗りつぶさずに、斜線などのパターンにする。
- なるべく白に近い薄い色を使う。たとえば、赤の代わりにピンクを使うと、赤と白（紙の色）のドットが交互にくり返されるので、赤で塗りつぶすよりインクを節約できる。
- 背景にはなるべく色をつけない。
- ドラフト印刷のときは色をつけない。色をつけるのは、いちばん最後の印刷のときだけにする。
- 複数のページを印刷する場合、使っているアプリケーションに複数のページを縮小して1ページに印刷する機能があるときは、ドラフト印刷のときはその機能を使って印刷する。

# 7章
# BJカートリッジ

キヤノンでは、さまざまな印刷に対応するため、多数のBJ（Bubble Jet）カートリッジを提供しています。ここでは、BJカートリッジの取り扱いやメンテナンスのしかた、目的に合ったBJカートリッジの選び方について説明します。

B-25には、カラーBJカートリッジと、ブラックインクがなくなったときの交換用のブラックインクカートリッジがひとつずつ付属しています。

# BJカートリッジの取り扱いと保管

B-25を快適にお使いいただくためにも、BJカートリッジの取り扱いと保管にはつぎの点に注意し、最適な印刷品質を保つようにしてください。

**BJカートリッジの保管**

- 室温で保管してください。
- 子供の手が届かない場所に保管してください。もし誤って飲み込んだときは、ただちに医師の診断を受けてください。
- B-25に取り付ける直前まで、保護パッケージや保管箱から取り出さないでください。
- 保護キャップと保護テープをはずしたら、すぐにB-25に取り付けてください。
- 交換のために取りはずしたら、付属のBJカートリッジ保管箱に入れて保管してください。
- 必要なとき以外は、B-25から取りはずさないでください。
- カラーBJカートリッジは、両方のインクカートリッジを取り付けた状態で使ってください。インクカートリッジを取りはずした状態で使うと、目づまりの原因となります。

**使用する期間**

- BJカートリッジは1年以内、インクカートリッジは6か月以内をめどに交換してください。

**取り扱い**

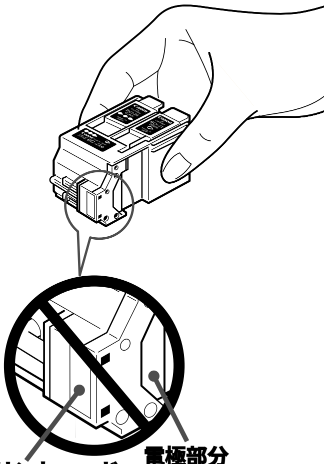
- 持つときは側面を持ってください。プリントヘッドやその周り、底面や側面の金属部分や電極部分には、絶対に触れないでください。
- 分解したり、インクを補充したりしないでください。
- 落としたり振ったりしないでください。また、プリントヘッドを下に向けて置かないでください。BJカートリッジのインクが衣服などにつくと、洗い落とすことは困難です。

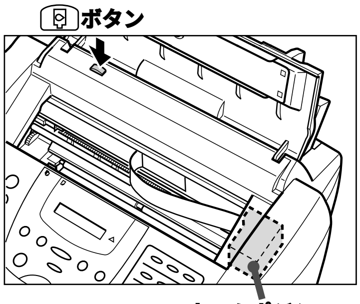
**B-25を使わないとき**

- 本体内のカートリッジホルダが右側のホームポジションにあるか確認してください。ホームポジションにないときは、(カートリッジ)ボタンを押してください。ホームポジションでは、BJカートリッジのプリントヘッドが乾燥しないように保護されます。

**文字がかすれたり欠けたりしてきれいに印刷できないとき**

- プリントヘッドをクリーニングしてください。
  5回以上ヘッドクリーニングをくり返してもきれいに印刷できないときは、インクカートリッジやBJカートリッジを交換してください。



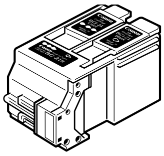

クリーニング方法→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

# BJカートリッジとインクカートリッジ

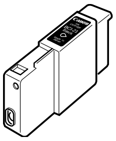
つぎのBJカートリッジやインクカートリッジを使えます。印刷する目的に合わせて適切なBJカートリッジやインクカートリッジを選んでください。

ここで紹介されていないBJカートリッジやインクカートリッジを使うと、思いどおりに印刷できなかったり、故障の原因になる場合もあるので、じゅうぶんに注意してください。

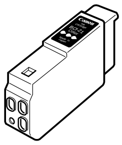
## カラーBJカートリッジBC-21e



通常のカラー印刷には、このBJカートリッジをお使いください。このカートリッジはインクカートリッジだけを交換できます。インクがなくなったら、ブラック（ブラックインクカートリッジBCI-21 Black）またはカラー（カラーインクカートリッジBCI-21 Color）のどちらかなくなった方のインクカートリッジだけを交換してください。



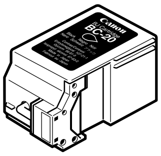
ブラックインク
カートリッジ
BCI-21 Black



カラーインク
カートリッジ
BCI-21 Color

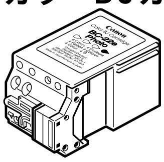
カラーBJカートリッジBC-21eには、必ずインクカートリッジをふたつ取り付けて使ってください。インクカートリッジをひとつしか取り付けないで使うと、インクがつまることがあります。

## ブラックBJカートリッジBC-20



受信したファクスなど、白黒印刷には、このBJカートリッジを使ってください。カラーBJカートリッジBC-21eよりもブラックインクのノズル数が多く、半分の時間で白黒印刷できます。

## カラーBJカートリッジBC-22eフォト

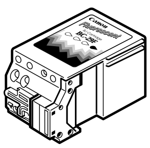


写真画像をきれいに印刷したいときは、このBJカートリッジで、高品位専用紙HR-101/101Sやフォト光沢紙GP-301に印刷してください。

カラーBJカートリッジBC-22eフォトで、受信したファクスの自動印刷やレポート印刷をしたいときは、「フォト インク キロク」の設定を「スル」にしてください。このBJカートリッジはインクカートリッジとプリントヘッドが一体化されているので、ブラックインクを使い切ると、カラーインクが残っていてもBJカートリッジごと交換しなければなりません。

白黒印刷したい場合は、カラーBJカートリッジBC-21eか、ブラックBJカートリッジBC-20の使用をおすすめします。

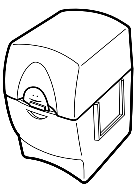
## 蛍光BJカートリッジBC-29F



このカートリッジで、高品位専用紙HR-101/101Sやフォト光沢紙GP-301に印刷すると、鮮やかな蛍光色のカラー印刷ができます。

蛍光BJカートリッジBC-29Fは、受信したファクスの自動印刷やレポート印刷には使わないでください。カラーBJカートリッジBC-22eフォトと同じように、ブラックインクを使い切ると、カラーインクが残っていてもBJカートリッジごと交換しなければなりません。また、カラーコピーをしても、正確な（忠実な）色表現ができません。

## BJカートリッジ保管箱SB-21



インクの乾燥を防ぐため、取りはずしたBJカートリッジは、この保管箱に保管してください。
保管箱が2個以上必要なときは、お近くの販売店でお買い求めください。

# BJカートリッジのクリーニングと交換

いつもきれいに印刷するためには、BJカートリッジのプリントヘッドをクリーニングしたり、古くなったBJカートリッジやインクカートリッジを交換することが必要です。

## BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期

プリントヘッドが消耗したり、インクがなくなったときは、BJカートリッジやインクカートリッジを交換します。

ハーフトーンやグレースケールの画像をよく印刷する場合は、文字だけの文書を印刷するときよりも大量のインクを使用するので、交換もひんぱんになります。

BJカートリッジは、通常、つぎのような場合に交換してください。

- 1年以上使い続けているとき
- 文字がかすれたり、欠けたりして、きれいに印刷できないとき
- インクカートリッジにインクはあっても、印刷されない色があるとき

インクカートリッジは、通常、つぎのような場合に交換してください。

- 6か月以上使い続けているとき
- 何も印刷されないとき
- 印刷されない色があるとき
- LCDディスプレイに、つぎのようなメッセージが表示されるとき

```
クロ インクガ アリマセン
```

```
カラー インクガ アリマセン
```

LCDディスプレイにこのようなメッセージが表示されたときは、インクカートリッジを交換してください。

**●BJカートリッジの印刷可能枚数**
→「BJカートリッジ、インクカートリッジ仕様」10-23ページ

キヤノンでは、多数のBJカートリッジを提供していますが、B-25には、

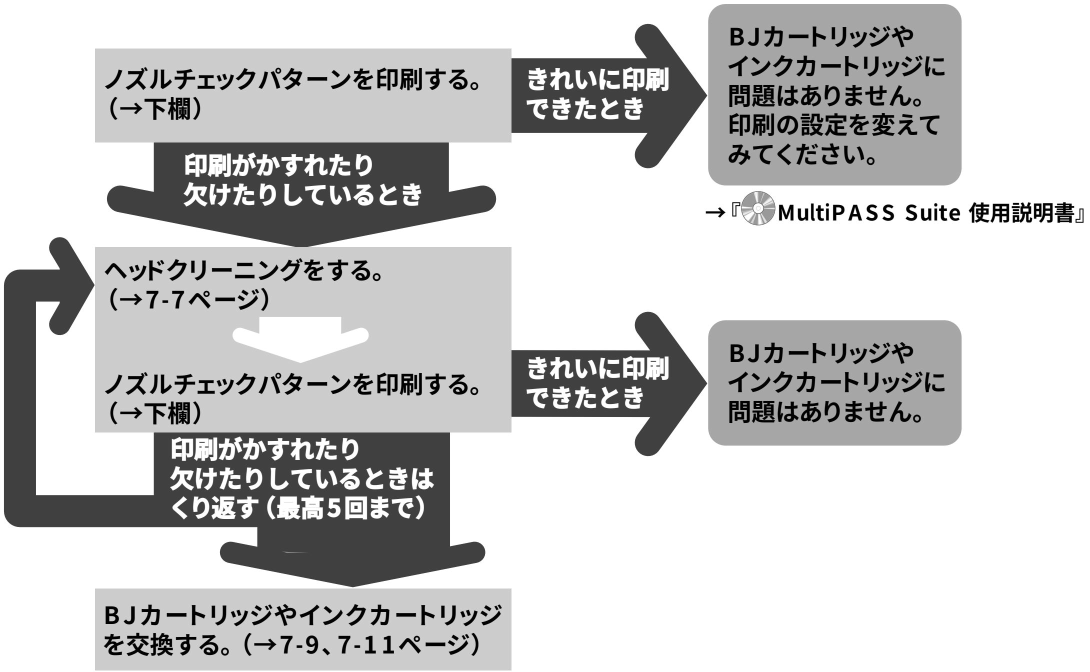
**カラーBJカートリッジBC-21e**
**ブラックBJカートリッジBC-20**
**カラーBJカートリッジBC-22eフォト**
**蛍光BJカートリッジBC-29F**

のどれかをお使いください。

また、カラーBJカートリッジBC-21eのインクカートリッジには、カラーインクカートリッジBCI-21 ColorとブラックインクカートリッジBCI-21 Blackをお使いください。

カラーBJカートリッジBC-22eフォトで、受信したファクスの自動印刷やレポート印刷をするためには、「フォト インク キロク」の設定を「スル」にしてください。

きれいに印刷できないのに、メッセージが表示されないときは、つぎの順にチェックしてください。




## ノズルチェックパターンの印刷

B-25に取り付けたBJカートリッジの状態を調べるときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドのノズルからきちんとインクが出ているかどうかを確認できます。

1 ファンクション ボタンを押します。

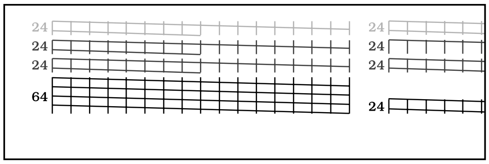
2 10 クリーニング ボタンを押します。

［ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾉｽﾞﾙ ﾁｪｯｸ］と表示されます。

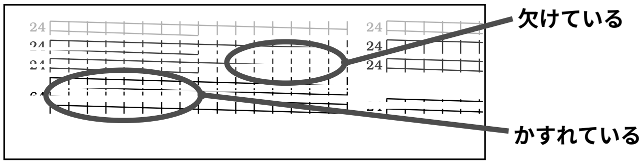
3 セット ボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

**カラーBJカートリッジBC-21e/22eフォトのノズルチェックパターン**

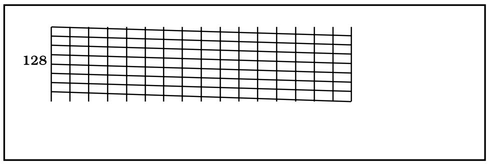



正常な場合

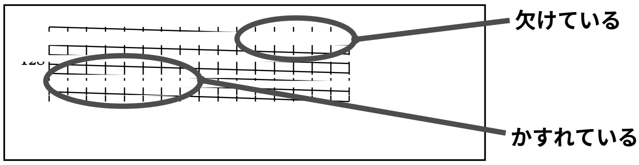



かすれたり欠けている場合の例

**ブラックBJカートリッジBC-20のノズルチェックパターン**




正常な場合




かすれたり欠けている場合の例

　ノズルチェックパターンがかすれていたり欠けていたときは、プリントヘッドをクリーニングしてから、もう一度ノズルチェックパターンを印刷してください。5回クリーニングしてもノズルチェックパターンがかすれていたり欠けているときは、BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。

## プリントヘッドのクリーニング

BJカートリッジのプリントヘッドには、インクを記録用紙に吹きつけるためのノズルがあり、きれいに印刷するためには、ときどきクリーニングする必要があります。

印刷がかすれたり欠けたりしてきれいに印刷できなくなったときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。

ヘッドクリーニングは必要に応じて5回までくり返し、それでもきれいに印刷できないときは、新品のBJカートリッジやインクカートリッジに交換してください。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 10 クリーニング ボタンを押します。

3 ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。

クリーニングが終わると終了を知らせる音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

5 ノズルチェックパターンを印刷して、きれいに印刷できるか確認します。

印刷が薄いときは、印刷の濃度や速度を調整すると、きれいに印刷できることがあります。プリントヘッドをクリーニングする前に、調整してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

プリントヘッドのクリーニングを行うと、少量ですがインクが使われます。ひんぱんにクリーニングすると、インクがなくなってしまうので、必要なときだけにしてください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ
→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-5ページ

### ●カラーBJカートリッジBC-21eを使っているとき

何も印刷されないときや、印刷がかすれるときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。

ノズルチェックパターンが印刷されないときは、カラーとブラックのインクカートリッジが空になっていると思われるので交換してください。

どれかの色だけが、または、いくつかの色が印刷されないときは、カラーのインクカートリッジを交換してください。

ブラックだけが印刷されないときはブラックのインクカートリッジを交換してください。

横方向にかすれるときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。

プリントヘッドが損傷するか、あるいは印刷部数が2000枚を超えない限り、カラーBJカートリッジBC-21eを交換する必要はありません。

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-5ページ
→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

## ●「カートリッジ コウカン」と表示されたとき

LCDディスプレイに「カートリッジ コウカン」と表示されたときは、インクがなくなったか、プリントヘッドが目づまりしています。まず、プリントヘッドをクリーニングしてみてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

プリントヘッドがきれいになると、メッセージが消え、ファクスをメモリ受信していたときは印刷が始まります。

クリーニングを5回くり返してもメッセージが消えないときは、カートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ
→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

## ●コピーが薄かったり、白紙になってしまうとき

印刷やファクス受信は正常なのに、コピーが薄かったり、何も印刷されなかったり、ゆがんでいるときは、本体のスキャナ部を清掃します。

→「スキャナ部の清掃」8-3ページ

清掃してもきれいに印刷できないときは、カートリッジを交換してみてください。

## BJカートリッジを交換する

BJカートリッジはつぎのように交換します。

交換の前に、必ず「BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期」(7-4ページ)をお読みください。

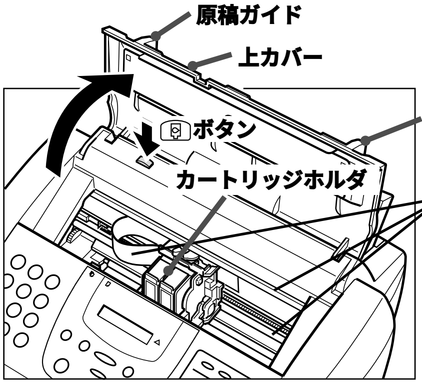
1 B-25の電源がはいっているか確認します。

2 原稿排紙トレイを開きます。

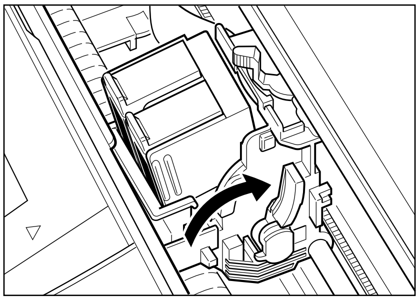
3 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

4 (カートリッジ)ボタンを押します。

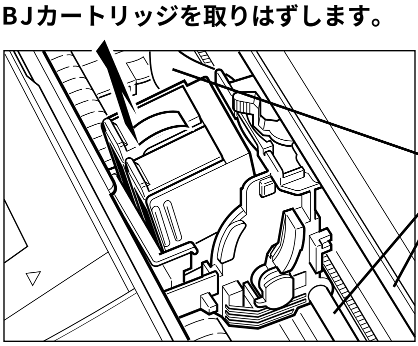
B-25のカートリッジホルダが中央に移動します。




5 カートリッジホルダの青色のカートリッジ固定レバーをゆっくりと持ち上げます。



6 BJカートリッジを取りはずします。




取りはずしたBJカートリッジがまだ使えるときは、付属のBJカートリッジ保管箱SB-21に入れて保管してください。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

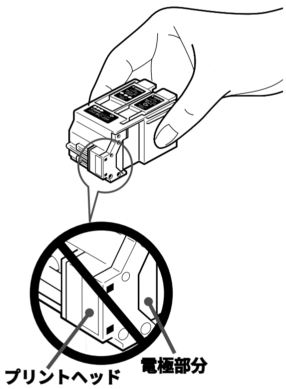
B-25には、過熱防止のための自動保護機能があります。カートリッジホルダが移動しないで、警告音が数回鳴ったときは、B-25の電源を切り、数分間待ってから、もう一度電源を入れ、(カートリッジ)ボタンを押してカートリッジホルダを移動させてください。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

新品のBJカートリッジに交換するときも、他の種類のBJカートリッジに交換するときも、手順は同じです。

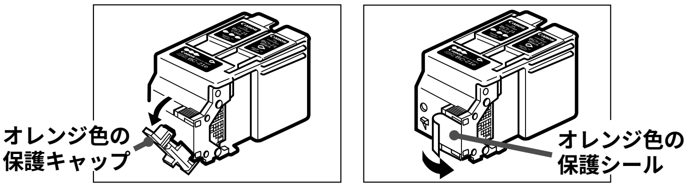
B-25が印刷などの処理をしているときは、BJカートリッジは交換しないでください。

BJカートリッジを持つときは、側面を持ってください。プリントヘッドやその周り、底面の金属部分、側面の金属部分や電極部分には、絶対に触れないでください。

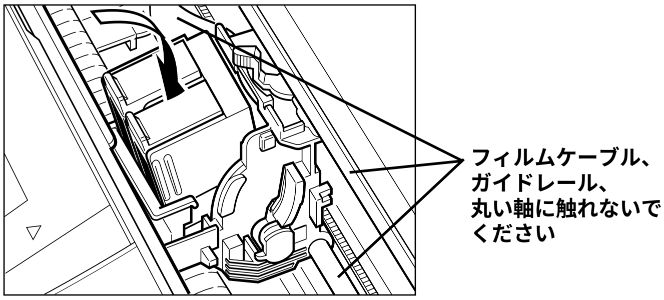



→「BJカートリッジの保管」7-13ページ

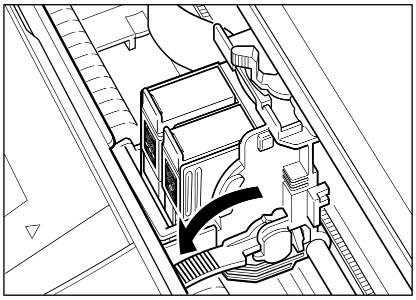
*7* **新しいBJカートリッジをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップと保護シールを取りはずします。**




*8* **カートリッジのラベル面を本体正面の方向に向けて、カートリッジホルダに挿入します。**




*9* **カートリッジがカートリッジホルダの背面に当たっているか確認してから、カートリッジ固定レバーを止まるまで押し下げ、BJカートリッジを固定します。**



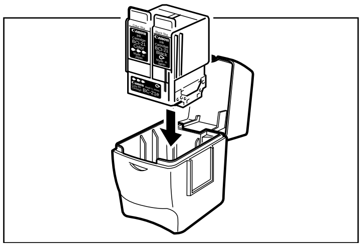
*10* **(カートリッジ)ボタンを押し、「カートリッジガ モドリマス」と表示されたら、上カバーを閉じます。**

カートリッジホルダが本体内部のホームポジションに戻り(その間は「カートリッジガ モドリマス」と表示されます)、その後、プリントヘッドのクリーニングが行われます(約55秒かかります)。

**●取りはずしたBJカートリッジは**

**使い終わったBJカートリッジは、地域の条例にしたがって処分してください。インクが衣服などにつくと落ちにくいので、注意してください。**

**まだ使用できるときは、付属の保管箱に入れて保管してください。入れておかないと、インクが乾いて後で使えなくなってしまいます。**



**取りはずした保護キャップと保護シールは、もう一度BJカートリッジに取り付けたりせずに、捨ててください。**

**BJカートリッジは、保護キャップと保護シールを取りはずしたら、すぐにB-25に取り付けてください。**

**動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。**

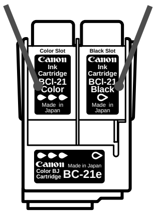
**B-25の電源コードを抜くときは、カートリッジホルダがホームポジションに戻り、スタンバイ状態(LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます)になるまで、待ってください。ホームポジションに戻っていないと、BJカートリッジのインクが乾いてしまいます。**

## インクカートリッジを交換する

ここでは、BJカートリッジは取り付けたまま、インクカートリッジだけを交換する方法について説明します。

交換の前に、必ず「BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期」(7-4ページ)をお読みください。

BJカートリッジの交換については「BJカートリッジを交換する」(7-9ページ)をお読みください。




インクカートリッジは、空になったらすぐに交換してください。

B-25が印刷などの処理をしているときは、インクカートリッジは交換しないでください。

**●「クロ インクガ アリマセン」と表示されたとき**

ブラックインクカートリッジBCI-21 Black(右側)を交換してください。

**●「カラー インクガ アリマセン」と表示されたとき**

カラーインクカートリッジBCI-21 Color(左側)を交換してください。

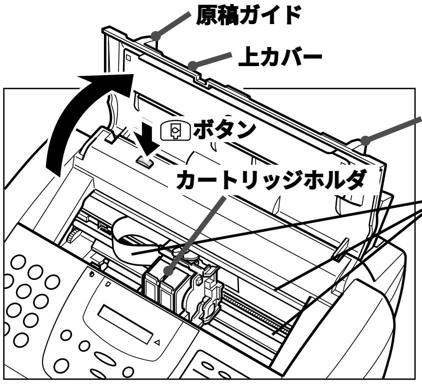
*1* **B-25の電源がはいっているか確認します。**

*2* **原稿排紙トレイを開きます。**

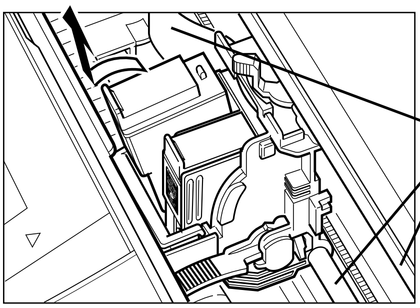
*3* **原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**

*4* **(カートリッジ)ボタンを押します。**

B-25のカートリッジホルダが中央に移動します。




*5* **上部のタブを持って、手前に引いてから持ち上げてインクカートリッジを取りはずします。**




BJカートリッジは取り出さないで、インクカートリッジだけ取りはずしてください。

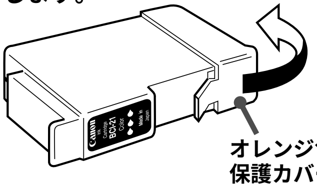
使い終わったインクカートリッジは、地域の条例にしたがって処分してください。

インクが衣服などにつくと落ちにくいので、注意してください。

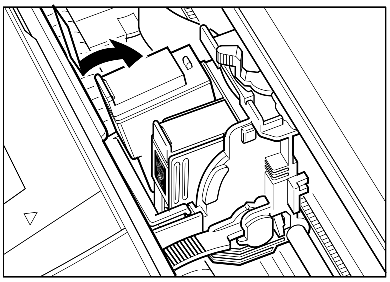
7

BJカートリッジ

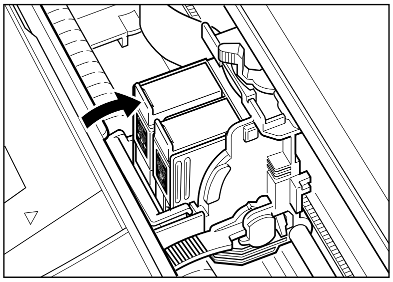
**6** **新しいインクカートリッジからオレンジ色の保護カバーを取りはずします。**




**7** **BJカートリッジのスロットに新しいインクカートリッジを入れます。**



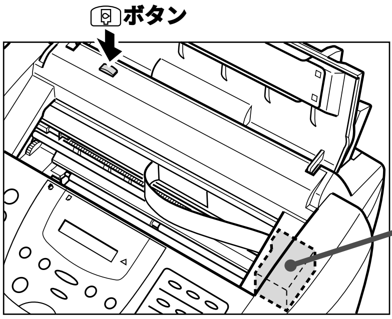
**8** **インクカートリッジの上部のタブを図の方向にしっかりと押しこみます。**



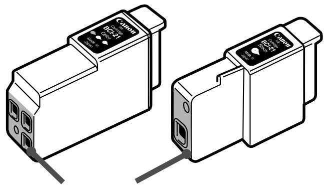
**9** **もうひとつのインクカートリッジも交換するときは、同じように交換します。**

**10** **インクカートリッジがきちんとはまっているか確認して、(カートリッジ)ボタンを押し、「カートリッジガ モドリマス」と表示されたら、上カバーを閉じます。**

カートリッジホルダが本体内部のホームポジションに戻り(その間は「カートリッジガ モドリマス」と表示されます)、その後、プリントヘッドのクリーニングが行われます(約55秒かかります)。




**手にインクがつかないように、インクカートリッジの底面には触れないでください。**




**はずした保護カバーは、もう一度インクカートリッジに取り付けたりせずに、捨ててください。**

**動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。**

**B-25の電源コードを抜くときは、カートリッジホルダがホームポジションに戻り、スタンバイ状態(LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます)になるまで、待ってください。ホームポジションに戻っていないと、BJカートリッジのインクが乾いてしまいます。**

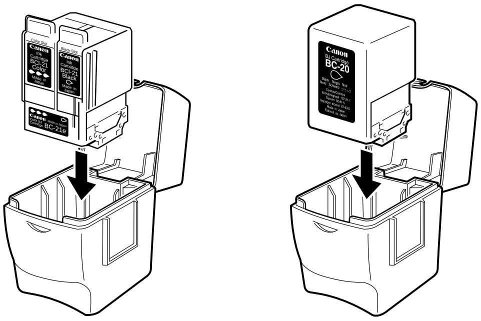
## BJカートリッジの保管

BJカートリッジから保護キャップや保護シールを取りはずした後は、目づまりなどを防ぐために、プリントヘッドが乾燥しないように注意してください。

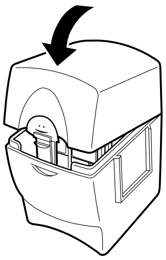
B-25に取り付けられているカートリッジは、本体右側のホームポジションに自動的に移動し、乾燥しないように保護されます。

使用中のBJカートリッジをB-25から取りはずしたときは、付属のBJカートリッジ保管箱に保管してください。

*1* BJカートリッジのラベル面を正面に向け、プリントヘッドを下にして、BJカートリッジを保管箱に入れます。



*2* カチッと音がするまでフタを閉めます。



# 8章
# 清掃と輸送

この章では、日常のお手入れと輸送するときの梱包について説明します。

定期的に清掃すれば、快適に使い続けることができます。

# 清掃する

**いつもいいコンディションでお使いいただくために、定期的に清掃を行ってください。清掃するときは、つぎの点に注意してください。**

**電源コードを抜くと、メモリ内のファクスはすべて消去されます。**

清掃する前に、メモリに保存されているファクスをすべて印刷してください。LCDディスプレイに「ダイコウ ジュシン シマシタ」や「ファイル ジュシン シマシタ」と表示されているときは、メモリに保存されているファクスを印刷してください。

送信待ちのファクスがあるときにB-25の電源を切った場合は、清掃後にもう一度原稿をセットし、送信の操作を行ってください。

**→「メモリでの受信」4-9ページ、「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ**

**清掃にはティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。**

部品に紙の粉が付いたり、静電気の原因になることがあります。

## 本体外側の清掃

**本体外側は、つぎのように清掃してください。**

1. **B-25から電源コードを抜きます。**
2. **柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってからていねいに本体外側を拭きます。**
3. **電源コードを接続します。**

**ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。本体が変色したり、故障の原因になります。**

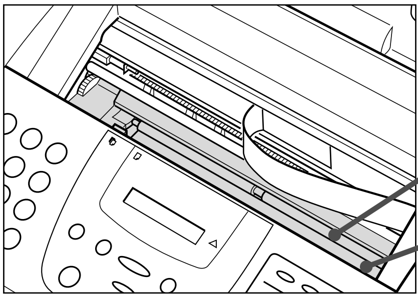
## 本体内部の清掃

**インクの汚れや紙の粉などが本体内部にたまると、きれいに印刷できなくなることがあります。つぎのように本体の印刷部分を定期的に清掃してください。**

1. **B-25から電源コードを抜きます。**
2. **原稿排紙トレイを開きます。**
3. **原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**

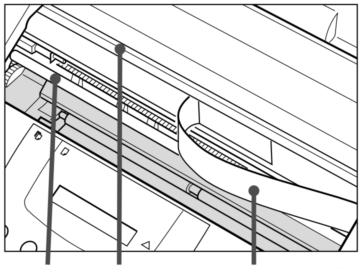
*4* **柔らかくて乾いた、糸くずのでない、きれいな布を使って、下図の　　　部分のインクの汚れや紙の粉を取り除きます。**

カートリッジホルダに触れないように注意してください。




*5* **上カバー、原稿排紙トレイを閉じ、電源コードを接続します。**

**本体内部のフィルムケーブル、ガイドレール、丸い軸、他の金属部分に触れないでください。印刷品位の低下の原因になる場合があります。**




## スキャナ部の清掃

**スキャナ部は、つぎのように定期的に確認し清掃してください。**

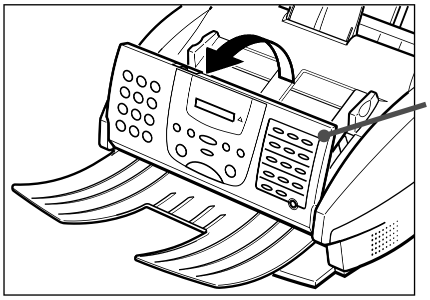
**スキャナ部が汚れていると、送信、コピー、スキャンした画像が汚れます。**

*1* **B-25から電源コードを抜きます。**

*2* **原稿排紙トレイを開きます。**

*3* **操作パネルをゆっくりと手前に引いて開きます。**

**操作パネルは、少ししか開きません。**

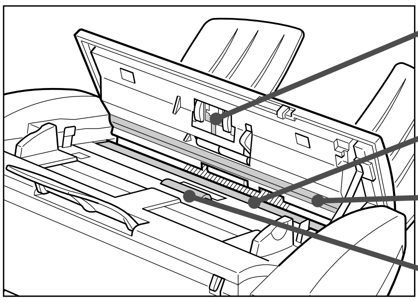



**スキャナ部を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。**

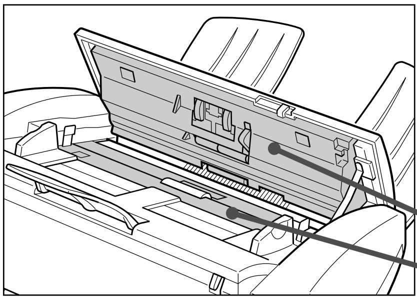
**静電気による故障の原因になるので、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。**

*4* **柔らかくて乾いたきれいな布で、分離ローラと分離ガイドの汚れを拭きとります。**

**白いシートとスキャンガラスは、水で湿らせ固くしぼった布で汚れを落としてから、柔らかくて乾いた布で拭きとります。**

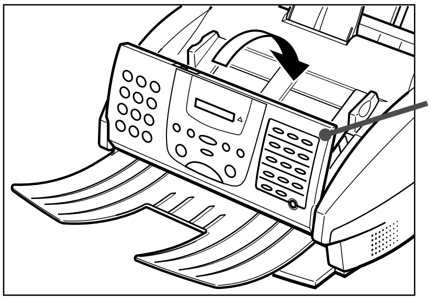


*5* 操作パネルの裏側や分離ローラの周りも、柔らかくて乾いた布で清掃します。




この部分の汚れやほこり、紙の粉によっても、送信、コピー、スキャンした画像が汚れます。

*6* 清掃が終わったら、操作パネルをゆっくり閉じて、カチッという音がするまで中央部を押し、しっかりと閉じます。



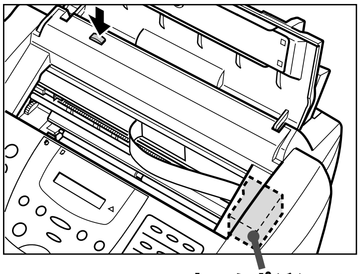

カチッと音がするまでしっかり閉じてください。きちんと閉じていないと、正常に動作しません。

*7* 原稿排紙トレイを閉じ、電源コードを接続します。

# 輸送するときの梱包

**B-25を輸送するときは、輸送中に破損したり故障したりしないように、つぎのように梱包してください。**

1. **原稿ガイドを持ち上げて上カバーを開きます。**
2. **カートリッジホルダが右側のホームポジションにあるか確認します。**
   ホームポジションにないときは、（カートリッジ）ボタンを押してください。
3. **BJカートリッジとカートリッジホルダをテープでB-25本体に固定します。**
4. **電源コードを抜きます。**
5. **モジュラージャックコード、コンピュータと接続しているパラレルケーブルやUSBケーブルを取りはずします。**
   **子電話、留守番電話を取り付けているときは、それも取りはずします。**
6. **原稿トレイを取りはずします。**
7. **原稿排紙トレイを閉じます（取りはずす必要はありません）。**
8. **購入時に取りはずした梱包材を取り付け、B-25本体と付属品を、箱に収めます。**




**BJカートリッジは、取り付けたまま輸送します。取りはずすと、プリントヘッドが乾燥して使えなくなることがあります。また、テープでしっかり固定しないと、B-25内部にインクがもれることがあります。**

**●元の箱や梱包材がないとき**

**適当な大きさの丈夫な段ボール箱に入れて、一般の発泡スチロールやビニール袋などの梱包材を使い、中で本体がガタガタしたり、輸送のショックで破損、故障しないように、しっかりと梱包してください。発泡スチロールなどの小さな梱包材を使うときは、B-25の中にはいりこまないように、先にB-25本体をビニール袋などで包んでください。**

# 9章
# 困ったときは

　操作がうまくいかないとき、動作がおかしいときなどは、この章の説明にしたがって対処してください。

### ⚠注意

　B-25本体から変な音や煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて電源を切り、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（→裏表紙）に連絡してください。絶対にご自分で修理、分解しないでください。

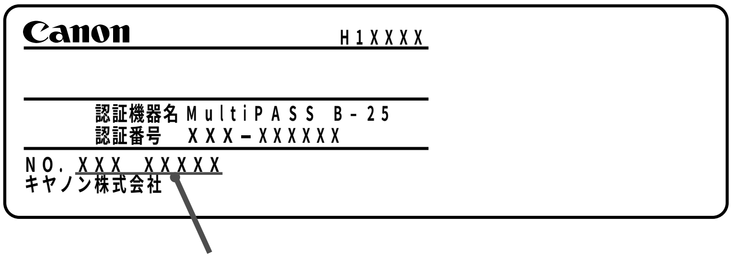
# どうしても問題が解決しないとき

この章の説明にしたがって対処してみても、どうしてもうまくいかなかったときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

キヤノンサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。キヤノン製品を使っていて困ったことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

連絡の前に、あらかじめつぎのことをメモしておいてください。

- 装置名－MultiPASS(マルチパス)B-25
- シリアルナンバー(機体番号:B-25本体の背面のラベルに書かれています。)




シリアルナンバー

- MultiPASS Suiteのバージョン
  (MultiPASS Suiteを使っていない場合は、必要ありません)
- お買い求めの販売店名
- トラブルのくわしい状況
- この章の説明にしたがって対処したことと、その結果(複数ある場合はすべて)

### ⚠注意

B-25をご自分で修理、分解すると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

MultiPASS Suiteのバージョンの調べ方→『MultiPASS Suite使用説明書』

# 紙づまり

**自動給紙装置（ADF）の原稿や記録紙トレイの記録用紙が途中でひっかかったり、つまったときは、つぎのようにして取り除いてください。**

**つまった紙は、電源を入れたままで取り除きます。**

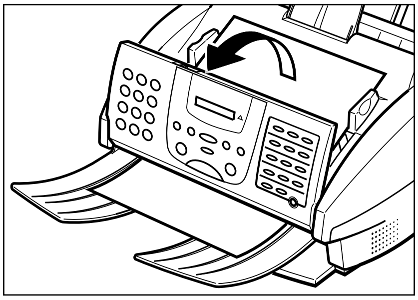
## 原稿がつまったとき

**自動給紙装置（ADF）で原稿がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに、「ｹﾞﾝｺｳ ｦ ﾁｪｯｸ」と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。**

*1* **紙づまりしてもまだ原稿が送られつづけているときは、ストップボタンを押します。**

*2* **複数の原稿をセットしていたときは、いったん全部取り出します。**

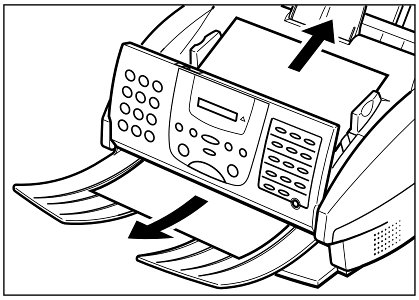
*3* **操作パネルをゆっくりと手前に引いて開きます。**



**操作パネルを開かずに原稿を引き出そうとすると、原稿が破れたり、汚れたりすることがあります。**

*4* **つまった原稿をゆっくりと引き出します。**

どちらの方向でも、引き出しやすい方に引き出してください。



**●原稿をうまく引き出せないとき**

**無理に引っぱると、破れる恐れがあります。そのままの状態で、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（→裏表紙）に連絡してください。**

*5* **操作パネルをゆっくり閉じて、カチッという音がするまで中央部を押し、しっかりと閉じます。**

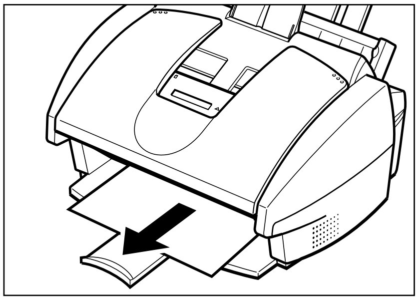
**カチッと音がするまでしっかり閉じてください。きちんと閉じていないと、正常に動作しません。**

*6* **リセットボタンを押します。**

## 記録排紙口で記録用紙がつまったとき

**記録排紙口で記録用紙がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに、「キロクシガ　ツマリマシタ」と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。**

*1* **図のように、つまった記録用紙をゆっくり引き出します。**



*2* **記録紙トレイにセットされている記録用紙の束をいったん取り出し、セットしなおします。**

最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。

*3* **リセットボタンを押します。**

Windowsアプリケーションから印刷していたときは、コンピュータの画面の表示にしたがってください。

**ファクス受信中に記録用紙がつまったときは、受信したファクスはメモリに保存されています。つまった記録用紙を取り除いてリセットボタンを押すと印刷されます。**

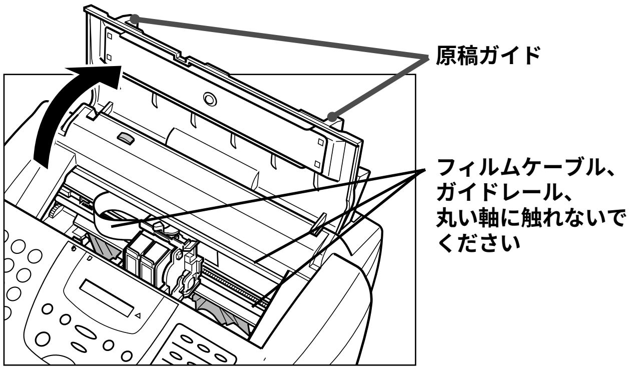
## BJカートリッジ付近で記録用紙がつまったとき

**BJカートリッジ付近で記録用紙がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｼﾞｬﾑ と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。**

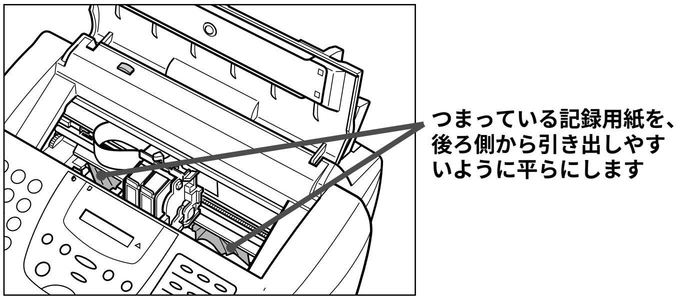
**ファクス受信中に記録用紙がつまったときは、受信したファクスはメモリに保存されています。つまった記録用紙を取り除いて リセット ボタンを押すと印刷されます。**

**動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。**

*1* **原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。**



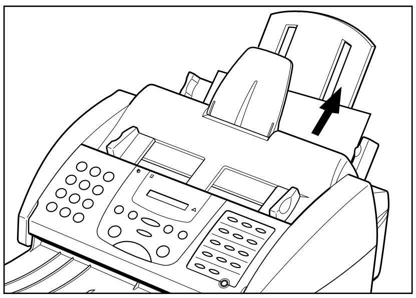

*2* **BJカートリッジ付近につまっている記録用紙を、記録紙トレイ側から引き出しやすいようにできるだけ平らにします。**




*3* **上カバーを閉じます。**

*4* **記録紙トレイから、つまっている記録用紙をゆっくり引き出します。**

**記録用紙がちぎれたときは、ピンセットなどで切れ端を取り除いてください。**



*5* **リセット ボタンを押します。**

ピーピーと音が鳴り、BJカートリッジが本体右側のホームポジションに移動します。

Windowsアプリケーションから印刷していたときは、コンピュータの画面の表示にしたがってください。

# 記録用紙が うまく送られない

**記録紙トレイにセットした記録用紙がうまく送られないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。**

## 記録用紙がはいっていかない

**記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？**

セットできる枚数→6-4ページ

記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。

記録紙トレイにセットできる枚数は、普通紙では１００枚までです。無理に押さえつけてつめこまないでください。

**記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。**

→『マルチパスB-25の羅針盤』、本書「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

## 斜めに印刷される

**記録用紙の束の右側が記録紙トレイの右側にそろい、記録紙ガイドが記録用紙の左側に合わされているか確認してください。**

**記録排紙口にゴミや異物が付着していないか確認してください。**

## 何枚か重なって送られる

**記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。**

→『マルチパスB-25の羅針盤』、本書「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

**記録用紙どうしがくっついていないか確認してください。**

記録用紙を記録紙トレイにセットするときは、よくさばいてからそろえてセットしてください。

**記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？**

セットできる枚数→6-4ページ

記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。

記録紙トレイにセットできる枚数は、普通紙では１００枚までです。無理に押さえつけてつめこまないでください。

**記録紙トレイに種類の違う記録用紙がセットされていませんか？**

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

記録紙トレイには、一種類の記録用紙だけをセットしてください。

また、記録用紙が条件に合っているか確認してください。

## ＯＨＰフィルムやバックプリントフィルムがうまく送られない

**記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？**

セットできる枚数→6-4ページ

記録紙トレイにセットできる枚数は、ＯＨＰフィルムは5０枚まで、バックプリントフィルムは1０枚までです。

## 紙づまりがたびたび起こる

**記録用紙そのものに問題がある可能性があります。**

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

記録用紙が条件に合っているか確認してください。また、記録用紙どうしがくっつかないように、よくさばいてからそろえて記録紙トレイにセットしてください。

## 封筒が送られない

**封筒が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。**

封筒は、一度に10枚までセットできます。

**コンピュータの用紙の設定で、正しい封筒サイズが選ばれているか、確認してください。**

**封筒の種類は、条件に合っていますか？**

→「封筒に印刷する」6-7ページ

印刷できる封筒は、つぎのとおりです。

洋形4号（235×105mm）

洋形6号（190×98mm）

→『 MultiPASS Suite使用説明書』

**封筒のフタがそったり、ふくらんだりしていませんか？**

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

ペンの軸などの丸いものでしごいてまっすぐに伸ばしてください。

# ファクスを送信できない

**ファクスの送信がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。**

## ファクスを送信できない

**B-25が内部の温度が上がりすぎて冷えるのを待っている状態である可能性があります。**

電源コードを電源コンセントから抜いて電源を切り、しばらく放置してください。機械が冷えてから、もう一度送信してみてください。ただし、B-25の電源を切ると、メモリに保存されていた原稿は消去されます。

それでも送信できないときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

**電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)は正しく設定されていますか？**

使用する電話回線の種類に合わせて設定してください。電話回線の種類がわからないときは、最寄りのNTTにお問い合わせください。116番(無料)で調べてもらえます。

**→『マルチパスB-25の羅針盤』、本書「電話回線の種類を設定する」1-7ページ**

**原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか？**

原稿をいったん全部取り出し、セットしなおしてください。

**→「原稿をセットする」5-4ページ**

給紙レバーは原稿の種類に合わせて設定されていますか？

操作パネルは閉まっていますか？

**指定したワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルには、ファクス番号が登録されていますか？**

登録内容を確認してください。

**ファクス番号は正しいですか？**

確認して、もう一度かけなおしてください。

**送信先のファクス機器の記録用紙がなくなっていませんか？**

送信先に連絡して、確認してもらってください。

**カラー対応ではないファクス機器に、カラーで送信していませんか？**

カラーに対応していないファクス機器にカラーで送信しようとすると、LCDディスプレイに「シロクロモードデ ヤリナオシ」と表示され、送信されません。白黒で送信しなおしてください。

カラーダイレクト送信の設定をすると、カラーに対応していないファクス機器には、自動的に白黒に変換して送信されるようになります。

**カラーダイレクト送信の設定→「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ**

**メモリから別のファクスを送信中ではありませんか？**

それらの送信が終わるまで、待ってください。

**送信時に通信エラーが発生した可能性があります。**

通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

**→「通信管理レポート」2-14ページ、「メッセージとその内容」9-24ページ**

**電話回線に異常がある可能性があります。**

オンフック ボタンを押すか、子電話の受話器を取って、発信音が聞こえるか確認してください。聞こえないときは、最寄りのNTTに連絡してください。

**送信先のファクス機器がG3対応かどうか、確認してください。**

## 送信したファクスが汚れている

**送信先のファクス機器に原因があるかもしれません。**

B-25でコピーをとってみてください。コピーがきれいにとれれば、送信先のファクス機器が原因と思われます。送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。

**原稿は自動給紙装置（ADF）に正しくセットされていますか？**

原稿をいったん全部取り出し、セットしなおしてください。

**→「原稿をセットする」5-4ページ**

## ECMモードで送信できない

**ECMモードになっていますか？**

ECM送信に設定されているか確認してください。

**ECM送信→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「送信機能設定」メニュー」10-5ページ**

**送信先のファクス機器はECMに対応していますか？**

対応していないときは、エラーチェックは行われずに、標準モードで送信されます。

## 送信時にたびたびエラーが発生する

**電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。**

Desktop Managerの[ファクス送信の詳細設定]画面か、B-25本体の「システム管理設定」メニューで、「送信開始速度」の設定を遅くしてみてください。

**送信開始速度→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「システム管理設定」メニュー」10-7ページ**

# ファクスを受信できない

**ファクスの受信がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。**

## 自動でファクスを受信できない

**受信モードは正しく設定されていますか?**

ファクスを自動で受信するためには、受信モードが自動受信モード、留守TEL接続モード、FAX/TEL切り替えモードのどれかに設定されていなければなりません。正しく設定してください。

**→「ファクス受信モードの種類」4-2ページ**

留守TEL接続モードに設定している場合は、留守番電話が接続されていることと、電話が留守番電話の状態になっていて、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

**メモリにファクスが残っていて、空きがない可能性があります。**

メモリ内のファクスを、印刷または削除してください。

**→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ**

**Desktop Managerで、受信したファクスをコンピュータに送るように設定していませんか？**

Desktop Managerで設定を確認してください。

**→『MultiPASS Suite使用説明書』**

**受信時に通信エラーが発生した可能性があります。**

LCDディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、調べてみてください。

また、通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

**→「通信管理レポート」2-14ページ、「メッセージとその内容」9-24ページ**

**記録紙トレイに記録用紙がはいっているか確認してください。**

**モジュラージャックコードがしっかり接続されているか、確認してください。**

**送信側のファクス機器がファクス呼び出し音（CNG信号）を送信していない可能性があります。**

B-25は、ファクス呼び出し音によって、ファクスが送信されてきたことを検知しています。送信側のファクス機器がファクス呼び出し音を送信できないときは、手動受信するか、FAX/TEL切り替えモードで「呼び出し後の動作」を「受信」に設定してください。

**手動受信→「手動受信モード」4-6ページ**
**呼び出し後の動作→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ**

## 手動でファクスを受信できない

**スタート ボタンを押すか、リモートIDを押す前に、受話器を戻しませんでしたか？**

受話器を戻す前に、スタート ボタンを押すか、リモートIDを押してください。

**手動受信→「手動受信モード」4-6ページ**

## 受信したファクスの画質が悪い

**記録紙トレイにセットされている記録用紙が条件に合っていますか？**

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

B-25で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

**送信側のファクス機器に原因があるかもしれません。**

ファクスの画質は、通常、送信側のファクス機器によって決まります。送信してきた相手に連絡して、読み取り部や原稿カバーが汚れていないか点検してもらってください。

**ECMモードになっていますか？**

ECM受信→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ

ECM受信に設定されているか確認してください。

**電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。**

ECM受信すると解決する場合もありますが、電話回線の状態がよくないときは、再送信してもらった方がいいでしょう。

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

プリントヘッドをクリーニングしてください。

## 受信したファクスがまったく印刷されない

**BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色の保護テープをはがしましたか？**

保護テープは必ずはがしてください。

**BJカートリッジやインクカートリッジは、正しく取り付けられていますか？**

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

正しく取り付けられているか確認してください。

**カラーBJカートリッジBC-22eフォトを取り付けていませんか？**

このカートリッジで、受信したファクスを印刷するためには、「フォト インク キロク」の設定を「スル」にしてください。

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

プリントヘッドをクリーニングしてください。

**BJカートリッジやインクカートリッジが、交換時期にきている可能性があります。**

→「BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期」7-4ページ

交換時期かどうか調べてください。

**Desktop Managerで、受信したファクスをコンピュータに送るように設定していませんか？**

→『MultiPASS Suite使用説明書』

Desktop Managerで設定を確認してください。[ファクス設定]画面の[ファクス受信]タブで、[コンピュータ起動時]の設定を[ファクスをアップロード]にしているときは、受信したファクスは印刷されずにコンピュータに送られます。コンピュータに送らずにB-25で印刷するときは、[ファクスを印刷]に設定してください。すでにコンピュータに送られたファクスは、Desktop Managerで印刷してください。

## ECMモードで受信できない

**送信側のファクス機器はECMに対応していますか？**

対応していないときは、エラーチェックは行われず、標準モードで受信されます。

**ECMモードになっていますか？**

ECM受信に設定されているか確認してください。

**ECM受信→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「受信機能設定」メニュー」10-6ページ**

## 受信時にたびたびエラーが発生する

**電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。**

Desktop Managerの[ファクス受信の詳細設定]画面か、B-25本体の「システム管理設定」メニューで、「受信開始速度」の設定を遅くしてみてください。

**受信開始速度→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「システム管理設定」メニュー」10-7ページ**

**送信側のファクス機器が正しく動作していない可能性があります。**

送信してきた相手に連絡して、確認してもらってください。

# 電話が使えない

**電話がうまくかからないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。**

## ダイヤルできない

**モジュラージャックコードはしっかり接続されていますか？**

接続を確認してください。

**電話回線の種類（プッシュ回線かダイヤル回線）は正しく設定されていますか？**

使用する電話回線の種類に合わせて設定してください。電話回線の種類がわからないときは、最寄りのＮＴＴにお問い合わせください。１１６番（無料）で調べてもらえます。

**→『マルチパスB-25の羅針盤』、本書「電話回線の種類を設定する」1-7ページ**

**電源コードのコネクタとプラグが、B-25の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか？**

接続を確認してください。

## 通話中に電話が切れてしまう

**モジュラージャックコードは電話用コンセントにしっかり差しこまれていますか？**

接続を確認してください

**電源コードのコネクタとプラグが、B-25の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか？**

接続を確認してください。

**子電話が、停電時にも通話できる電話機であれば、電源コードが抜けたり、停電になっても、通話は継続できます。**

# コピーできない

**うまくコピーできないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。**

## まったくコピーできない

**LCDディスプレイになにか表示されていますか？**

なにも表示されていないときは、電源に問題がある可能性があります。電源コードがしっかり接続されているか、電源コンセントが正常か確認してください。

エラーメッセージが表示されているときは、「メッセージとその内容」(→9-24ページ)にしたがって対処してください。

「コピー」、「ソウシン」、「ジュシン」、[ヨビダシ チュウ]などが表示されていたり、送信先の名前や電話番号が表示されているときは動作中です。動作が終わるまで待ってください。日付が表示されているときは、つぎ以降の項目を確認してください。

**インクカートリッジが空になっていませんか？**

表示されるメッセージを確認して、インクカートリッジを交換してください。

**→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ**

**適切なBJカートリッジが取り付けられていますか？**

- ブラックBJカートリッジでは、カラーコピーはできません。カラーBJカートリッジかカラーBJカートリッジフォトに交換してください。

**→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ**

- フォトインク記録が「シナイ」に設定されていると、カラーBJカートリッジフォトで白黒コピーはできません。カラーまたはブラックBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定を「スル」に変更してください。

**フォトインク記録→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「「プリント設定」メニュー」10-7ページ**

**原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか？**

一度原稿を取り出してそろえ、セットしなおしてください。給紙レバーの位置や、操作パネルが閉まっているかも確認してください。

**→「原稿をセットする」5-4ページ**

**B-25が故障している可能性があります。**

ノズルチェックパターンを印刷して確認してください。

**→「ノズルチェックパターンの印刷」7-5ページ**

**BJカートリッジやインクカートリッジは、正しく取り付けられていますか？**

正しく取り付けられているか確認してください。

**→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ**

## 複数ページの原稿をコピーできない

**「メモリガ イッパイデス」と表示されていませんか？**

メモリ内のファクスを印刷または削除してから、コピーをとってください。

**→「メモリに保存されているファクスを印刷、削除する」4-10ページ**

**コピーする原稿にたくさんの画像が含まれていますか？**

複数ページの原稿をコピーするときは、原稿をいくつかに分けてコピーするか、1部ずつコピーしてください。

# 印刷できない

印刷がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

## 印刷時にエラーランプが点灯し、警告音が鳴る

**紙づまりのとき**

つまった原稿、記録用紙を取り除いてください。

→「紙づまり」9-3ページ

**紙づまりでないとき**

(リセット)ボタンを押してもエラーランプが消えないときは、電源コードを電源コンセントから抜いて電源を切り、5秒間待ってから、もう一度電源コードを電源コンセントに差しこんで電源を入れてください。問題が解決していれば、エラーランプは点灯せず、BJカートリッジがホームポジションに移動し、LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます(スタンバイ状態になります)。ただし、B-25の電源を切ると、メモリに保存されていたファクスは消去されます。

電源を入れなおしてもまだエラーランプが点灯するときは、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

## まったく印刷されない

**電源コードのコネクタとプラグが、B-25の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか？**

接続を確認してください。

**B-25とコンピュータのプリンタケーブルは、しっかり接続されていますか？**

接続を確認してください。また、プリンタケーブルの種類や長さが正しいか確認してください。

コンピュータとの接続→『マルチパスB-25の羅針盤』

**コンピュータやB-25の電源を入れたまま、プリンタケーブルを接続しませんでしたか？**

- 両方の電源を切ってから、もう一度接続しなおしてください。
- USBケーブルの場合は、ソフトウェアのインストール時にケーブルを接続し、正しく動作するか確認してください。

**BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色の保護シールをはがしましたか？**

保護シールは必ずはがしてください。

**BJカートリッジやインクカートリッジは正しく取り付けられていますか？**

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

**BJカートリッジやインクカートリッジが、交換時期にきている可能性があります。**

交換時期かどうか調べてください。

→「BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期」7-4ページ

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- 印刷に使うアプリケーションは、正しく設定されているか。
- 印刷に使うプリンタとしてB-25が選ばれているか。
- プリンタドライバのポートの設定は正しいか。
- コンピュータのパラレルポートは使用できる状態か。
- 他のハードウェアやアプリケーションが、B-25と同じパラレルポートを使用していないか。

## BJカートリッジは動いているのに、印刷されない

**BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色の保護シールをはがしましたか？**

保護シールは必ずはがしてください。

**BJカートリッジやインクカートリッジは、正しく取り付けられていますか？**

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

**インクカートリッジが空になっていませんか？**

表示されるメッセージを確認して、インクカートリッジを交換してください。

→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

## 元の絵と印刷が全然違う

**B-25とコンピュータのプリンタケーブルは、しっかり接続されていますか？**

接続を確認してください。また、プリンタケーブルの種類や長さが正しいか、確認してください。

コンピュータとの接続→『マルチパスB-25の羅針盤』

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- B-25とコンピュータの通信に問題はないか。
- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。
- 他のハードウェアやアプリケーションが、B-25と同じパラレルポートを使用していないか。
- プリンタドライバの設定で、正しい記録用紙が選ばれているか。
- 前回、印刷したときの設定が、そのまま残っていないか。

## 印刷が記録用紙サイズと合っていない

**記録用紙は記録紙トレイに正しくセットされていますか？**

正しくセットされているか確認してください。

→「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

**記録用紙からはみ出してB-25内部のプラテンに印刷されたときは、ノートパッドなどで白紙を2、3枚印刷して、インクを拭き取ってください。**

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- アプリケーションでの用紙サイズや余白の設定は正しいか。
- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。

## 一行ごとに印刷が止まる

**プリントヘッドが過熱しすぎている可能性があります。**

長時間、続けて印刷してプリントヘッドが過熱しすぎると、冷ますために動きが遅くなります。処理中の印刷が終了したら、しばらく使用しないで、冷ましてください。

## 印刷ジョブが消える､文字化けする

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- 他のアプリケーションが、B-25と同じプリンタポートを使用していないか。
- MultiPASSサービスは起動しているか。

## 記録用紙が丸まってしまう

**インクを多く使って印刷する部分が多いと、丸まってしまうことがあります。**

- 印刷された記録用紙は30～60秒ほど記録排紙口に置いて、インクを乾かします。原稿排紙トレイなどに印刷面が触れないように注意しながら取り出し、完全に乾かしてから、丸まっている方向とは逆の方向に記録用紙を丸めます。(記録用紙を取り出すときにインクでB-25本体が汚れたときは、柔らかい布を、水か、食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください)
- 記録用紙が薄すぎます。薄い記録用紙にインクを多く使って印刷すると、丸まってしまうので、厚めの記録用紙を使ってください。

## コンピュータの画面に｢MultiPASSの初期化｣と表示される

**コンピュータからB-25にデータを送信しても、B-25が応答しないと、タイムアウトになります。**

B-25の電源がはいっているか、プリンタケーブルがしっかり接続されているか、確認してください。

紙づまりが起こっていたら、つまった記録用紙を取り除き、記録紙トレイに記録用紙が正しくセットされているのを確認してください。

# きれいに印刷、コピーできない

きれいに印刷できないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

## 印刷が不鮮明、インクがはねる、部分的に欠ける

**記録紙トレイにセットされている記録用紙は、条件に合っていますか？**

B-25で使用できる記録用紙かどうか、確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

**記録用紙の裏側に印刷していませんか？**

記録用紙には、裏表があるものがあります。そのような記録用紙のときは、表が上になるように記録紙トレイにセットしてください。

裏表がよくわからないときは、裏返して印刷してみてください。

**BJカートリッジやインクカートリッジは、正しく取り付けられていますか？**

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

**インクカートリッジが空になっていませんか？**

表示されるメッセージを確認して、インクカートリッジを交換してください。

→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

**プリントヘッドが消耗していませんか？**

消耗していたら、BJカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ

## 文字や絵がギザギザになる

**プリンタドライバをチェックして、選択した印刷モードを確認してください。ドラフトモードで印刷すると、文字がギザギザになります。**

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

ドットマトリックスプリンタ専用のビットマップフォントは、ギザギザに印刷されます。また、一部のMSフォント(MS Serifなど)はギザギザになるので、他のフォントを選択してください。

## 色が薄い、印刷がかすむ

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

ドラフトモードで印刷しているときは、標準モードかファインモードで印刷してみてください。

## 印刷に時間がかかりすぎる

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

## ぼやけていたりインク汚れの箇所がある

**記録紙トレイにセットされている記録用紙は条件に合っていますか？**

B-25で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-23ページ

**記録用紙の裏側に印刷していませんか？**

記録用紙には、裏表があるものがあります。そのような記録用紙のときは、表が上になるように記録紙トレイにセットしてください。裏表がよくわからないときは、裏返して印刷してみてください。

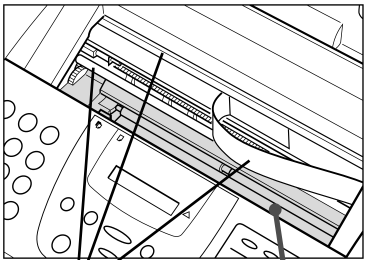
## 印刷した記録用紙が汚れている

**記録用紙からはみ出してプラテンに印刷され、プラテンがインクで汚れていませんか？**

記録ローラクリーニングを行って、プラテンのインクを拭き取ってください。

記録用紙を2、3枚セットして、ファンクション ボタン、10 クリーニング ボタンの順に押し、08 ∨、02 ∧ ボタンで「キロク ローラ クリーニング」を選んで セット ボタンを押します。これを数回くり返します。

本体の上カバーを開けたところ




## 記録用紙が丸まってしまう

**インクを多く使って印刷する部分が多いと丸まってしまうことがあります。**

- 印刷された記録用紙は30〜60秒ほど記録排紙口に置いて、インクを乾かします。原稿排紙トレイなどに印刷面が触れないように注意しながら取り出し、完全に乾かしてから、丸まっている方向とは逆の方向に記録用紙を丸めます。(記録用紙を取り出すときにインクでB-25本体が汚れたときは、柔らかい布を、水か、食器用洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってから拭き取ってください)
- 記録用紙が薄すぎませんか？　薄い記録用紙にインクを多く使って印刷すると、丸まってしまうので、厚めの記録用紙を使ってください。

## 印刷面がかすれたり、汚れたりする

**紙間選択レバーが正しくセットされていません。**

画像など、インクを多く使う印刷では、紙間選択レバーを右✉にセットしてください。

→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ

9 困ったときは

# カラー印刷、カラーコピーができない

**カラー印刷やカラーコピーで色がうまく出ないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。**

## 黒一色で印刷されてしまう

**BJカートリッジやインクカートリッジは、正しく取り付けられていますか？**

正しく取り付けられているか、確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。
- 使用しているアプリケーションは、カラー印刷に対応しているか。

## 色が違う、ムラがある、細い線が見えにくい

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- 印刷モードは正しいか。
- 原色以外の色で、細い線を引いていないか。
  原色以外の色では、複数の色や白のドットが交互に印刷されるので、細い線だと見えにくくなります。細い線は、4つの原色、シアン（青）、マゼンタ（赤）、イエロー（黄）、ブラック（黒）のうちのどれかにすると、見やすくなります。

## 色が正しく印刷されない

**つぎの内容については、『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

- MultiPASSのプリンタドライバが選ばれているか。
- プリンタドライバの設定で、正しい記録用紙が選ばれているか。

**B-25は、画面の色どおりに印刷できるように設計されていますが、色によっては、完全には一致しないことがあります。**

## 印刷されない色がある

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

**インクカートリッジが空になっていませんか？**

表示されるメッセージを確認して、インクカートリッジを交換してください。

→「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

## 1行だけ色の感じが違う

**印刷しようとしている画像に対して、最適な印刷の設定をしていますか？**

設定や記録用紙の種類を変えて、印刷してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

## 色合いが変わってしまう

**プリントヘッドが目づまりしていませんか？**

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-7ページ

**インクカートリッジが空になっていませんか？**

表示されるメッセージを確認して、インクカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-9ページ、「インクカートリッジを交換する」7-11ページ

## 青が紫や紺色に印刷される

コンピュータの画面の色はR（赤）、G（緑）、B（青）を加色混合という方法で混合して表現されていますが、プリンタではC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）を減色混合という方法で混色して表現するので、画面の色を完全に再現することはできません。このため、青い色は、画面に比べると濃くなったり、紫色に近くなったりします。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

## 細かい部分がきれいに印刷できない

プリンタドライバの設定が、普通紙にカラー印刷する設定になっているか、確認してください。

また、ハーフトーンが「誤差拡散」に設定されているか、確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

# 一般的なトラブル

## 電源がはいらない

**電源コードのコネクタとプラグが、B-25の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?**

接続を確認してください。

**電源コードは断線していませんか?**

別の電源コードに交換してみるか､テスターで通電をチェックしてください。

## レポートを印刷できない

**ブラックインクがなくなっていませんか？**

インクカートリッジを交換してください。

→｢インクカートリッジを交換する｣7-11ページ

**カラーBJカートリッジBC-22eフォトがセットされていませんか?**

フォトインク記録が｢シナイ｣に設定されていると、カラーBJカートリッジフォトでレポートは印刷できません。カラーまたはブラックBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定を｢スル｣に変更してください。

→｢BJカートリッジを交換する｣7-9ページ
フォトインク記録→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書｢｢プリント設定｣メニュー｣10-7ページ

## LCDディスプレイに何も表示されない

**電源コードのコネクタとプラグが、B-25の差し込み口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?**

接続を確認してください。

OAタップなどに接続しているときは、それが電源コンセントに接続され、スイッチがオンになっているか、確認してください。

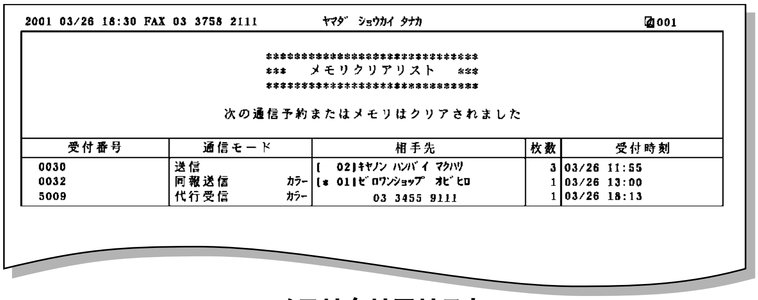
それでも何も表示されないときは、電源コードを電源コンセントから抜き、5秒間待ってから、もう一度電源コンセントに差しこんでください。

## 電源が落ちたとき

**停電や誤って電源コードを抜いてしまっても、内蔵バッテリーにより、ユーザデータやスピードダイヤルの設定は消去されません。ただし、メモリに保存されていたファクスはすべて消去されます。**

**電源が落ちると、つぎのような状況になります。**

- ファクスの送受信やコピーはできません。
- 停電時に、子電話で電話をかけたり受けたりできるかどうかは、その電話機によります。その電話機のマニュアルをお読みください。
- B-25に電源がはいると、メモリクリアリストが自動的に印刷されます。これは、メモリに保存されていたが、電源が落ちたために消去されてしまったファクスの一覧です。



2001 03/26 18:30 FAX 03 3758 2111　　ﾔﾏﾀﾞ ｼｮｳｶｲ ﾀﾅｶ　　001

********************************
***　メモリクリアリスト　***
********************************

次の通信予約またはメモリはクリアされました

| 受付番号 | 通信モード | 相手先 | 枚数 | 受付時刻 |
|---|---|---|---|---|
| 0030 | 送信 | [　02]ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ | 3 | 03/26 11:55 |
| 0032 | 同報送信　ｶﾗｰ | [* 01]ﾋﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ | 1 | 03/26 13:00 |
| 5009 | 代行受信　ｶﾗｰ | 03 3455 9111 | 1 | 03/26 18:13 |

**メモリクリアリスト**

**ふたたび電源がはいってメモリクリアリストが印刷されるときに、記録紙トレイに記録用紙がセットされていないと、LCDディスプレイに「キロクシガ アリマセン」と表示されます。リセットボタンを押してください。スタンバイ状態に戻ります。（この場合、メモリクリアリストは印刷されません）**

9

困ったときは

# メッセージとその内容

**B-25のLCDディスプレイに表示されるメッセージと、それに対応する通信管理レポートのエラーコード、内容と対処のしかたはつぎのとおりです。**

| メッセージ(エラーコード) | 内容 | 対処方法 |
|---|---|---|
| BC21e/20 ニ コウカン | フォトインク記録が設定されていないのに、カラーBJカートリッジフォトで、白黒コピーをとろうとしたか、受信した白黒ファクスを印刷しようとした、またはメモリ内の白黒ファクスを印刷しようとしました。 | カラーまたはブラックBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定をしてください。 |
| BC21e/22e ニ コウカン | ブラックBJカートリッジがセットされているのに、カラーの高品位専用紙、写真モードでコピーをとろうとしました。 | カラーBJカートリッジまたはカラーBJカートリッジフォトに交換してください。 |
| BC21e ニ コウカン | ブラックBJカートリッジで、カラーコピーをとろうとしました。 | カラーBJカートリッジに交換してください。 |
| | 受信したカラーファクスを、ブラックBJカートリッジで印刷しようとしました。 | カラーBJカートリッジに交換してください。カラーBJカートリッジがないときは、メモリに保存されたファクスを、白黒に変換して印刷してください。 |
| | フォトインク記録が設定されていないのに、カラーBJカートリッジフォトで、受信したカラーファクスを印刷しようとしました。 | カラーBJカートリッジに交換するか、フォトインク記録の設定をしてください。 |
| BC-22eデ プリント？ | フォトインク記録が設定されていないのに、カラーBJカートリッジフォトでメモリ内のカラーファクスを印刷しようとしています。 | 印刷するときは＊(トーン)ボタンを、しないときは#ボタンを押してください。または、フォトインク記録の設定をしてください。 |
| ECMジュシン | ECMモードでファクスを受信中です。 | ECMモードで受信すると、エラーが起こった場合でも自動的に修正されますが、通常より時間がかかります。速く受信したいときや、電話回線に特に問題がないときは、ECMを無効にしてもかまいません。 |
| ECMソウシン | ECMモードでファクスを送信中です。 | ECMモードで送信すると、エラーが起こった場合でも自動的に修正されますが、通常より時間がかかります。速く送信したいときや、電話回線に特に問題がないときは、ECMを無効にしてもかまいません。 |
| アイテ オウトウナシ(#005) | 送信先のファクス機器が応答しません。 | 番号が正しかったか、確認してください。しばらく待ってから、送信しなおしてください。 |
| アイテサキ キロクシ ナシ(#012) | 相手のファクス機器に記録用紙がないか、メモリがいっぱいです。 | 相手に連絡して、記録用紙を補給するか、メモリを空けてもらってください。 |
| ウケツケ バンゴウ nnnn | 送受信したファクスには、自動的に通し番号がつけられます。 | この番号は、後で送受信の結果を調べるときなど、それぞれの送受信を区別するのに役立ちます。受付番号は、通信管理レポートや送信結果レポート、受信結果レポートにも印刷されます。 |

| メッセージ(エラーコード) | 内容 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ウケツケ バンゴウ nnnn<br>ヨミコミ チュウ<br>メモリガ イッパイデス | 他のファクスを送信中で、メモリがいっぱいです。 | 現在の送信が終わりメモリが空くと、送信されます。 |
| オマチクダサイ ヒヤシテイマス | 印刷中に、BJカートリッジのプリントヘッドが過熱しました。 | B-25の温度を下げてください。<br>熱が冷めると、印刷が再開されます。 |
| カートリッジガ アリマセン | BJカートリッジが正しく取り付けられていません。 | BJカートリッジが正しく取り付けられているか、青色のカートリッジ固定レバーで固定されているか、確認してください。<br>取り付けられていないときは、取り付けてください。 |
| カートリッジガ モドリマス | BJカートリッジが、ホームポジションに戻ろうとしています。 | このメッセージが消えてから、操作してください。 |
| カートリッジ コウカン | BJカートリッジまたはインクカートリッジのインクが空になっています。 | プリントヘッドのクリーニングを行い、それでもメッセージが出るときは、カートリッジを交換してください。交換すると、メモリに保存されていたファクスが自動的に印刷されます。メモリがいっぱいで受信できなかったファクスは、もう一度送信しなおしてもらってください。 |
| | 上カバーが開いていて、カートリッジホルダが中央に移動しています。 | カートリッジホルダが止まるまで待ってから、BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。交換したら上カバーを閉じて、スタンバイ状態になるのを待ちます。 |
| カートリッジ ジャム | BJカートリッジ付近の紙づまりです。 | 上カバーを開き、つまった記録用紙を取り除いて、リセット ボタンを押してください。 |
| | カートリッジホルダを手で無理に動かそうとしたか、動いているカートリッジホルダが無理に止められました。 | カートリッジホルダを手で無理に動かしたり、止めたりしないでください。 |
| カイセン シヨウチュウ | FAX/TEL切替モードに設定されていて、電話がかかっています。<br>子電話で電話をかけているとき(子電話の受話器が上がっているとき)にも表示されます。 | 電話に出てください。電話を使っていないのに、受話器がはずれているときは、受話器を戻してください。 |
| カラー インクガ アリマセン | カラーBJカートリッジまたはカラーBJカートリッジフォトのカラーインクがありません。 | カラーインクカートリッジを交換してください。 |
| キロクシガ アリマセン(#009) | 記録紙トレイに記録用紙がはいっていません。 | 記録紙トレイに記録用紙をセットしてください。そのとき、記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。セットしたら、リセット ボタンを押します。 |
| キロクシガ ツマリマシタ | 記録紙トレイに記録用紙がセットされていないか、紙づまりが起こっています。 | 記録用紙がないときはセットし、紙づまりのときはつまった記録用紙を取り除いて、リセット ボタンを押します。メモリに保存されたファクスがあるときは、自動的に印刷されます。 |
| キロクシノ サイズヲ チェック | 記録紙トレイにセットされている記録用紙のサイズと、「プリント設定」メニューで指定した記録紙サイズが違っています。 | 正しいサイズの記録用紙をセットするか、記録紙サイズの設定を変更してください。 |

| メッセージ(エラーコード) | 内容 | 対処方法 |
|---|---|---|
| クロ インクガ アリマセン | カラーBJカートリッジまたはカラーBJカートリッジフォトのブラックインクがありません。 | ブラックインクカートリッジまたはBJカートリッジを交換してください。 |
| ゲンコウ ガ アリマス | 自動給紙装置(ADF)の原稿を読み取る準備ができました。 | ファクス送信、スキャン、コピーできます。 |
| ゲンコウガ ナガスギマス(#003) | 1枚の原稿の長さが1mを超えています。 | 原稿をいくつかに分けてコピーし、そのコピーを送信してください。 |
| ゲンコウ ヲ チェック(#001) | 自動給紙装置(ADF)内で原稿がつまっています。 | つまっている原稿を取り除き、セットしなおしてください。 |
| | 給紙レバーが1枚給紙側にセットされています。 | 給紙レバーを自動給紙側にセットしてください。 |
| コノ タンシュクハ ツカエマセン (#025) | 手動送信のとき、グループが登録されている短縮ダイヤルを指定しました。 | 手動送信で同報送信することはできません。手動送信で送信できるのは、1か所だけです。 |
| コノ ワンタッチハ ツカエマセン (#025) | 手動送信のとき、グループが登録されているワンタッチダイヤルを指定しました。 | 手動送信で同報送信することはできません。手動送信で送信できるのは、1か所だけです。 |
| ジドウ リダイヤル | 相手が話し中だったので、リダイヤルの待機中です。 | リダイヤルが行われるまで待ってください。リダイヤルをやめるときは、「送信を中止する」(→2-9ページ)の操作を行ってください。 |
| シバラク オマチクダサイ | 準備中です。 | LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されるまでお待ちください。 |
| ジュワキヲ オイテ クダサイ | 子電話の受話器がはずれています。 | 子電話の受話器を置き台にきちんと置いてください。 |
| シロクロニ ヘンカン シマスカ? | カラーファクスを白黒に変換して、ブラックBJカートリッジで印刷しますか? | 変換するときは(*)(トーン)ボタンを、しないときは(#)ボタンを押します。 |
| シロクロモードデ ヤリナオシ (#085) | カラー対応ではないファクス機器にカラーファクスを送信しようとしました。 | もう一度、白黒モードで送信しなおしてください。 |
| ストップキーガ オサレマシタ | (ストップ)ボタンを押したので、送信が中止されました。 | |
| ダイコウ ジュシン シマシタ | 記録用紙がない、インクがない、BJカートリッジが正しくない、紙づまりなどで印刷できないので、受信したファクスをメモリに保存しました。 | 記録用紙がないときはセットし、インクがないときはインクカートリッジやBJカートリッジを交換し、紙づまりのときはつまった記録用紙を取り除いてください。その後、(リセット)ボタンを押すと、メモリに保存されたファクスが印刷されます。 |
| ツウシンチュウデス<br>シバラク オマチクダサイ<br>(交互に表示されます) | 通信中にカラーダイレクト送信をしようとしました。 | 通信が終わってから送信しなおしてください。 |
| デンワバンゴウ ミトウロク(#022) | ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、ファクス番号が登録されていません。 | ファクス番号を登録してください。 |

| メッセージ(エラーコード) | 内容 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ハナシチュウ デシタ(#018) | 相手が話し中です。 | しばらく待って、やりなおしてください。 |
| | ダイヤルしたファクス番号が間違っています。 | ファクス番号を確認してから、もう一度ダイヤルしてください。 |
| | 送信先のファクス機器が故障しています。 | 送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。 |
| | 送信先のファクス機器がG3に対応していません。 | 送信先に連絡して、G3対応のファクス機器で送受信してもらってください。 |
| | B-25の電話回線の設定が正しくありません。 | お使いの電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)に合わせて設定してください。 |
| | 送信先のファクス機器が55秒以内に応答しませんでした。 | 送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。<br>海外へ送信するときは、ファクス番号の間や後ろにポーズを入れてみてください。<br>また、手動送信も試してみてください。 |
| ファイル ジュシン シマシタ | コンピュータが起動していないので、受信したファクスをメモリに保存しました。 | コンピュータを起動してファイルをDesktop Managerに送信するか、B-25本体で「ファイル プリント」を選んで印刷します。(→4-10ページ) |
| | コンピュータで、ステータスモニタが起動していません。 | Windowsのデスクトップで、[スタート]メニューの[プログラム]から[Canon MultiPASS Suite]-[MultiPASSステータスモニタ]をクリックして、起動してください。 |
| フォトインク シヨウチュウ | カラーBJカートリッジフォトが取り付けられているときはずっと表示されます。 | カラーBJカートリッジフォト以外のBJカートリッジを使いたいときは、交換してください。 |
| プリンタ ヲ チェック | BJカートリッジに何か引っかかっていて、動けません。 | 記録用紙にクリップなどが付いていないか確認します。また、BJカートリッジにオレンジ色の保護キャップが付いていたら、はずしてください。紙づまりのときは、つまった記録用紙を取り除きます。すべて確認したら、リセットボタンを押して、もう一度操作してください。 |
| | BJカートリッジが壊れている可能性があります。 | リセットボタンを押すか、BJカートリッジを取り付けなおしてから、もう一度操作します。エラーが解決されないときは、本体の電源コードを抜いてください。しばらくしてから、もう一度電源コードを差しこみ、新しいBJカートリッジを取り付けてください。 |
| | 廃インクタンクがいっぱいです。 | お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。 |

| メッセージ(エラーコード) | 内容 | 対処方法 |
|---|---|---|
| メモリガ イッパイデス(#037) | 何枚ものファクス、長いファクス、カラーファクス、内容が細かいファクスを受信して、メモリがいっぱいになっています。 | メモリ内のファクスを印刷、削除してください。(→4-10ページ) |
| | 一度に大量のファクスを送信しようとしたか、コピーをとろうとしたので、メモリがいっぱいになっています。 | 原稿をいくつかに分けて送信、コピーしてください。または、メモリ内のファクスを印刷、削除して、メモリを空けてください。 |
| メモリ シヨウ リョウ nn% | メモリの使用量が表示されます。 | もっとメモリを空けたいときは、メモリ内のファクスを送信するか、印刷するか、削除してください。 |
| ヤリナオシテ クダサイ | 電話回線かシステムでエラーが発生しました。 | 最初から送信しなおしてください。 |
| ヨビダシ チュウ | 送信先を呼び出し中です。 | ストップ ボタン、* トーン ボタンの順に押せば、送信を中止できます。 |

# 付録

# メニューの使い方

B-25では、本体の操作パネルからメニューを使っていろいろな設定をすることができます。本文中で説明されている部分もありますが、ここでは、各メニューの項目と設定のしかたについてまとめて説明します。

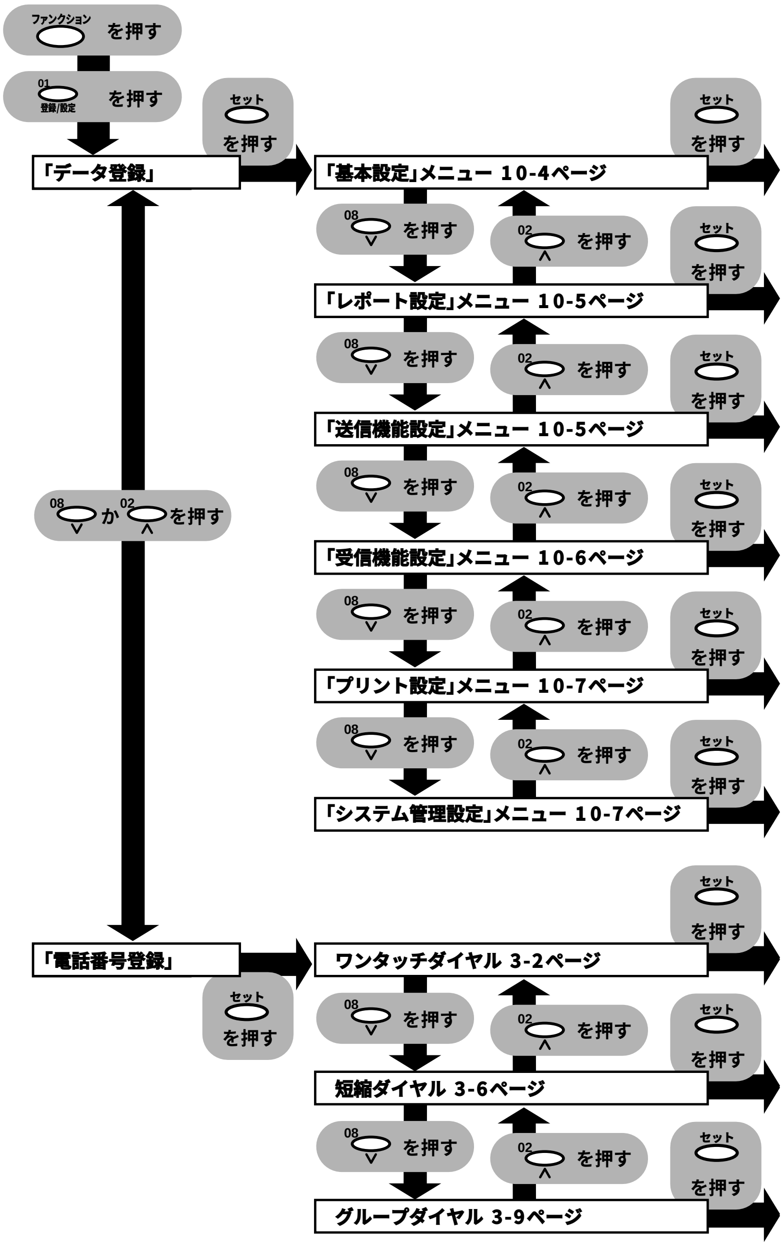
登録/設定のメニューには、データ登録と電話番号登録があり、データ登録には、基本設定、レポート設定、送信機能設定、受信機能設定、プリント設定、システム管理設定があります。

**●B-25をコンピュータに接続しているとき**

MultiPASS SuiteからB-25の設定を行うこともできます。設定は、操作パネル、MultiPASS Suiteのどちらかで最後に行った設定が有効になります。操作パネルで行った設定はMultiPASS Suiteの画面には反映されません。

このため、混乱しないように、操作パネルかMultiPASS Suiteのどちらか一方だけを使って設定を行ってください。

コンピュータと接続しているときは、MultiPASS Suiteで設定することをおすすめします。




日付や時刻、ユーザの電話番号、略称、ファクスのいちばん上につける情報、原稿の読み取り濃度、オフフックアラーム、音量、音質、回線の種類などを設定します。

送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを印刷するタイミングなどを設定します。

ECM送信、ポーズ時間、話し中のときの自動リダイヤル、ダイヤルタイムアウト、カラーダイレクト送信など、ファクス送信について設定します。

ECM受信、受信モード、着信呼び出し、自動受信切り替え、リモート受信、記録用紙がないときなどの代行受信、カラー受信など、ファクス受信について設定します。

大きいファクスの縮小、記録用紙のサイズ、インクの節約、余白やカラーBJカートリッジフォトでの印刷など、印刷について設定します。

日付の表示方法、ファクス送信、ファクス受信のスピードを設定します。

ワンタッチダイヤルの登録、変更、削除を行います。

短縮ダイヤルの登録、変更、削除を行います。

グループダイヤルの登録、変更、削除を行います。

## 操作の手順

*1* **ファンクションボタンを押し、01登録/設定ボタンを押します。**

デ゛ータ トウロク

*2* **セットボタンを押します。**

キホン セッテイ

*3* **設定したいメニュー名が表示されるまで、08∨ボタンか02∧ボタンを押します。**

*4* **セットボタンを押します。**

*5* **設定、変更したい項目が表示されるまで、08∨ボタンか02∧ボタンを押します。**

*6* **セットボタンを押します。**

*7* **08∨ボタンか02∧ボタンを押して選択肢を選びます。**

*8* **セットボタンを押します。**

さらに選択肢があるときは、08∨ボタンか02∧ボタンを押して選び、セットボタンを押します。

セットボタンを押すと、その設定が登録されます。

セットボタンを押さずにストップボタンを押すと、設定は登録されません。

セットボタンを押さずに11クリアボタンを押すと、元の設定に戻ります。

01登録/設定ボタンを押すと、つぎの表示に戻ります。

*9* **設定が終わったらストップボタンを押します。**

**LCDディスプレイに設定項目が表示されているときにセットボタンを押すと、その項目が選ばれ、設定できる状態になります。**

**設定の選択肢が表示されているときにセットボタンを押すと、その選択肢に設定されます。設定を中止するときは、セットボタンを押さずにストップボタンを押します。**

**●設定中に60秒以上何も操作しなかったとき**

**スタンバイ状態に戻り、入力中の情報は失われます。このときは、最初から設定しなおしてください。**

**●設定中に電話がかかってきたとき**

**手動受信モードのとき**

**ストップボタンを押して、受話器を取ってください。入力途中のものは、セットボタンを押すまで保存されません。**

**受話器を取っても何も聞こえないときやポーという音が聞こえるときは、ファクスが送られてこようとしています。この場合は、スタートボタンを押してください。**

**声が聞こえる場合は、通常の電話なのでそのままお話しください。**

**自動受信モードのとき**

**ストップボタンを押す必要はありません。B-25が自動的にファクスを受信します。**

# 「基本設定」メニュー



| 項目（とサブ項目） | 内容 | 選択肢 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 日付／時刻セット<br>ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ | 現在の日付と時刻を設定します。 | ― | テンキーを使って時刻（24時間表示）と日付を入力してください。 |
| ユーザTEL登録<br>ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ | ファクス（電話）番号を登録します。 | ― | 20桁以内でファクス（電話）番号を入力してください。 |
| ユーザ略称登録<br>ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ | 名前または会社名を登録します。 | ― | 24文字以内で入力してください。 |
| 発信元記録<br>ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ | ファクスの各ページのいちばん上に送信者名などの情報を印刷します。 | **ﾂｹﾙ**、ﾂｹﾅｲ | |
| 　発信元記録位置<br>　ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ ｲﾁ | 白黒送信での、発信元記録を印刷する位置を選びます。<br>（カラー送信では、常に画像の内側につきます） | **ｶﾞｿﾞｳﾉ ｿﾄﾆ ﾂｹﾙ**、<br>ｶﾞｿﾞｳﾉ ﾅｶﾆ ﾂｹﾙ | ･･･画像領域の外側につけます。<br>･･･画像領域内につけます。 |
| 　電話番号マーク<br>　ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾏｰｸ | ファクス／電話番号の前に付けるマークを選びます。 | **FAX**、TEL | 例：<br>FAX 03 3758 2111<br>TEL 03 3758 2111 |
| 読み取り濃度セット<br>ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ｾｯﾄ | 送信するファクスの読み取り濃度を選びます。 | ｺｸ、**ﾌﾂｳ**、ｳｽｸ | 通常送信する原稿のタイプに合わせて選んでください。 |
| オフフックアラーム<br>ｵﾌﾌｯｸ ｱﾗｰﾑ | 子電話の受話器がはずれているとき、警告音を鳴らすかどうかを選びます。 | **ﾅﾗｽ**、ﾅﾗｻﾅｲ | 環境に合わせて調整してください。 |
| 音量調整<br>ｵﾝﾘｮｳ ﾁｮｳｾｲ | 呼び出し音、キータッチの音、アラーム音、回線モニタの音量を調整します。 | | 環境に合わせて調整してください。 |
| 　呼び出し音量<br>　ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ | FAX/TEL切り替えのとき、電話の呼び出し音の音量を調整します。 | 1、**2**、3 | |
| 　キータッチ音量<br>　ｷｰ ﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ | 操作パネルのボタンを押したときの音の大きさを調整します。 | 0、1、**2**、3 | 0にすると音は鳴りません。 |
| 　アラーム音量<br>　ｱﾗｰﾑ ｵﾝﾘｮｳ | エラー警告音の音量を調整します。 | 0、1、**2**、3 | 0にすると音は鳴りません。 |
| 　通信音量<br>　ﾂｳｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ | 回線モニタ（ダイヤル中、フック中の音）の音量を調整します。 | 0、1、**2**、3 | 0にすると音は鳴りません。 |
| 呼び出し音音質<br>ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝ ｵﾝｼﾂ | FAX/TEL切り替えのときの呼び出し音の音質を調整します。 | ﾌﾂｳ、**ﾀｶｲ** | 環境に合わせて調整してください。 |
| 回線種類選択<br>ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ | 使っている電話回線に合わせて選びます。 | ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ、<br>**ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ** | ･･･プッシュ回線（トーン回線）<br>･･･ダイヤル回線（パルス回線）<br>ダイヤル回線のときは、さらに10PPSか**20 PPS**かを選びます。 |

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

# 「レポート設定」メニュー　　「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」

| 項目（とサブ項目） | 内容 | 選択肢 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 送信結果レポート<br>ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ | 送信するファクスの送信結果レポートを印刷するかしないかを選びます。 | **ｴﾗｰ ｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ**、<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ | ・・・エラーが発生したときだけ印刷します。<br>・・・送信するたびに印刷します。<br>・・・印刷しません。 |
| 　送信画像<br>　ｿｳｼﾝ ｶﾞｿﾞｳ | 「ｴﾗｰ ｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」または「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」を選んだとき、ファクスの最初のページもつけるかどうかを選びます。 | **ﾂｹﾙ**、ﾂｹﾅｲ | つけると、どのファクスのレポートか、わかりやすくなります。<br>（カラー送信のときはつきません） |
| 受信結果レポート<br>ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ | ファクスを受信すると、自動的に受信結果レポートを印刷するかしないかを選びます。 | ｴﾗｰ ｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、<br>ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、<br>**ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ** | ・・・エラーが発生したときだけ印刷します。<br>・・・ファクスを受信するたびに印刷します。<br>・・・印刷しません。 |
| 通信管理レポート<br>ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ | 通信管理レポートをいつ、どのように印刷するかを選びます。 | | |
| 　自動プリント<br>　ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ | ２０通信ごとに自動的に印刷します。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ・・・２０件の送受信が終わるたびに自動的に印刷します。<br>・・・自動的には印刷しません。 |

# 「送信機能設定」メニュー　　「ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」

| 項目（とサブ項目） | 内容 | 選択肢 | 備考 |
|---|---|---|---|
| ＥＣＭ送信<br>ECMｿｳｼﾝ | ＥＣＭ送信をオンまたはオフにします。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ・・・ ＥＣＭモードで送信します。<br>・・・ ＥＣＭモードは使いません。 |
| ポーズ時間セット<br>ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ | [リダイヤル/ポーズ]ボタンを１回押して指定するポーズひとつ分の長さを指定します。 | 1～15ﾋﾞｮｳ<br>**（2ﾋﾞｮｳ）** | 番号の間に入れるポーズの長さです。番号の最後のポーズの長さは１０秒に決まっています。 |
| 自動リダイヤル<br>ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ | 相手が通話中だったときに、自動的にリダイヤルするかしないかを選びます。 | **ｽﾙ**、ｼﾅｲ | 「ｽﾙ」に設定したときは、さらにリダイヤル回数、リダイヤル間隔の設定を行います。 |
| 　リダイヤル回数<br>　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｽｳ | 何回までリダイヤルするかを指定します。 | 1～15ｶｲ<br>**（2ｶｲ）** | |
| 　リダイヤル間隔<br>　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶﾝｶｸ | ダイヤルしてからつぎにリダイヤルするまでの間隔を指定します。 | 2～99ﾌﾝ<br>**（2ﾌﾝ）** | |
| ダイヤルタイムアウト<br>ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾑ ｱｳﾄ | 複数の相手に送信するとき、最初の番号を入力してから5秒以内に原稿の読みこみを開始（2番め以降は１０秒以内に読みこみを開始）するかどうかを選びます。すべての送信先を入力し終える前に読みこみが開始されると、送られなかった番号については、もう一度読みこみなおさなければなりません。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ・・・５秒または１０秒以内に読みこみを開始します。<br>・・・自動的には読みこみを開始しません。読みこみを開始するときは[スタート]ボタンを押してください。そうしないと、B-２５は６０秒後にスタンバイ状態に戻ります。 |
| カラーダイレクト送信<br>ｶﾗｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ｿｳｼﾝ | カラーでファクスを送信する場合、相手のファクス機器がカラーに対応していないときは、自動的に白黒に変換して送信します。 | ｽﾙ、<br>**ｼﾅｲ** | ・・・カラーに対応していない相手には、白黒で送信します。<br>・・・カラーに対応していない相手には、送信しません。 |

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

# 「受信機能設定」メニュー　　「ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」

| 項目（とサブ項目） | 内容 | 選択肢 | 備考 |
|---|---|---|---|
| ECM受信<br>ECMｼﾞｭｼﾝ | ECM受信をオンまたはオフにします。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ･･･ECMモードで受信します。<br>･･･ECMモードを使用しません。 |
| 受信モード選択<br>ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ | どのような方法で呼び出しを受信するかを選びます。 | **ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ**、<br>FAX/TEL ｷﾘｶｴ | ･･･すべての呼び出しをファクスと判断します。<br>･･･呼び出し内容に応じて、電話、ファクスを切り替えます。 |
| 「FAX/TELｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ」を選んだときは、さらにつぎの設定を行います。 | | | |
| 呼び出し開始時間<br>ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ | ファクスから電話に切り替えるまで、どれだけの時間待つかを指定します。 | 0～30ﾋﾞｮｳ<br>**（8ﾋﾞｮｳ）** | 呼び出しが電話からなのか、それともファクスからなのかをB-25が判断するのにじゅうぶんな時間を指定してください。 |
| 呼び出し時間<br>ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ | 電話がかかってきたら、どれくらいの時間、呼び出し音を鳴らすかを指定します。 | 10～300ﾋﾞｮｳ<br>**（17ﾋﾞｮｳ）** | 呼び出し音を鳴らし続ける時間を指定します。 |
| 呼び出し後の動作<br>ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞ ﾉ ﾄﾞｳｻ | 上の呼び出し時間内に誰も電話に出なかったときに、どのような動作をするかを指定します。 | **ｼﾞｭｼﾝ**、<br>ｼｭｳﾘｮｳ | ･･･受信モードに切り替わります。<br>･･･呼び出しを切ります。 |
| 着信呼び出し<br>ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ | 自動受信モード、FAX/TEL切り替えモードの場合、電話がかかってきたときに、子電話の呼び出し音を鳴らすかどうかを選びます。 | ｽﾙ、<br>**ｼﾅｲ** | ･･･子電話が接続されているときは、電話がかかってくると呼び出し音を鳴らします。<br>･･･呼び出し音は鳴らしません。 |
| 呼び出し回数<br>ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ | 「ｽﾙ」のとき、何回呼び出し音を鳴らすかを指定します。 | 1～99ｶｲ<br>**（2ｶｲ）** | |
| 自動受信切り替え<br>ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ | 指定時間、呼び出し音を鳴らした後、手動受信モードから自動受信モードに切り替えるかどうかを選びます。 | ｽﾙ、<br>**ｼﾅｲ** | ･･･指定時間、呼び出し音を鳴らした後、自動受信モードに切り替えます。<br>･･･自動受信モードには切り替えません。 |
| 呼び出し時間<br>ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ | 「ｽﾙ」のとき、自動受信モードに切り替える前に何秒間、呼び出し音を鳴らすかを指定します。 | 1～99ﾋﾞｮｳ<br>**（15ﾋﾞｮｳ）** | |
| リモート受信<br>ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ | リモート受信ができるようにするかどうかを選びます。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ･･･手動受信のとき、子電話でリモート受信IDをダイヤルして、受信の操作ができます。<br>･･･リモート受信しません。 |
| リモート受信ID<br>ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ ID | 「ｽﾙ」のとき、リモート受信ID（ID呼び出し番号）を変更することができます。 | 00～99<br>**（25）** | 00～99の間で新しいIDを指定してください。 |
| 代行受信<br>ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ | 受信中、記録用紙やインクがなくなったり、紙づまりになったとき、残りのファクスをメモリで受信するかどうかを選びます。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ･･･メモリに保存します。<br>･･･メモリに保存しません。 |
| カラー受信<br>ｶﾗｰ ｼﾞｭｼﾝ | カラーで送られてきたファクスをカラーで受信するかどうかを選びます。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ･･･カラーで受信します。<br>･･･白黒で受信します。 |

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

## 「プリント設定」メニュー　　「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ」

| 項目(とサブ項目) | 内容 | 選択肢 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 画像縮小<br>ｶﾞｿﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ | 記録用紙に合うように画像を縮小するかどうかを選びます。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ･･･縮小します。<br>･･･縮小しません。1ページ分が、2ページに分かれて印刷される場合があります。 |
| 縮小方向選択<br>ｼｭｸｼｮｳ ﾎｳｺｳ ｾﾝﾀｸ | 「ｽﾙ」のとき、縦だけ縮小するか、縦横比率を変えないように縦と横を両方縮小するかを選びます。 | **ﾀﾃ ﾉﾐ**、<br>ﾀﾃ ﾖｺ ﾄﾓ | |
| 記録紙サイズ<br>ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ | 使用する記録用紙のサイズを選びます。 | **A4**、LTR、LGL | 左のサイズの中から選んでください。 |
| エコノミー記録<br>ｴｺﾉﾐｰ ｷﾛｸ | 白黒印刷のときの、エコノミー記録を「ｽﾙ」または「ｼﾅｲ」にします。「ｽﾙ」にすると、インクは通常の50％しか使われなくなります。 | ｽﾙ、<br>**ｼﾅｲ** | ･･･インクを節約します。(このモードにすると、インク切れでなくても印刷品質は低下します)<br>･･･通常どおり印刷します。 |
| 下余白<br>ｼﾀ ﾖﾊｸ | カラーコピー、カラーファクスの受信時の下の余白を選びます。 | **ﾌﾂｳ**、<br>ﾁｲｻｲ | ･･･白黒のときより長く(21mm)なります。<br>･･･白黒のときと同じ(7mm)になります。 |
| フォトインク記録<br>ﾌｫﾄ ｲﾝｸ ｷﾛｸ | カラーBJカートリッジフォトで、受信したファクスやメモリ内のファクスの印刷、白黒コピーができるようにします。 | **ｽﾙ**、<br>ｼﾅｲ | ･･･印刷、コピーできます。<br>･･･印刷、コピーできません。 |

## 「システム管理設定」メニュー　　「ｼｽﾃﾑ ｶﾝﾘ ｾｯﾃｲ」

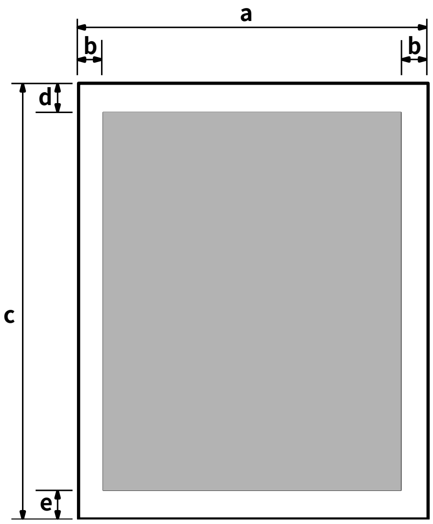
| 項目(とサブ項目) | 内容 | 選択肢 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 日付タイプ<br>ﾋﾂﾞｹ ﾀｲﾌﾟ | 日付の表示方法を選びます。 | **YYYY MM/DD**、<br>MM/DD/YYYY、<br>DD/MM YYYY | ･･･年　月／日<br>･･･月／日／年<br>･･･日／月　年 |
| 送信開始速度<br>ｿｳｼﾝ ｶｲｼ ｿｸﾄﾞ | ファクスの送信スピードを選びます。 | **14400bps**、<br>9600bps、<br>7200bps、<br>4800bps、<br>2400bps | 数字が大きいほどスピードが速くなります。うまく送信できないときは、スピードを下げてみてください。 |
| 受信開始速度<br>ｼﾞｭｼﾝ ｶｲｼ ｿｸﾄﾞ | ファクスの受信スピードを選びます。 | **14400bps**、<br>9600bps、<br>7200bps、<br>4800bps、<br>2400bps | 数字が大きいほどスピードが速くなります。うまく受信できないときは、スピードを下げてみてください。 |

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

# 印刷可能領域

## 普通紙、専用紙の印刷可能領域

**の部分に印刷できます。ただし、先端と後端の約20mmの範囲は紙送りの精度が落ちるため、なるべく印刷しないことをおすすめします。**



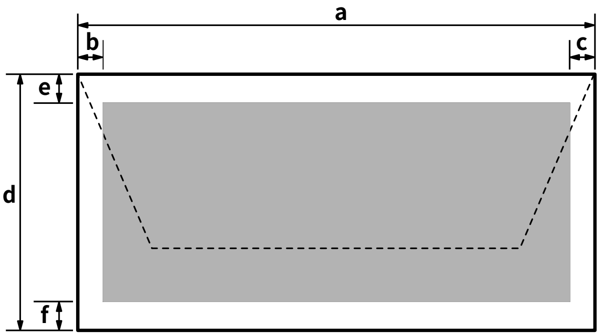

**印刷できる範囲(単位はmm)**

| | A4 | B5 | A5 | レター | リーガル |
|---|---|---|---|---|---|
| 記録用紙の幅:a | 210.0 | 182.0 | 148.0 | 215.9 | 215.9 |
| 左右余白:b | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 6.4 | 6.4 |
| 記録用紙の長さ:c | 297.0 | 257.0 | 210.0 | 279.4 | 355.6 |
| 上余白:d | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 |
| 下余白:e | 7.0* | 7.0* | 7.0* | 7.0* | 7.0* |

*** 下余白は印刷条件によって異なります。**
**プリンタドライバを使用しない白黒印刷の場合:7.0mm(メモリから印刷する場合:4.0mm)**
**プリンタドライバを使用した白黒/カラー印刷の場合:16.0mm**
**受信したカラーファクスを印刷する場合、カラーコピーの場合:21.0mm**

## 封筒の印刷可能領域

の部分に印刷できます。ただし、先端と後端の21mmの範囲は紙送りの精度が落ちるため、なるべく印刷しないことをおすすめします。

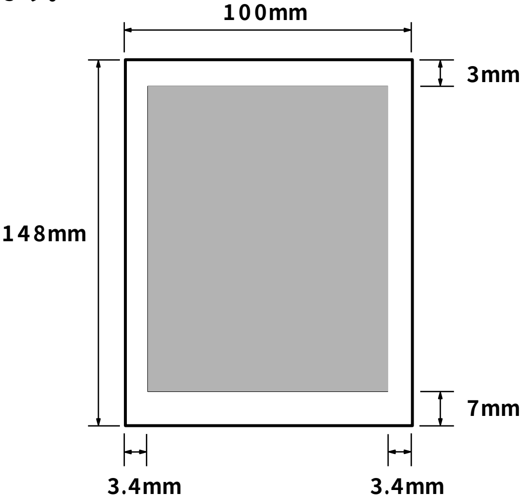


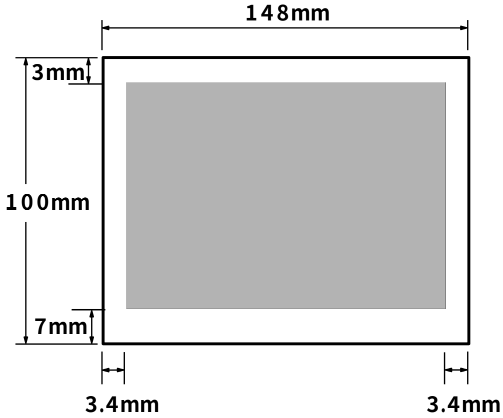

**印刷できる範囲(単位はmm)**

| | 洋形4号 | 洋形6号 |
|---|---|---|
| 封筒の幅:a | 235.0 | 190.0 |
| 左余白:b | 3.4 | 3.4 |
| 右余白:c | 28.4 | 3.4 |
| 封筒の長さ:d | 105.0 | 98.0 |
| 上余白:e | 3.0 | 3.0 |
| 下余白:f | 7.0 | 7.0 |

## はがきの印刷可能領域

の部分に印刷できます。ただし、先端と後端の21mmの範囲は紙送りの精度が落ちるため、なるべく印刷しないことをおすすめします。



# 用語解説

用語は、数字、アルファベット、五十音順に並んでいます。

1

### 1枚給紙

自動給紙装置(ADF)に原稿を1枚ずつセットして給紙する方法です。特殊なサイズや用紙の原稿は1枚給紙します。

B

### BJカートリッジ

B-25本体の印刷部の部品で、プリントヘッドとインクカートリッジのホルダが一体化されたものです。消耗品なので交換する必要があります。

### BJプリンタ

記録用紙にインクを吹き付けて印刷する方式のプリンタをインクジェットプリンタといいますが、B-25はバブルジェット(BJ)というキヤノン独自の方式のインクジェットプリンタです。インクをノズル内で沸点まで加熱して、気泡(バブル)を形成し、その膨張力でインクを記録用紙に噴射(ジェット)します。

### bps

bits per secondの略語で、1秒間に転送されるビット数を表します。ファクス機器の送受信のスピードを表す単位です。

C

### CCITT/ITU-T

通信の国際規格を設定するために設けられた委員会の呼称です。
正式名称は、Consultive Committee for International Telegraph and Telephone。
現在は、International Telecommunications Union-Telecommunications sector(ITU-T)という名前で呼ばれています。

### CMYK

シアン(Cyan)、マゼンタ(Magenta)、イエロー(Yellow)、ブラック(blacK)の略。カラー印刷では、この4色のインクの組み合わせですべての色を表しています。

### CNG信号

送信側のファクス機器が、これからファクスを送信することを知らせるために最初に送信するポーという信号音(ファクス呼び出し音)です。受信側のファクス機器は、この信号を受信すると、自動的にファクスの受信を開始します。現在では、ほとんどのファクス機器で、CNG信号の送受信ができるようになっています。

D

### dpi

dots per inchの略。1インチ当たりに含まれるドット数で、プリンタの解像度を表す単位です。

E

### ECM

Error Correction Mode(エラー補正モード)の略。回線の状況が悪いときなど、エラーが多いときは、ECMで送受信すると、エラーを減らすことができます。ECMで送受信するときは、送信側と受信側の両方のファクス機器にECM機能が必要です。

F

### FAX/TEL切り替えモード

呼び出しがファクスか電話かを自動的に判断する受信モードです。このモードに設定しておくと、ファクスは自動的に受信され、電話のときだけ呼び出し音が鳴り、子電話の受話器を取れば通話できます。1本の回線を電話とファクスで共用するときは、このモードに設定しておくと便利です。

G

### G3、G3対応ファクス

G3は、ITU-T(国際電信電話諮問委員会)が定めたファクス送受信の規格で、送信する画像データを符号化してデータ量を圧縮し、送信時間を短縮します。G3対応のファクス機器では、1ページを1分未満で送信できます。データの圧縮方式には、MH(Modified Huffman)、MR(Modified READ)、MMR(Modified Modified READ)、JBIG、JPEGがあります。

I

## IEEE 1284

IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers:米国電気電子工業会)が1993年に定めた、コンピュータと周辺機器との間の双方向パラレルインタフェース通信に関する新規格。従来のパラレルインタフェース仕様に、コンピュータと周辺機器との間の双方向通信、高速データ転送レート、ノイズによるデータ損失からの保護などが追加されています。

J

## JPEG

フルカラーの静止画を圧縮して保存するファイル形式のひとつ。自然画や風景、写真などを効率よく圧縮できます。ITU-Tによって、カラーファクスの規格に正式に採用されています。もともとは、Joint Photographic Experts Groupという団体の略称ですが、この規格の名前としても使われています。

M

## MultiPASS Suite

B-25をコンピュータから使用するための、キヤノンの専用アプリケーションです。MultiPASS Suiteをコンピュータにインストールすれば、B-25をプリンタ、スキャナ、PCファクスとして使えるようになります。

O

## OHPフィルム

オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルムです。B-25では、インクを定着する処理が施されたBJプリンタ専用のOHPフィルムをご使用ください。

P

## PCファクス

コンピュータで送受信するファクスのこと。B-25はコンピュータと接続でき、Desktop Managerを使ってPCファクスの送受信もできます。Desktop Managerでは、送受信したPCファクスの保存、並べ替え、印刷などもできます。

R

## RGB

Red(レッド)、Green(グリーン)、Blue(ブルー)の略。コンピュータのディスプレイでは、この3色の光の組み合わせですべての色を表しています。

T

## TWAIN規格

いろいろな画像入力機器(スキャナ、ビデオキャプチャボード、デジタルカメラなど)からコンピュータに画像を読みこむための標準的な規格。TWAIN規格に準拠したアプリケーションでは、メーカーや機種に関係なく、TWAIN規格に準拠した画像入力機器から画像を読みこむことができます。B-25もTWAIN規格に準拠しているので、TWAIN規格に準拠したWindowsアプリケーションでスキャナとして使うことができます。

U

## USBケーブル

B-25のUSBケーブル接続部とコンピュータのUSBポートを接続するためのケーブルです。

ア

## アプリケーション

ワープロソフトや表計算ソフト、グラフィックソフトなど、特定の作業を行うための機能を持った、または機能が集まったソフトウェアのこと。Desktop Managerも、コンピュータでB-25をプリンタ、スキャナ、PCファクスとして使うためのアプリケーションです。

イ

## 色の濃さ

色の分量をいいます。色の濃さが高いほど、純色に近くなります。逆に、濃さが低い色は、あまり鮮やかではありません。

## インクカートリッジ

B-25でもっともよく使われるカラーBJカートリッジBC-21eには、ブラックとカラー(シアン、マゼンタ、イエロー)のインクカートリッジがそれぞれ1個ずつはいっています。どちらかのインクがなくなったときは、そのインクカートリッジだけを交換すればすみます。

## 印刷可能領域

1枚の記録用紙全体のうち、プリンタが実際に印刷できる範囲のこと。プリンタでは記録用紙いっぱいには印刷できず、上、下、左、右に余白部分ができます。印刷可能領域はプリンタによって異なり、B-25では、使用する記録用紙の種類によっても異なります。

ウ
## 受付番号

B-25では、送受信したファクスそれぞれに自動的に通し番号がつけられます。送受信の結果を調べるときなど、この受付番号で、ファクスを区別できます。送信したファクス(送信するファクス)には0001～4999、受信したファクスには5001～9999の番号がつきます。

カ
## 解像度

解像度は、画像のきめ細かさ、鮮明さを表すものです。解像度が低いと、画像は粗く文字や絵がギザギザになります。解像度が高いほど、きめ細かく滑らかで、くっきりと鮮明な画像になります。解像度の表し方は場合によって異なりますが、プリンタの場合は、単位はdpi(ドット／インチ)、「水平方向×垂直方向」で、360×360dpiのように表されます。

キ
## 給紙

ファクス、コピー、スキャン、印刷するために、記録用紙や原稿をB-25の中へ送ることを、給紙するといいます。原稿は、自動給紙装置(ADF)から自動給紙または1枚給紙します。記録用紙は、記録紙トレイから自動給紙します。

ク
## グラフィックス

手書きや印刷、コンピュータなどの画面に表示された絵や写真のことです。文字や文書でも、送受信したファクスや、グラフィックアプリケーションで作成されたものは、グラフィックスとして扱われます。

## グループダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、最大111か所の番号に一度にダイヤルできる機能です。同じファクスをたくさんの相手に送信したいとき、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、相手の番号をすべてまとめてグループとして登録しておけば、そのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押すだけで、全員に送信できます。(グループダイヤルに登録できるのは、あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている番号だけです)

## グレースケール

灰色の濃淡で中間調を表した白黒画像。

ケ
## 原稿

コピーやファクス送信、あるいはスキャンする元の用紙をいいます。

コ
## 工場出荷時の設定

B-25は、工場出荷時(購入時)には、最も一般的な設定になっています。この設定を工場出荷時の設定といいます。設定は、使用目的や状況など、必要に応じて変更できるようになっています。

## 子電話

B-25の子電話接続端子に接続した市販の電話機。呼び出し音が鳴ったら受話器をとって会話をしたり、子電話からファクス受信の操作をする(リモート受信する)ことができます。

シ
## ジェネシス(GENESIS)

キヤノンが独自に開発した超鮮明画像処理技術で、64階調のグレースケールと特殊な輪郭強調処理機能を備え、文字も写真も鮮明な画質で転送できます。

## 自動給紙装置(ADF)

B-25では、ファクス送信、コピー、スキャンする原稿を自動給紙装置(ADF)にセットします。複数の原稿をセットすると、自動的に1枚ずつ給紙されます。

## 自動受信モード

ファクスは自動的に受信し、電話のときは切ります。ファクス専用の電話回線にB-25を接続したときに自動受信モードにします。

## 自動リダイヤル

話し中でファクスを送信できなかったとき、一定の時間をおいて、もう一度同じ番号に自動的にダイヤルする機能です。リダイヤルするまでの時間やリダイヤルする回数を、設定できます。最後のリダイヤルでも送信できなかったときに、送信結果レポートを印刷するように設定することもできます。

## 受信モード

B-25には、つぎの受信モードがあります。

- 自動でファクスの受信だけを行う（自動受信モード）
- ファクスは自動で受信し、電話のときは呼び出し音を鳴らす（FAX/TEL切り替えモード）
- 電話に出て、ファクスの場合は受信の操作を行う（手動受信モード）
- ファクスは自動で受信し、電話は留守番電話に回す（留守TEL接続モード）
- ファクスをコンピュータで受信する（PCファクス）

## 手動受信モード

子電話を取って呼び出しに応対した後、ファクスのときは受信します。ピーという音が聞こえたらファクスなので、操作パネルの スタート ボタンを押すか、リモート受信IDの番号を押します。

## 手動送信

子電話から電話をかけ、相手が出てからファクスを送信する方法です。

## 手動リダイヤル

テンキーでファクス番号を入力（テンキーダイヤル）してファクスを送信したとき、話し中やエラーで送信できなかった場合は、操作パネルの リダイヤル/ポーズ ボタンを押せば、リダイヤルできます。再送信するときは、原稿をセットしなおして リダイヤル/ポーズ ボタンを押してください。

ス

## スタンバイ状態

B-25の電源がはいっていて、いつでも使用できる状態をスタンバイ状態といいます。この状態のときは、LCDディスプレイに日付と受信モードが表示され、この状態からすべての操作ができます。

## スピードダイヤル

ひとつまたは3つのボタンを押すだけで、相手の番号をダイヤルできる機能で、「ワンタッチダイヤル」、「短縮ダイヤル」、「グループダイヤル」の3つがあります。スピードダイヤルを使うためには、送信先のファクス番号や電話番号をあらかじめ登録しておく必要があります。

セ

## セントロニクス（Centronics）

パラレルデータ転送のインタフェース規格です。B-25は、セントロニクスタイプのパラレルインタフェースを採用しています。

ソ

## 送信スピード

電話回線上でファクスを送信するときの速度です。「bps」も参照してください。

## 双方向パラレルインタフェースケーブル

B-25とコンピュータを接続するためのケーブルです。IEEE 1284に適合した長さが2m以下のケーブルを、別途購入してください。

タ

## タイマー送信

時刻を指定して、自動的にファクスを送信する機能です。タイマー送信は、MultiPASS Suiteで設定します。

## ダイヤル回線

電話回線の種類のひとつで、パルス回線ともいいます。ダイヤル回線には、ダイヤル速度の違いによって、10PPSと20PPSの2種類があります。

## 縦置き

記録用紙の幅方向を横切るように印刷する方法です。それに対して、記録用紙の長手方向を横切るように印刷する方法を、「横置き」といいます。

### 短縮ダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、◯(短縮)ボタンの後に2桁の短縮番号を押してダイヤルする方法です。短縮番号には、あらかじめ送信先のファクス番号と名前を登録しておきます。よくダイヤルする番号を短縮ダイヤルに登録しておくと便利です。100か所まで登録できます。

## ツ

### 通信管理レポート

B-25のファクス送受信の記録です。送受信の結果を調べたいときなどに印刷します。

## テ

### テンキー

操作パネルの左端の、番号が書かれた丸いボタン（0～9、⊛、⊕）。一般の電話機のダイヤルボタンと同じ構成になっており、同じようにダイヤルできます。また、B-25本体では、送信先の名前の登録など、文字を入力するときにもテンキーを使います。

### テンキーダイヤル

操作パネルのテンキーで相手のファクス番号や電話番号を入力してダイヤルする方法です。

## ト

### 同報送信

同じファクスを一度に複数の相手に送信する機能です。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーでの手動ダイヤルを組み合わせて、最大113か所まで送信できます。

### トーン回線

「プッシュ回線」を参照してください。

### ドット

印刷された画像や文字は、小さな点が集まってできています。このひとつひとつの点をドットといいます。

## ノ

### ノズルチェックパターン

BJカートリッジのプリントヘッドのノズル（インクが噴射される出口）が正常な状態かどうかを調べるために印刷するパターンです。正常な状態では、階段状の線がノズルの数だけ印刷されます。

## ハ

### ハーフトーン

カラー印刷での原色以外の中間色や、白黒印刷でのグレーのような中間階調をハーフトーンといいます。B-25では、原色のドットの並び方によってハーフトーンを作り出し、フルカラーやグレースケールで印刷できるようになっています。

### 排紙

プリンタの内部に送られて、ファクス、コピー、スキャン、印刷がすんだ原稿や記録用紙を外に出すことを排紙するといいます。

### 発信元情報

送信したファクスの各ページのいちばん上（ヘッダ）に印刷される、つぎのような情報です。

- 送信日時
- 送信者のファクス番号（登録したとき）
- 送信者の名前や会社名（登録したとき）
- 受信側の名前や会社名（スピードダイヤルで送信したとき）
- ページ番号

### パラレルケーブル

「双方向パラレルインタフェースケーブル」の本書での略称です。「双方向パラレルインタフェースケーブル」を参照してください。

### パルス回線

「ダイヤル回線」を参照してください。

## フ

### ファクス写真モード

ファクス送信時に、原稿に写真のような中間色が含まれるときに設定する読み取り解像度のモードです。

### ファクス／電話自動切り替え

「FAX/TEL切り替えモード」を参照してください。

### ファクス標準モード

ファクス送信時に、原稿に普通に印刷された文字だけが含まれ、絵や写真やイラストなどが含まれていないときに設定する読み取り解像度のモードです。

### ファクスファインモード

ファクス送信時に、原稿の文字が細かいときに設定する読み取り解像度のモードです。

### 普通紙

コピー機などで一般的に使われる記録用紙（コピー用紙）のことです。

### プッシュ回線

電話回線の種類のひとつでトーン回線ともいいます。

### プラテン

プリンタの部品で、インクが転写される間、記録用紙を定位置に保持するものです。

### プリンタドライバ

コンピュータとプリンタとの間でのデータのやりとりを制御するためのソフトウェア。コンピュータからプリンタに印刷命令を送り、印刷状況やエラーなどの情報をプリンタからコンピュータに読みこみます。

### プリントヘッド

B-25のBJカートリッジの一部分で、印刷時にインクを噴射するためのノズルがあります。

ホ

### ポーズ

内線から外線にかけるときや、国際電話をかけるときなど、接続までに多少時間がかかることがあります。そのような番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録するときは、確実につながるように、電話番号の間やうしろに待ち時間としてポーズを入れておきます。番号の間や最後で リダイヤル/ポーズ ◯ ボタンを押すと、そこにポーズがはいります。

### ホームポジション

印刷していないときにBJカートリッジが待機しているプリンタ内の右端の場所。ホームポジションでは、プリントヘッドにフタがされ、インクの乾燥を防ぎます。

メ

### メモリ

コンピュータなどの内部に取り付けられている情報を一時的に記憶させておくための装置。B-25のメモリには、印刷した文書やスキャンされた原稿、受信したファクスなどの情報が一時的に保存されます。

### メモリ送信

ファクス送信する原稿をメモリに読みこんでから送信する方法です。全部送信し終わるまで待たずに原稿を持ち帰れるので、便利です。

ヨ

### 横置き

記録用紙の長手方向を横切るように印刷する方法です。

### 読み取り濃度

送信する原稿の濃さを設定します。

リ

### リダイヤル

話し中でファクスを送信できなかった相手に、もう一度送信しなおすときにリダイヤルします。リダイヤルには、自動リダイヤルと手動リダイヤルがあります。

### リモート受信

B-25から離れたところにある子電話で電話に出た後、子電話でリモート受信IDの番号を押してファクスを受信することをリモート受信といいます。

### リモート受信ID

B-25から離れたところにある子電話で電話に出た後、ファクス受信を開始するときに押す2桁の番号（工場出荷時の設定は「25」）のことです。

ワ

### ワンタッチダイヤル

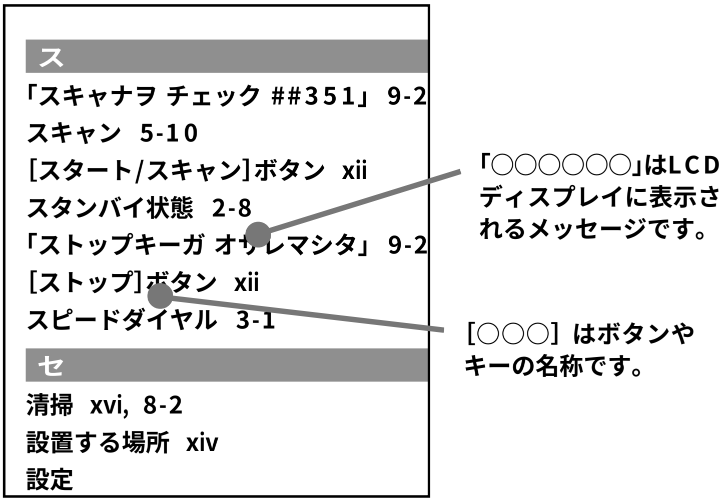
スピードダイヤルのひとつで、ボタンひとつで相手にダイヤルできる機能です。B-25には、ワンタッチダイヤルボタンが12個あり、送信先やグループを12件登録できます。

# 索引

**この索引で、本文中に出てくる用語やボタンやLCDディスプレイのメッセージを検索できます。**

**「→『Suite説明書』」と書かれている項目は『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。**

**例**



# 索引

# 索引

# 仕様

外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

## 装置概要

適用回線：加入電話回線（PSTN）
直流抵抗値：約270Ω
通信速度：14400、9600、7200、4800、2400bps
記録（印刷）方式：バブルジェットオンデマンド方式
電源：AC100V±10V（50/60Hz）
消費電力：最大：約39W、最小（スタンバイ時）：約6.4W
外形寸法：367mm（幅）×340mm（奥行き）×209mm（高さ）（本体のみ。トレイを除く）
質量：約5.1kg（トレイを含む。BJカートリッジ、記録用紙は除く）
使用環境：　温度：10℃〜32.5℃
　　　　　　湿度：20%〜85%RH（ただし、結露のないこと）
外部インタフェース：
　双方向パラレル（Compatible、Nibble、ECP）、USB

## プリンタ仕様

印刷解像度：720（水平方向）×360（垂直方向）dpi
給紙方法：自動給紙
記録紙トレイ：6-4ページ参照
記録用紙サイズ：6-4ページ参照
記録用紙の種類（推奨記録用紙）：
　普通紙
　BJ専用普通紙（キヤノン バブルジェット用紙 LC-301）
　高品位専用紙（キヤノン 高品位専用紙 HR-101/101S）
　フォト光沢紙（キヤノン フォト光沢紙 GP-301）
　フォト光沢フィルム（キヤノン フォト光沢フィルム HG-101）
　フォト光沢ハガキ（キヤノン フォト光沢ハガキ KH-201N）
　バックプリントフィルム（キヤノン バックプリントフィルム BF-102）
　OHPフィルム（キヤノン OHPフィルム CF-102）
　バナー紙（長尺紙）
　フォト光沢カード（キヤノン フォト光沢カードFM-101）
記録用紙質量：64〜105g/㎡
印刷速度：
　カラー：　ドラフトモード：約2枚/分
　　　　　　標準モード：約1.5枚/分
　ブラック：ドラフトモード：約510cps/10cpi
　　　　　　標準モード：約360cps/10cpi
印字幅：最大203.2mm
印刷可能領域：10-8ページ参照

## BJカートリッジ、インクカートリッジ仕様

カラーBJカートリッジBC-21e（B-25に付属）
　インク色（プリントヘッド構成）：
　　ブラック（64ノズル）
　　シアン・マゼンタ・イエロー（各24ノズル）
　プリントヘッド寿命*：約2000ページ（印刷部分がページ全体の30%のカラー印刷の場合）
　インクカートリッジ：
　　ブラック（BCI-21 Black）
　　カラー（シアン・マゼンタ・イエロー）（BCI-21 Color）
　印刷可能枚数*：
　　約80ページ（各色の印刷部分がページ全体の7.5%の場合）
ブラックBJカートリッジBC-20（別売）
　インク色（プリントヘッド構成）：
　　ブラック（128ノズル）
　印刷可能枚数*：
　　約1000ページ（キヤノン FAX標準チャート No.1の場合）
カラーBJカートリッジBC-22eフォト（別売）
　インク色（プリントヘッド構成）：
　　ブラック（64ノズル）
　　シアン・マゼンタ・イエロー（各24ノズル）
　印刷可能枚数*：
　　約22ページ（キヤノン カラーFAXフォトチャート No.1の場合）
蛍光BJカートリッジBC-29F（別売）
　インク色（プリントヘッド構成）：
　　ブラック（64ノズル）
　　シアン・蛍光マゼンタ・蛍光イエロー（各24ノズル）
　印刷可能枚数*：
　　約100ページ（各色の印刷部分がページ全体の7.5%の場合）

*プリントヘッド寿命、印刷可能枚数は、A4サイズ換算の値です。

## スキャナ仕様

読み取り画像処理方式：GENESIS（超鮮明画像処理技術）
読み取り解像度：標準 300dpi、拡張 30〜600dpi*
自動給紙装置（ADF）：5-2ページ参照
有効読み取り幅：214mm
インタフェース：TWAIN準拠
読み取り速度**：
　白黒 300dpi 約23秒／ページ
　カラー 300dpi 約70秒／ページ

* TWAIN対応アプリケーションから1dpi単位で設定可。
** 原稿送りとデータ転送にかかる時間は含みません。

**機械の故障・点検・修理については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。**

## 〈キヤノンお客様ご相談窓口一覧〉

製品の操作・仕様に関するお問い合わせは、下記の『お客様相談センター』にご相談ください。

所在地、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

●受付時間：月曜〜金曜（祝日を除く）9:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00

土・日曜、祝日は、お休みとさせていただきます。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット

# (0570) 01-9000

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。**MultiPASS シリーズの該当番号は 33 です。**

（該当番号は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。）

全国 64 カ所の最寄りサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えします。尚、携帯電話等をご使用の場合は、043-211-9631 をご利用ください。

東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・千葉・大宮・甲府・立川・横浜・厚木・静岡・沼津・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・和歌山・福井・金沢・富山・京都・大津・神戸・姫路・岡山・高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・福岡・久留米・大分・長崎・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

| | |
|---|---|
| ご購入年月日 | 年　　月　　日 |
| ご購入店名 | |
| TEL | (　　　) |

Canon キヤノン販売株式会社

HT1-1105-000-V.1.2　XXXXXXA

PRINTED IN THAILAND